山形県埋蔵文化財調査報告書第207集

分布調査報告書(33)

2007

山 形 県 教 育 委 員 会

分布調査報告書(33)

平成19年3月

山 形 県 教 育 委 員 会

序

本書は、山形県教育委員会が平成17年度に実施した遺跡詳細分布調査の成果をまとめたものです。

第５次山形県教育振興計画では「山形の教育『いのち』そして『まなび』と『かかわり』」をテーマとし、その中で、文化財の保存と活用については、文化財基礎調査や遺跡詳細分布調査を計画的に実施すること、埋蔵文化財基本台帳等の整備を図り、文化財情報システムの構築や文化財の周知の徹底・普及に務めることが大きな柱とされました。この中で埋蔵文化財の周知に欠かせない台帳整備も平成12年度までに終了し、完全とまではいかないまでもデジタル化による周知システムを発足させ、各開発関係公所並びに市町村教育委員会等の保護部局で活用いただいているところです。

遺跡詳細分布調査は周知の埋蔵文化財包蔵地や未発見のままとなっている埋蔵文化財包蔵地と各種の開発計画との調整資料を得るために実施しておりますが、この調査により、埋蔵文化財包蔵地の従来の情報を変更する必要が生じます。本書は、ＣＤで配布いたしました埋蔵文化財情報システムの内容を一部改訂し、新情報をお知らせするものでもあります。開発計画の策定にあたり活用していただければ幸いです。

平成19年３月

山形県教育委員会

教育長　山口　常夫

例　　言

1　本書は平成17年度に山形県教育委員会が国庫補助を受けて実施した平成18年度以降の農林土木事業関係遺跡他に関する遺跡詳細分布調査（県内遺跡発掘調査）の報告書である。

2　本書の作成は山形県教育庁教育やまがた振興課文化財保護室の阿部明彦、高橋　敏の２名が担当した。

3　第Ⅰ章に平成17年度の調査遺跡一覧を、第Ⅱ章に個々の調査結果を記した。また、第Ⅲ章に記録保存調査報告、第Ⅳ章には調査結果をまとめるとともに、平成17年度に国等の機関や市町村教育委員会、地権者から、通知または届出があった新規発見遺跡の一覧を示した。平成17年度までの新規発見遺跡、登録抹消遺跡、範囲・位置の変更については本書の発行をもって周知されたものとする。

4　挿図の縮尺は不統一であり、各図毎にスケールを示した。断面略図は40分の１を基本としたが、一部20分の１も採用した。遺跡地図は国土地理院発行の２万５千分の１の地図を使用した。なお、第Ⅱ章－２及び第Ⅲ章ではこれを縮小して使用した。使用地図の図幅一覧は巻末に掲載した。

5　挿図及び文中の記号は以下のとおりである。

　Ｔ、ＴＴは試掘溝（トレンチ）、ＴＰ、□は試掘坑を表す。図中の赤色部分は遺構･遺物が検出されたことを示し、黒色部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。

　遺跡位置図の赤色部分は遺跡の範囲を示す。

　ＳＴ－竪穴住居跡、ＳＢ－建物跡、ＳＫ－土坑、ＳＤ－溝跡、ＥＢ－掘り方、

　ＥＰ－柱穴、ＳＸ－性格不明落ち込みを示す。

6　図版の遺物は任意縮尺である。

7　調査にあたっては、関係各機関・市町村教育委員会及び地権者各位、地元関係者のご協力を得た。ここに、記して感謝申し上げる。

目　次

Ⅰ　調査の目的、方法と経過
1　調査の目的、方法……1
2　調査の経過……1
Ⅱ　調査の概要
1　遺跡地名表
（1）県農林事業関係遺跡……4
（2）県土木事業関係遺跡……4
（3）県教育委員会事業関係遺跡……6
（4）都市再生機構事業関係遺跡……6
（5）農林水産省事業関係遺跡……6
（6）法務省事業関係遺跡……6
（7）国土交通省事業関係遺跡……6
（8）日本道路公団事業関係遺跡……6
2　試掘調査の概要
（1）上の寺遺跡……18
（2）上野遺跡……30
（3）北田２遺跡……34
（4）中野的場遺跡……38
（5）下叶水遺跡……44
（6）加藤屋敷遺跡……50
（7）檜原遺跡……54
（8）天王遺跡……58
（9）上大作裏遺跡……62
(10)岩崎遺跡……66
(11)南田遺跡……72
(12)川内袋遺跡……76
(13)堤屋敷遺跡……82
(14)下屋敷遺跡……82
(15)山ノ下遺跡……83
Ⅲ　記録保存調査・立会調査の概要
（1）大在家遺跡・高畑城……88
（2）上の山遺跡……92
（3）高館……94
Ⅳ　まとめ
1　調査遺跡について……97
2　新規登録遺跡および記載事項変更遺跡、登録抹消遺跡……97
（1）県教育委員会が発見し登録した遺跡……97
（2）国等の機関、市町村教育委員会からの通知、
地権者からの届出により登録した遺跡……97
（3）範囲等の修正を必要とする遺跡、登録を抹消した遺跡……98

挿図目次

第１図　上の寺遺跡調査図……20
第２図　上の寺遺跡調査平面・断面略図……21
第３図　上の寺遺跡出土遺物実測図……29
第４図　上野遺跡調査概要図……30
第５図　上野遺跡調査平面・断面略図……31
第６図　北田２遺跡調査概要図……34
第７図　北田２遺跡トレンチ配置図……35
第８図　中野的場遺跡調査概要図……38
第９図　中野的場遺跡調査平面・断面略図……39
第10図　中野的場遺跡出土遺物実測図……40
第11図　下叶水遺跡調査概要図……44
第12図　下叶水遺跡調査平面・断面略図……45
第13図　下叶水遺跡出土遺物実測図……45
第14図　加藤屋敷遺跡調査概要図……50
第15図　加藤屋敷遺跡調査平面・断面略図……51
第16図　加藤屋敷遺跡出土遺物実測図……53
第17図　檜原遺跡調査概要図……54
第18図　檜原遺跡調査平面図……55
第19図　檜原遺跡出土遺物実測図……56
第20図　天王遺跡調査概要図……58
第21図　天王遺跡調査平面・断面略図……59
第22図　上大作裏遺跡調査概要図……62
第23図　上大作裏遺跡調査平面・断面略図……63
第24図　岩崎遺跡調査概要図……66
第25図　岩崎遺跡調査平面・断面略図……67
第26図　岩崎遺跡出土遺物実測図……68
第27図　南田遺跡調査概要図……72
第28図　南田遺跡調査平面・断面略図……73
第29図　南田遺跡出土遺物実測図……75
第30図　川内袋遺跡調査概要図……76
第31図　川内袋遺跡調査平面・断面略図……77
第32図　米沢ＩＣ関係遺跡調査概要図……84
第33図　米沢ＩＣ関係遺跡調査平面・断面略図……85
第34図　大在家遺跡・高畑城調査概要図……88
第35図　大在家遺跡・高畑城調査平面図……89
第36図　上ノ山遺跡調査概要図……92
第37図　高館概要図……94
第38図　高館調査概要図……95
第39図　新規登録遺跡位置図（１）……99
第40図　新規登録遺跡位置図（２）……100

図版目次

図版１～７　上の寺遺跡……22～28
図版８・９　上野遺跡……32・33
図版10・11　北田２遺跡……36・37
図版12～14　中野的場遺跡……41～43
図版15～18　下叶水遺跡……46～49
図版19・20　加藤屋敷遺跡……52・53
図版21・22　檜原遺跡……56・57
図版23・24　天王遺跡……60・61
図版25・26　上大作裏遺跡……64・65
図版27～29　岩崎遺跡……69～71
図版30・31　南田遺跡……74・75
図版32～35　川内袋遺跡……78～81
図版36・37　米沢ＩＣ関係遺跡……86・87
図版38・39　大在家遺跡・高畑城……90・91
図版40　上ノ山遺跡……93
図版41　高館……95

附表目次

表－１　平成17年度分布調査遺跡一覧……2
表－２　平成17年度県内遺跡分布・試掘調査工程表……3
表－３　掲載遺跡位置図使用図幅一覧（２万５千分の１）……96

遺跡地名表　挿図・図版目次

遺跡地名表　位置図・図版１　県農林事業関係遺跡……8
遺跡地名表　位置図・図版２　県土木事業関係遺跡……9
遺跡地名表　位置図・図版３　県土木事業関係遺跡……10
遺跡地名表　位置図・図版４　県土木事業関係遺跡……11
遺跡地名表　位置図・図版５　県土木事業関係遺跡・県教育庁関係遺跡……12
遺跡地名表　位置図・図版６　県教育庁関係遺跡……13
遺跡地名表　位置図・図版７　都市再生機構・農林省・法務省関係事業……14
遺跡地名表　位置図・図版８　国土交通省関係遺跡……15
遺跡地名表　位置図・図版９　国土交通省関係遺跡……16
遺跡地名表　位置図・図版10　国土交通省関係遺跡・日本道路公団関係遺跡……17

Ⅰ　調査の目的、方法と経過

1　調査の目的、方法

本調査は、平成18年度以降に予定されている開発計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の詳細な分布調査を行い、遺跡の所在、範囲、性格を明らかにし、開発計画との調整をとって、遺跡の保護を図ることを目的とした。なお、一部、今年度までの調査結果に基づき、記録保存や現状保存を目的とする小規模な発掘調査と工事立会の調査も実施した。

調査は、その目的によって、以下の方法で実施した。

（1）Ａ調査（現地確認調査・表面踏査）

開発事業計画範囲内の表面踏査を行い、遺跡の範囲と事業実施計画区域の平面的な関係を確認し、遺跡の保護を図ることを目的とする。

（2）Ｂ調査（試掘調査）

坪掘りやトレンチ掘りを行って遺構や遺物の平面的な分布範囲や、遺構確認面までの深さ等を把握して、開発計画との調整をとって遺跡の保護を図ることを目的とする。

（3）Ｃ調査（記録保存のための発掘調査）

Ａ・Ｂ調査の結果、遺跡の保存状態が良好でない場合や、開発事業にかかる面積が狭い場合や接する場合に、必要に応じて実施する記録保存の調査。方法は発掘調査に準ずる。

（4）立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合、工事施工に立ち会って実施する調査。この調査によって、遺構や遺物が発見された場合には記録保存を行う。

2　調査の経過

山形県教育委員会では、毎年５～６月に開発関係各機関に、今後の事業計画についての照会を行い、その回答を受けて、７月上～中旬に聴き取りを実施し、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について検討を行っている。そして、この結果に基づいて、必要に応じて分布調査を実施し、事業との調整を図っている。そのほか、開発関係各機関から提出された埋蔵文化財分布調査依頼に基づく調査も随時行っている。

平成17年度の調査は表－１に示した各遺跡の調査を平成17年４月から平成18年３月まで表－２の工程で行うと共に、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための表面踏査と試掘調査も実施した。

なお、平成17年度に県教育委員会が新たに発見した遺跡（平成17年度登録遺跡）、範囲等を訂正した遺跡、登録を抹消した遺跡は、Ⅳ章のまとめに示した。

表－1　平成17年度埋蔵文化財遺跡詳細分布調査一覧

No	事業名	事業地区名	遺跡名	調査区分				備考
				A	B	C	立会	
1	畑地帯総合整備事業	天童市川原子	光明寺跡	○			○	
2	経営体育成基盤整備事業	舟形町一本杉福地	可能性地1・2	○				
3	農業集落排水資源循環統合補助事業	舟形町長者原福寿野	長者原	○				
4	農業集落排水資源循環統合補助事業	舟形町長者原福寿野	稲場	○				
5	農業集落排水資源循環統合補助事業	舟形町長者原福寿野	新田裏	○				
6	農業集落排水資源循環統合補助事業	舟形町長者原福寿野	神明神社	○				
7	農業集落排水資源循環統合補助事業	舟形町長者原福寿野	原田	○				
8	農業集落排水資源循環統合補助事業	舟形町長者原福寿野	可能性地	○				
9	ふるさと農道緊急整備事業	真室川町木ノ下	オクミ館	○				
10	ふるさと農道緊急整備事業	新庄市野中	中川原C	○				
11	経営体育成基盤整備事業	長井市豊里	未確認	○				
12	農地環境機能整備事業	南陽市上野	上野		○			
13	農免農道整備事業	寒河江中央	上の寺遺跡		○			
14	国道287号道路改築(和合バイパス)	朝日町玉ノ井	八つ目久保・小笹	○				
15	(主)大江西川線地方特定道路整備事業	大江町柳川	柳川館・青柳	○				
16	地方道路整備交付金長瀞野田線	東根市野田	蟹沢熊野堂・郡山	○				
17	特殊改良1種事業国道344号	真室川町秋山	可能性地2		○			
18	一般国道287号改良事業	朝日町大谷	上の山				○	
19	道路改築事業(主)米沢高畠線	米沢市長手	長手古墳群		○			
20	道路改築国道287号長井南バイパス	川西町松森	菅原館		○			
21	(一)米沢環状線	米沢市万世	未確認	○				
22	道路改築事業一般国道287号	米沢市窪田	未確認	○				
23	地方特定道路整備事業(一)広幡窪田線	米沢市六郷	小菅館ノ在家	○				
24	(主)酒田松山線	酒田市砂越	飛鳥遺跡		○			
25	(一)湯田川大山線	鶴岡市矢馳	上矢馳	○				新規発見
26	(一)湯田川大山線	鶴岡市白山	可能性地1	○				
27	花川臨時河川整備事業	山形市松原	花川	○				
28	大地蔵沢川通常砂防事業	米沢市李山	市布d				○	
29	大地蔵沢川通常砂防事業	米沢市李山	市布e				○	
30	大洞入沢通常砂防事業	米沢市李山	大洞				○	
31	七郎ヶ沢通常砂防事業	米沢市関根	七郎ヶ沢遺跡				○	
32	竹森沢通常砂防事業	高畠町竹森	可能性地	○				
33	出来ヶ沢通常砂防工事	長井市勧進代	戸根林B・C	○				
34	西山沢通常砂防事業	最上町上満沢	小松原A				○	
35	瀬脇水神沢通常砂防事業	舟形町堀内	可能性地				○	
36	大波渡川通常砂防事業	鶴岡市堅苔沢	堅苔沢館	○				
37	内田元急傾斜地崩壊対策事業	鶴岡市中清水	栗館	○				
38	村山広域水道送水管宮宿延伸事業	朝日町宮宿	豊龍館	○				
39	村山広域水道送水管宮宿延伸事業	朝日町宮宿	上ノ台遺跡	○				
40	県立米沢東高校校舎改築事業	米沢市丸の内	米沢城		○			
41	県立酒田東高校校舎改築事業	酒田市亀ヶ崎	亀ヶ崎城	○				
42	県立高畠高校校舎解体工事	高畠町高畠	高畑城・大在家				○	
43	県立高等養護学校関係	山形市谷柏	谷柏		○			
44	県立新庄工高校舎改築事業	新庄市	新庄工業高敷地内	○				
45	山形ニュータウン整備事業	山形市松原	可能性地24		○			
46	最上川中流農業水利事業西部幹線用水路柏倉分水工工事	山形市	中林古墳群				○	
47	最上川下流沿岸農業水利事業前川第2幹線用水路工事	酒田市関	北田2	○	○			新規発見
48	東北管区警察局無線中継所建設等工事	鶴岡市大山	高館				○	
49	山形裁判所長官舎新築事業	山形市	可能性地		○			
50	国道13号新庄北道路	新庄市松本	可能性地2		○			
51	国道13号上山バイパス	南陽市川樋	中川工区	○				
52	国道13号上山バイパス	上山市中山	中山城跡	○	○			範囲訂正
53	国道13号上山バイパス中川工区	南陽市川樋	可能性地2		○			
54	国道13号上山バイパス中川工区	南陽市川樋	加藤屋敷		○			新規発見
55	国道13号上山バイパス中川工区	南陽市川樋	岩谷堂2		○			新規発見
56	国道113号赤湯バイパス	南陽市赤湯	可能性地	○				
57	国道113号赤湯バイパス	南陽市漆山	檜原		○			範囲訂正

No.	事業名	事業地区名	遺跡名	調査区分				備考
				A	B	C	立会	
58	国道113号赤湯バイパス	南陽市梨郷	可能性地1		○			
59	国道113号赤湯バイパス	南陽市梨郷	上大作裏		○			
60	国道113号赤湯バイパス	南陽市梨郷	天王		○			
61	須川河川改修	天童市寺津	可能性地1		○			
62	須川河川改修	中山町落合	可能性地2		○			
63	須川河川改修	山形市灰塚	中野的場		○			新規発見
64	須川河川改修	山形市灰塚	中野的場				○	
65	須川河川改修	山辺町山辺	去手呂対岸可能性地		○			
66	須川河川改修	山形市志戸田	去手呂古墳群		○			範囲訂正
67	余目・酒田道路	庄内町余目	南口A	○				
68	余目・酒田道路	庄内町払田	八間	○				新規発見
69	鶴岡北改良宝田本田線	鶴岡市本田	本田		○			
70	荒川・横川ダム建設事業	小国町叶水	下叶水		○			範囲訂正
71	長井ダム建設工事利水補償施設建設工事	長井市寺泉	空沢	○				
72	東北中央自動車道福島米沢間梓山地区	米沢市桑山	堤屋敷	○	○			範囲訂正
73	東北中央自動車道福島米沢間梓山地区	米沢市桑山	稲荷山館	○				
74	東北中央自動車道福島米沢間梓山地区	米沢市桑山	山ノ下	○	○			新規発見
75	東北中央自動車道福島米沢間梓山地区	米沢市桑山	下屋敷	○	○			新規発見
76	東北中央自動車道東根尾花沢間	東根市大富北	可能性地1	○				
77	東北中央自動車道東根尾花沢間	東根市大富北	可能性地2	○				
78	東北中央自動車道東根尾花沢間	東根市小田島	可能性地3	○				
79	東北中央自動車道東根尾花沢間	東根市長瀞	可能性地4	○				
80	東北中央自動車道東根尾花沢間	東根市長瀞	可能性地5	○				
81	東北中央自動車道東根尾花沢間	東根市長瀞	八反	○				
82	東北中央自動車道東根尾花沢間	大石田町	可能性地11	○				
83	東北中央自動車道東根尾花沢間	大石田町	可能性地12	○				
84	東北中央自動車道東根尾花沢間	大石田町	今宿C	○				
85	東北中央自動車道東根尾花沢間	大石田町	家ノ廻	○				
86	東北中央自動車道東根尾花沢間	大石田町	西原	○				
87	日本海沿岸東北自動車道鶴岡温海間	鶴岡市白山林	可能性地1		○			
88	日本海沿岸東北自動車道鶴岡温海間	鶴岡市白山林	矢馳A		○			範囲訂正
89	日本海沿岸東北自動車道鶴岡温海間	温海町五十川	川内袋遺跡		○			範囲訂正
90	日本海沿岸東北自動車道鶴岡温海間	鶴岡市白山林	岩崎		○			新規発見
91	日本海沿岸東北自動車道鶴岡温海間	鶴岡市白山林	南田		○			新規発見

表－2　平成17年度県内遺跡分布・試掘調査工程表

事業名	平成17年									平成18年			平成19年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
県農林・土木事業関係	―	―	―	―	―	―	―	―	―	-					
国土交通省・道路公団他関係		―	―	―	―	―	―	―				―	-		
平成18年度以降の埋蔵文化財包蔵地に関わる開発事業計画の聴き取り				-											
遺物資料整理										―	―	―			
報告書原稿作成												-	―	―	―

Ⅱ　調査の概要

1　遺跡地名表

(1)　県農林事業関係遺跡

No.	種　別	遺　跡　名	所　在　地	時　期	立　地	地　目
1	寺院跡	光明寺跡	天童市川原子	江戸時代	段丘(163m)	樹園地
2	集落跡	長者原	舟形町大字長者原	縄文時代	段丘(60m)	水田
3	集落跡	稲葉	舟形町大字長者原254	縄文時代	段丘(55m)	宅地 水田
4	集落跡	新田裏	舟形町大字長者原字白金	縄文時代	段丘(50m)	水田
5	墳墓	神明神社	舟形町大字長者原字長者原	鎌倉時代	段丘(60m)	神社
6	集落跡	原田	舟形町大字長者原字原田	縄文時代	段丘(64m)	水田
7	集落跡 城館跡	オクミ館	真室川町大字木ノ下	縄文時代 中世	独立丘(68m)	荒蕪地
8	集落跡	中川原C	新庄市十日町字野中	縄文時代	段丘(115m)	水田

(2)　県土木事業関係遺跡

No.	種　別	遺　跡　名	所　在　地	時　期	立　地	地　目
9	包蔵地 城館跡	柳川楯・青柳	大江町大字青柳字壇の越	中世 縄文時代	山頂 段丘	山林 墓地
10	集落跡	蟹沢熊野堂・郡山	東根市大字蟹沢字熊野堂・東根市大字郡山	縄文 弥生縄文 平安	平地(95m)	宅地 水田
11	城館跡	菅原館	川西町大字西大塚字松森	中世	平地(213m)	宅地 畑地 水田
12	城館跡	小菅館ノ在家	米沢市広幡町上小菅字館ノ在家	中世	平地(240m)	宅地 水田 墓地
13	集落跡	飛鳥	酒田市飛鳥神内	平安～鎌倉時代	平地(11m)	水田
14	散布地	上矢馳	鶴岡市矢馳字上矢馳	平安時代	平地(15m)	水田 畑地
15	集落跡	市布d	米沢市大字李山字市布	縄文時代	沖積地(370m)	山林 荒蕪地
16	集落跡	市布e	米沢市大字李山字市布	縄文時代	沖積地(350m)	山林 荒蕪地
17	集落跡	大洞	米沢市大字李山字大洞寺下	縄文時代	沖積地(395m)	宅地 山林 畑地
18	散布地	七郎ヶ沢	米沢市大字関根	縄文時代	段丘(324m)	畑地 宅地
19	散布地	戸根林B 戸根林C	長井市草岡字戸根林	縄文時代	山麓(270m) 段丘(267m)	山林 荒蕪地
20	集落跡	小松原A	最上町大字上満沢字広面	縄文時代	山麓(245m)	山林 荒蕪地

遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　　考
天童市街の北東６km、乱川の河岸段丘上に立地する。農道拡幅工事に伴う立会である。遺構・遺物とも未検出である。	なし	№186 平成17年９月・10月に県教委立会調査
最上小国川の右岸の段丘上に立地する。農業集落排水事業に伴い、踏査を行ったものである。事業による影響はないと判断された。	なし	№973
最上小国川の右岸の段丘上に立地する。農業集落排水事業に伴い、踏査を行ったものである。事業による影響はないと判断された。	なし	№974
最上小国川の右岸の段丘上に立地。農業集落排水事業に伴い、踏査実施。石器剥片が畑から採取できる。事業による影響はないと判断された。	石器剥片	№972
最上小国川の右岸の段丘上の神明神社境内に立地する。農業集落排水事業に伴い、踏査を行ったものである。事業による影響はないと判断された。	なし	№975
最上小国川の右岸の段丘上に立地する。農業集落排水事業に伴い、踏査を行ったものである。事業による影響はないと判断された。	なし	№976
ＪＲ豊里駅北西約0.7km、真室川と鮭川の合流点の独立丘に立地。保存協議により現状保存されたが、荒廃。農道事業による影響はない。	なし	№1008 平成12年５月県教委試掘調査実施
泉田川右岸の河岸段丘上に立地。平成11年・12年度に(財)山形県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施。農道新設部分について平成18年度に発掘調査予定。	なし	平成８年度登録

遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　　考
月布川左岸の河岸段丘とその裏山山頂部に立地。縄文時代の青柳遺跡は、墓地でかつて石器が採取された。道路予定地の低位段丘について試掘調査が必要である。	なし	324－029 №554
(主)長瀞野田線工事に伴い踏査を実施した。周知の野田中島遺跡及び野田蕨手刀出土地１遺跡周辺の工事区について、試掘調査が必要である。	なし	№714 №712
一般国道287号線長井南バイパス工事に伴い、試掘調査を実施した。４本のトレンチを設定したが、いずれのトレンチからも遺構・遺物は確認されなかった。	なし	382－006
一般県道広幡窪田線改良工事に伴い、踏査を実施した。事業による影響はないものと判断された。	なし	Ｉ－465
飛鳥中学校北側の水田と、国道345号を挟み東側の水田に立地し、２分されている。試掘の結果事業範囲までは遺跡が拡大しないことが判明した。	なし	平成元年度登録 平成２年度範囲訂正
一般県道湯田川大山線工事に伴い、踏査を実施した。国道７号を挟んでパチンコ店北側駐車場の東側豆畑と北側豆畑から、平安時代の須恵器などが多く採取できる。事業前に試掘が必要。	須恵器・土師器	平成17年度新規登録
砂防事業の工事用道路および堤体工事に伴い立会調査を実施した。石器剥片が１点表採されたが、設定したトレンチからは遺構・遺物は確認されない。	石器剥片	Ｅ－104
砂防事業の工事用道路工事に伴い立会調査を実施した。設定したトレンチからは遺構・遺物は確認されない。	なし	Ｅ－117
砂防事業に伴う簡易水道配水施設工事の立会調査を実施した。調査区内から縄文土器片が１点出土したが、遺構は確認されない。	縄文土器片	Ｅ－124
砂防堰堤工事に伴う現道拡幅工事の立会調査を実施した。設定した２ヶ所のトレンチのうち１ヵ所から、時期不明の小ピットが検出された。	なし	平成16年度登録
戸根林館の東側の山麓部に立地する。砂防事業に伴い踏査を実施した。工事範囲は遺跡範囲内に及ばないことが判明した。	なし	70 71
ＪＲ陸羽東線向町駅の南4.5kmの山麓に立地する。砂防事業に伴う水路工事立会を実施した。遺跡範囲は工事範囲内に及ばないことが判明した。	なし	№936

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
21	不明	可能性地	舟形町堀内	不明	段丘 (70m)	山林
22	城館跡	堅苔沢館	鶴岡市大字堅苔沢字渕の上、字宮田	中世	山頂 山腹 (100m)	山林
23	城館跡	栗館	鶴岡市大字中清水字桃木沢・大字下清水字内田元	不明	山頂 (58m)	山林

(3) 県教育庁関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
24	城館跡	米沢城	米沢市丸の内一丁目	不明	平地 (250m)	公園 宅地 学校外
25	集落跡	谷柏	山形市大字谷柏	古墳 奈良 平安	平地 (126m)	畑地 水田 宅地

(4) 都市再生機構関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
26	不明	可能性地24	上山市十日町	不明	丘陵 (260m)	荒蕪地

(5) 農林水産省関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
27	古墳	中林古墳群	山形市大字柏倉字中林	古墳時代	丘陵 (160m)	畑地

(6) 法務省関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
28	不明	可能性地	山形市緑町一丁目	不明	平地 (150m)	宅地

(7) 国土交通省関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
29	不明	可能性地2	新庄市新田	不明	段丘 (90m)	水田
30	集落跡 城館跡	中山城	上山市中山字天守山	江戸時代	山頂 (344m)	山林 宅地 畑地
31	散布地	岩谷堂2	南陽市川樋字平石	平安時代	扇状地 (290m)	水田
32	集落跡	中野的場	山形市大字中野字的場	平安時代	自然堤防 (96m)	荒蕪地
33	古墳 集落跡	去手呂古墳群	山形市大字志戸田字去手呂	古墳時代	自然堤防 (99m)	荒蕪地
34	包蔵地	南口A	庄内町大字南口	近世	平地 (7m)	水田
35	散布地	八間	庄内町大字払田字八間	平安時代	平地 (7m)	水田
36	散布地	本田	鶴岡市大字本田	平安時代	平地 (11m)	水田
37	集落跡	矢馳A	鶴岡市大字矢馳字下矢馳	古墳～ 平安時代	平地 (15m)	水田

遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　考
最上川左岸の段丘の張り出し部に立地する。北に手倉森館が隣接する。砂防事業に伴い試掘調査を実施したが、遺構・遺物とも確認されず、遺跡とはならない。	なし	
小堅小学校南東の山嶺に立地。砂防事業に伴い踏査を実施した。堰堤予定地南の曲輪群が水没あるいは改変を受けると予想される。事業実施前に試掘が必要。	なし	203－064
下清水と中清水の間に位置する小丘陵の山頂に立地する。砂防事業による擁壁工事に伴い踏査を実施した。工事による影響は少ないと判断された。	なし	203－019

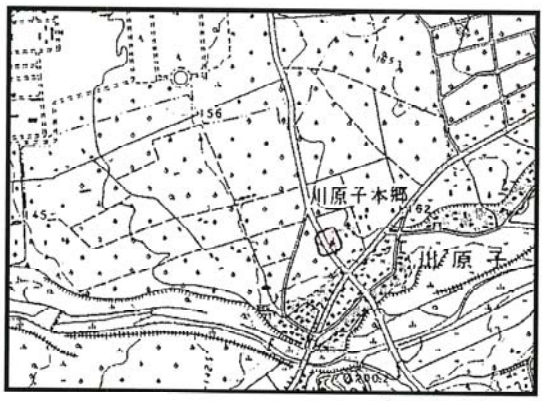
遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　考
米沢市街の松が岬公園に位置する。県立米沢東高校校舎改築事業に伴い試掘調査を実施した。明瞭な遺構は検出されない。	陶磁器片	202－148
ＪＲ蔵王駅の北西１㎞に位置する。仮称村山養護学校建設事業に伴い山形聾学校敷地内を試掘調査を実施した。設定したトレンチからは遺構・遺物は確認されない。	なし	No85

遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　考
上山競馬場西側の丘陵西斜面に位置する。山形ニュータウン事業に伴い、久保手窯跡関連遺跡を想定して試掘調査を実施した。遺跡とはならないことが判明した。	なし	

遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　考
柏倉地区南側に位置する丘陵の東斜面に立地する。分水工工事に伴い、丘陵西側端部を立会調査を実施した。削平が激しく遺構・遺物は検出されない。	なし	分－12－６－11

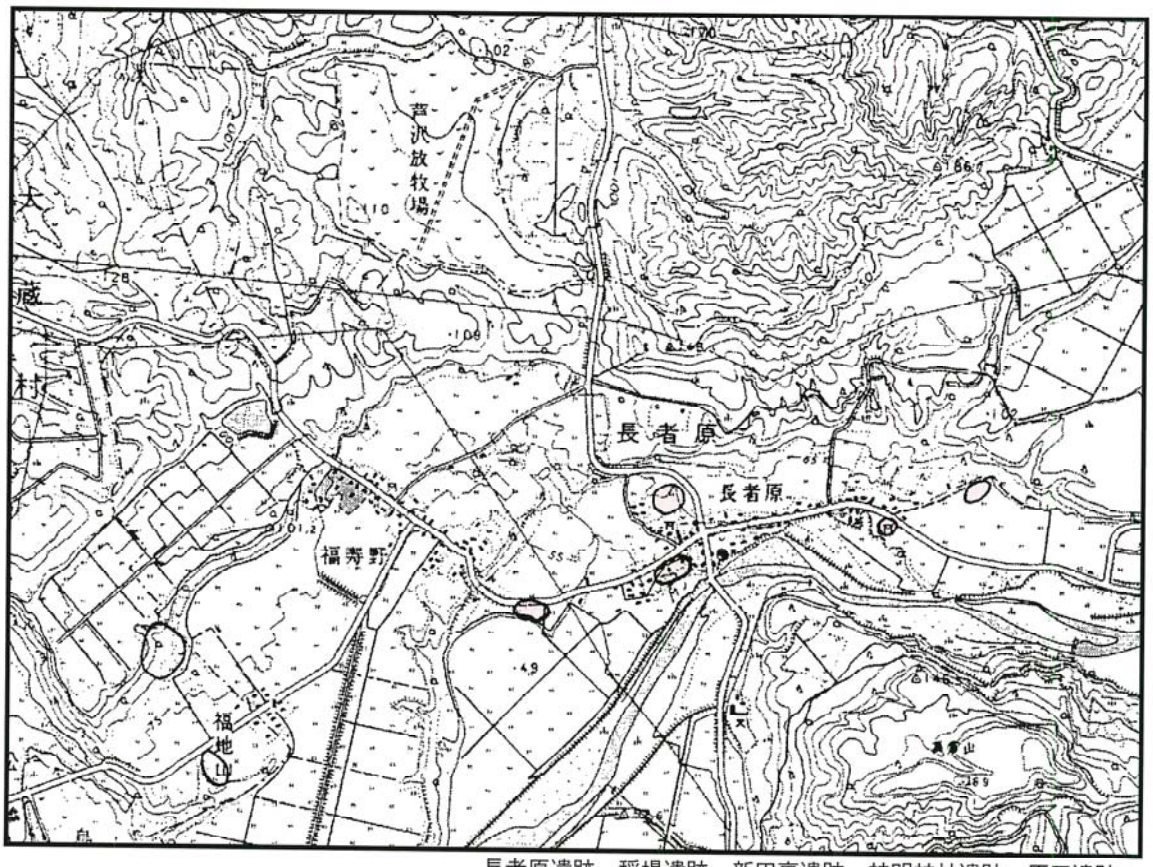
遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　考
山形気象台西隣に位置する。山形裁判所所長官舎新築に伴い、試掘調査を実施した。設定したトレンチからは遺構・遺物は検出されず、遺跡とはならない。	なし	

遺　跡　概　要	出　土　遺　物	備　考
県立新庄北高校の南西の水田に位置する。新庄北道路建設事業に伴い、試掘調査を実施した。近世の溝跡・土坑が１基検出されたのみである。	なし	
平成15年度の試掘未実施区域について、実施した。試掘坑から柱穴・溝跡が検出され、南側の畑地からは縄文土器片が出土した。平成17･18年度発掘調査実施。	縄文土器片・陶磁器片	207－001
こぶし荘の南東の小扇状地の扇央部に立地する。周知の縄文時代の遺跡である岩谷堂遺跡と接する。水田畦畔や耕作土中から須恵器や土師器の破片が採取できる。	須恵器片・土師器片	平成17年度新規登録
ホクヨー西側の須川河川敷に位置する。今回は、遺跡西側の低位段丘の削平工事立会を実施した。遺構・遺物は確認されず、遺跡は工事区へ延びないことが判明した。	なし	平成17年度新規登録
須川右岸ＪＲ左沢線橋梁の南側に位置する。河川改良事業に伴い立会調査を実施した。遺跡範囲は工事予定地へは及ばないことが判明した。	なし	範囲訂正
南口集落の南側約150ｍの水田中に位置する。高規格道路事業に伴い踏査を行った。事業用地内に一部含まれる可能性があり、試掘が必要である。	なし	昭和61年度登録
払田集落の南側、(主)余目温海線西側に隣接する水田中に位置する。南北約700ｍ、東西約300ｍ。転作田中から須恵器片が多く採取できる。	須恵器片・土師器片	平成17年度新規登録
本田集落の北東、三川バイパスと国道７号の交差点南側の水田に位置する。設定したトレンチから、遺構は検出されない。過去の開田により削平されたと考えられる。	須恵器片	平成13年度登録
日沿道工事に伴い、遺跡に接する北東部分について試掘調査を実施した。２本のトレンチから遺物が出土し、遺跡は北東方向へ若干拡大すると判断された。	須恵器片・土師器片	範囲訂正

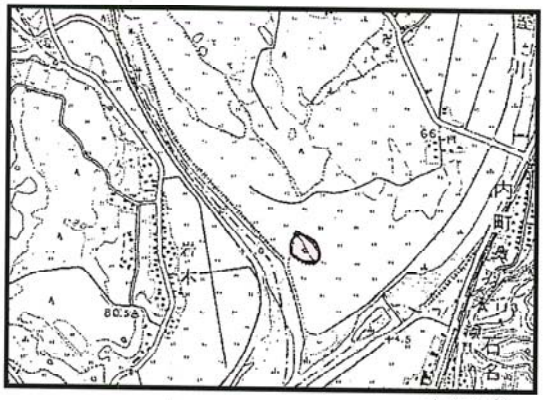


光明寺跡遺跡

光明寺跡近景



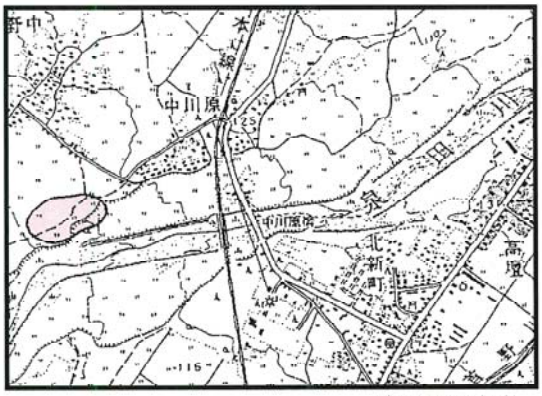
長者原遺跡　稲場遺跡　新田裏遺跡　神明神社遺跡　原田遺跡



オクミ館

オクミ館近景

遺跡地名表　位置図・図版１（県農林事業関係遺跡）



中川原Ｃ遺跡

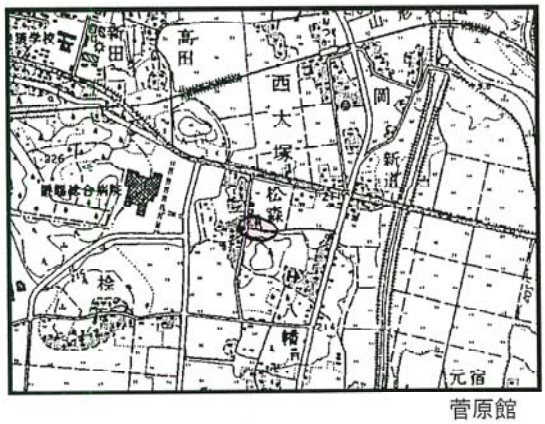
中川原Ｃ遺跡遠景

柳川楯・青柳遺跡

柳川楯・青柳遺跡近景

蟹沢熊野堂遺跡・郡山遺跡

長瀞野田線調査対象区



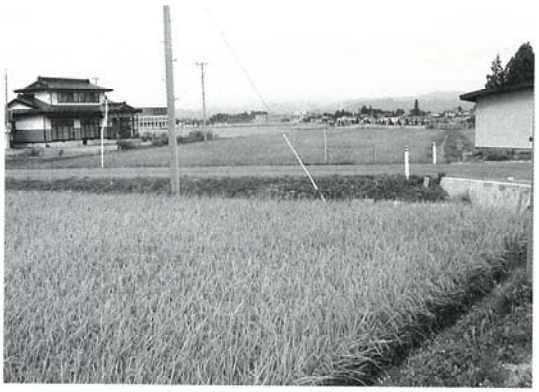
菅原館

菅原館調査風景

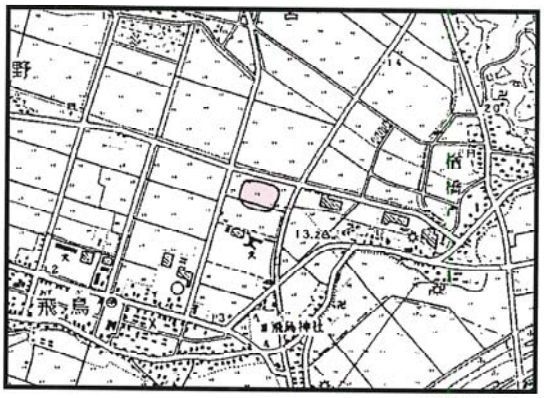
遺跡地名表　位置図・図版２（県土木事業関係遺跡）

菅原館出土遺物

小菅館ノ在家館

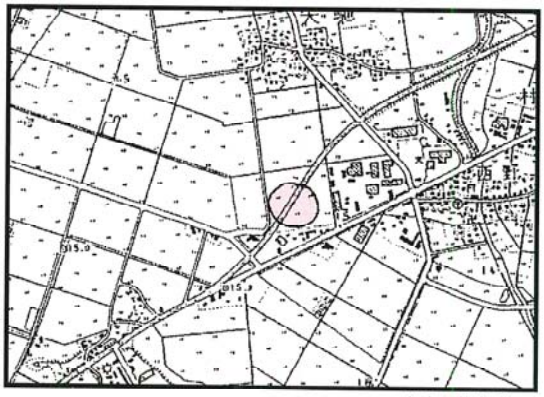


小菅館ノ在家館遠景



飛鳥遺跡

飛鳥遺跡近景



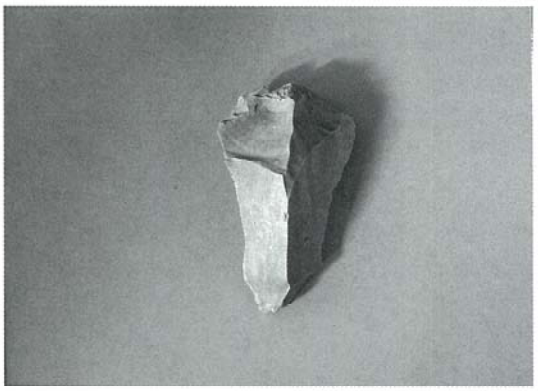
上矢馳遺跡

上矢馳遺跡近景

市布ｄ遺跡・市布ｅ遺跡・大洞遺跡

遺跡地名表　位置図・図版３（県土木事業関係遺跡）

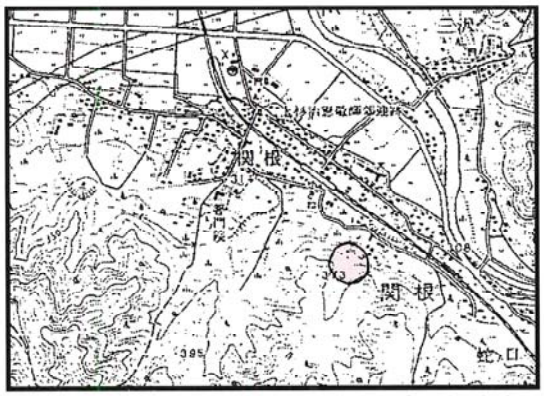
市布ｄ遺跡道路拡張部分



市布ｄ遺跡出土石器

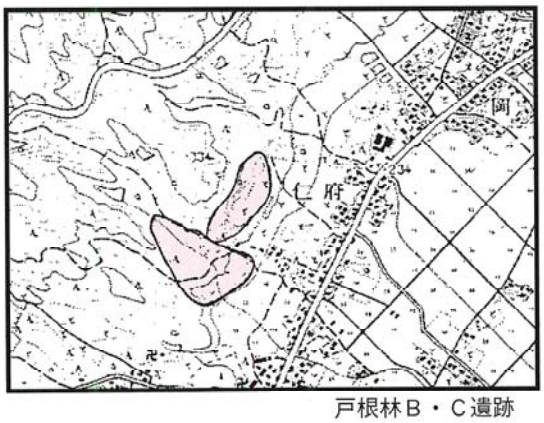
大洞遺跡立会状況

大洞遺跡立会掘削状況



七郎ヶ沢遺跡

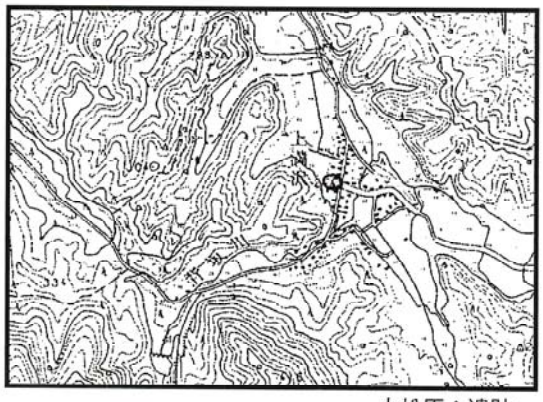
七郎ヶ沢遺跡近景



戸根林Ｂ・Ｃ遺跡

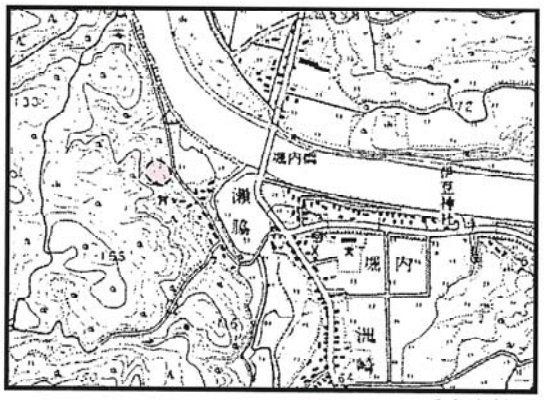
戸根林Ｂ・Ｃ遺跡近景

遺跡地名表　位置図・図版４（県土木事業関係遺跡）



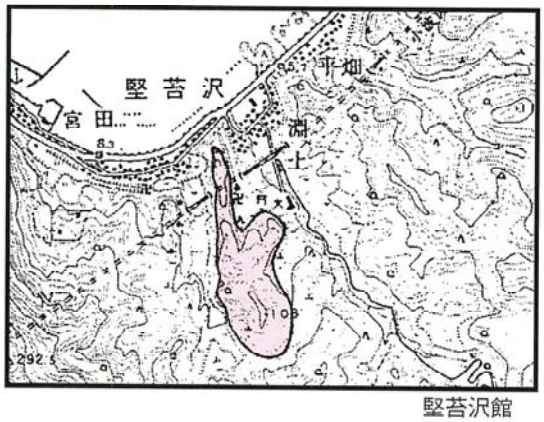
小松原Ａ遺跡

小松原Ａ遺跡近景



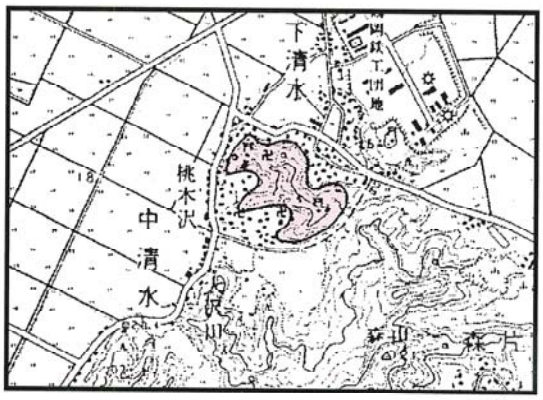
手倉森館

手倉森館近景

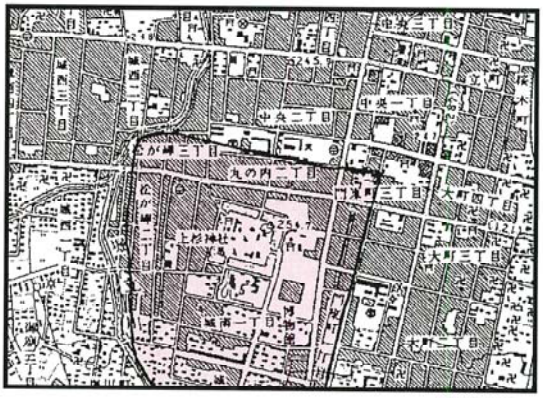


堅苔沢館

堅苔沢館近景



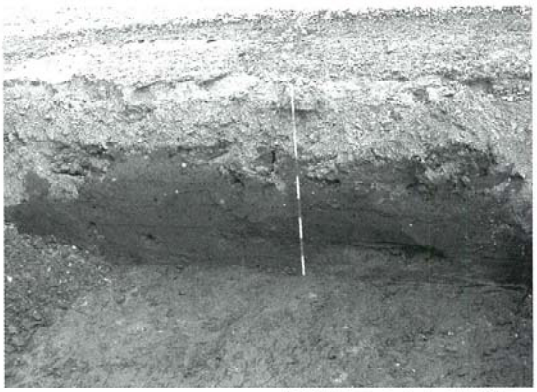
栗館



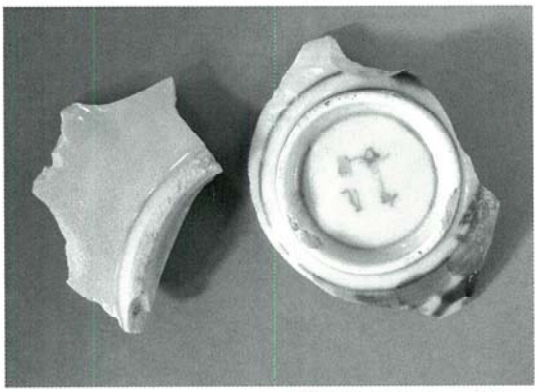
米沢城

遺跡地名表　位置図・図版５（県土木事業関係遺跡・県教育庁関係遺跡）

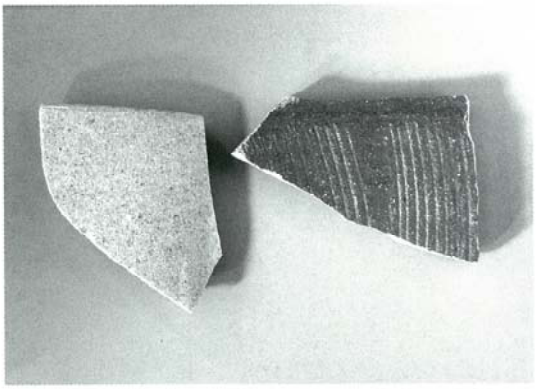
米沢城三の丸調査状況



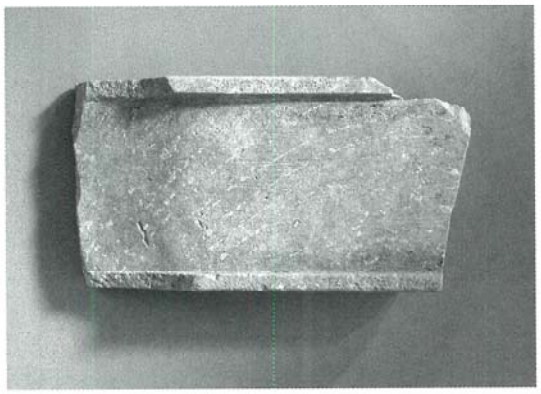
米沢城三の丸土層状況



米沢城三の丸出土磁器



米沢城三の丸出土土器



米沢城三の丸出土硯

谷柏遺跡

谷柏遺跡調査風景

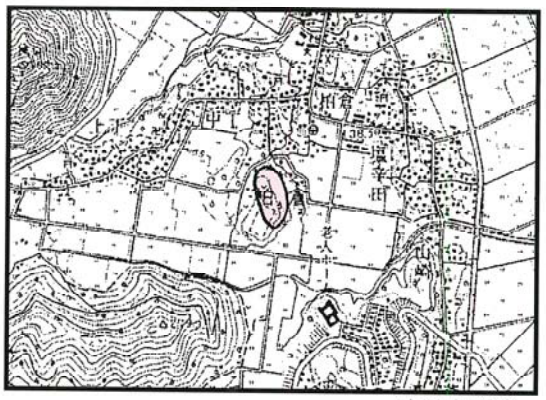
谷柏遺跡土層状況

遺跡地名表　位置図・図版６（県教育庁関係遺跡）

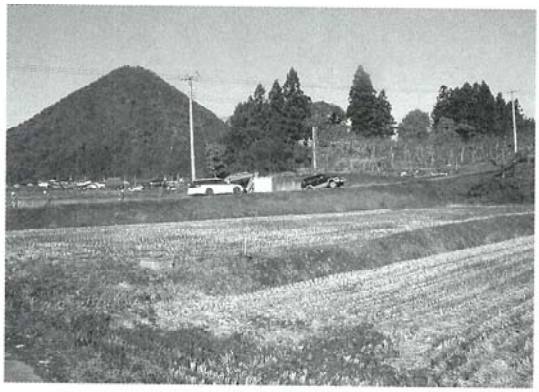
山形ニュータウン可能性地24

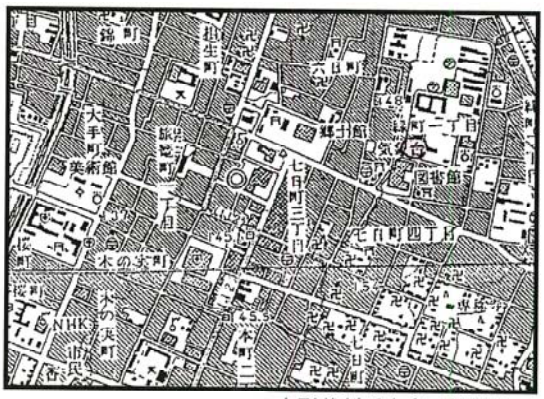
山形ニュータウン可能性地24近景

山形ニュータウン可能性地24調査トレンチ



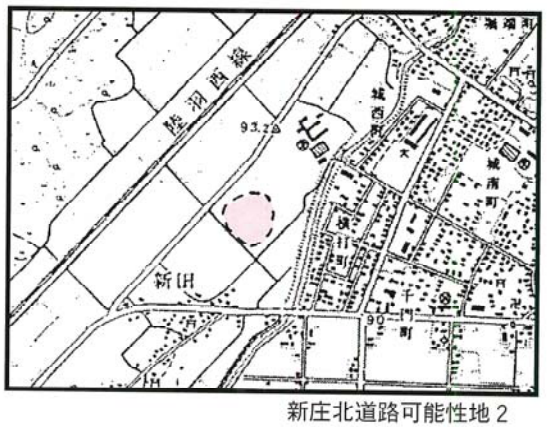
中林古墳群


中林古墳群遠景



山形裁判所官舎可能性地

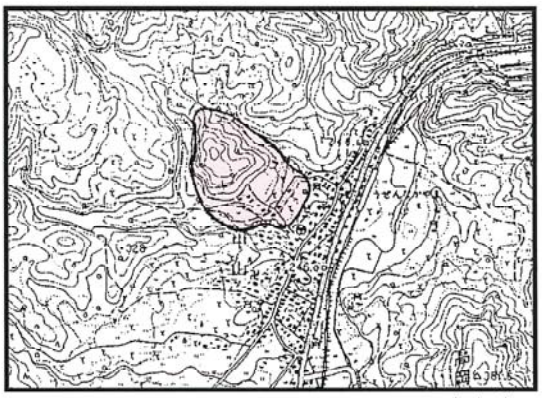
山形裁判所官舎立会状況



新庄北道路可能性地２

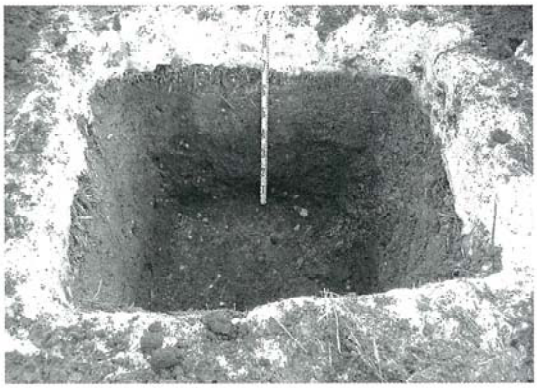
遺跡地名表　位置図・図版７（都市再生機構・農林省・法務省関係事業）

新庄北道路可能性地２調査トレンチ

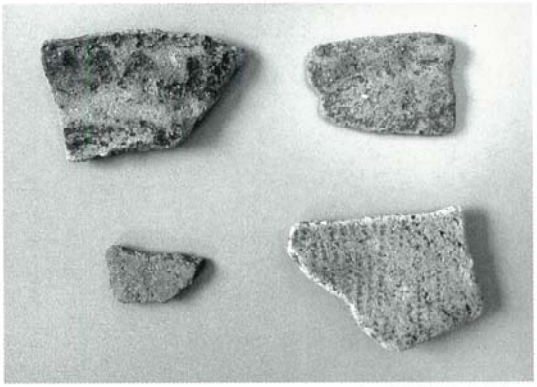


中山城

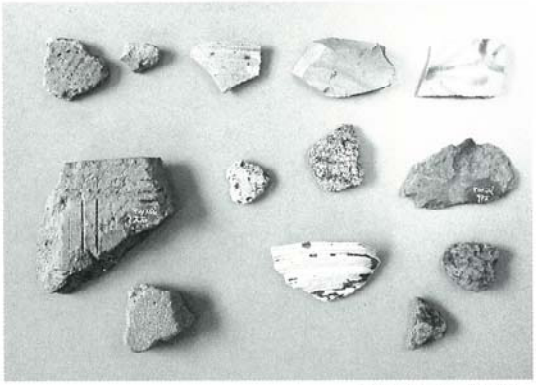
中山城近景



中山城試掘坑



中山城出土土器

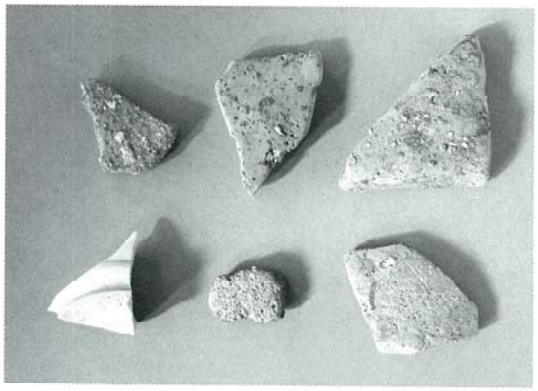


中山城出土遺物

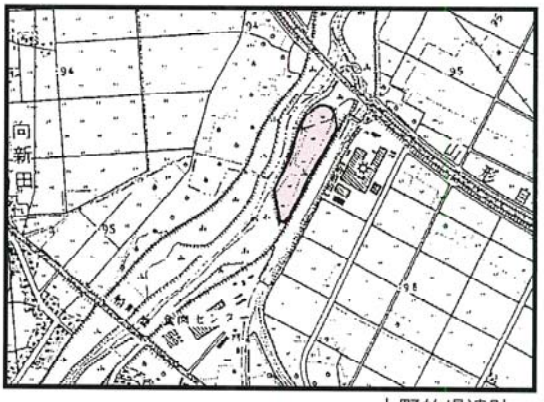
岩谷堂２遺跡

岩屋堂２遺跡近景

遺跡地名表　位置図・図版８（国土交通省関係遺跡）

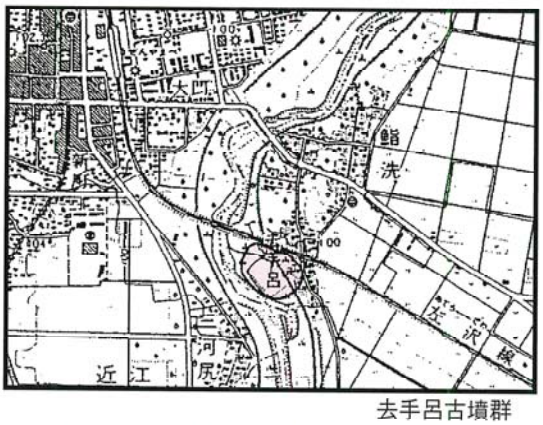


岩屋堂２遺跡出土遺物



中野的場遺跡

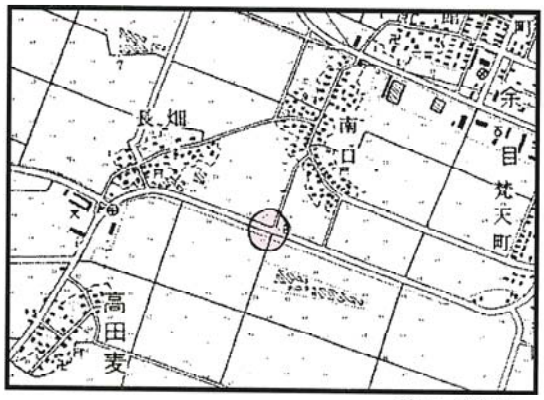
中野的場遺跡立会状況



去手呂古墳群

去手呂古墳群近景

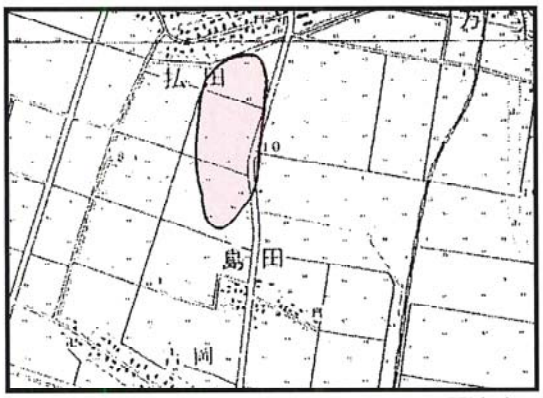
去手呂古墳群試掘トレンチ



南口Ａ遺跡

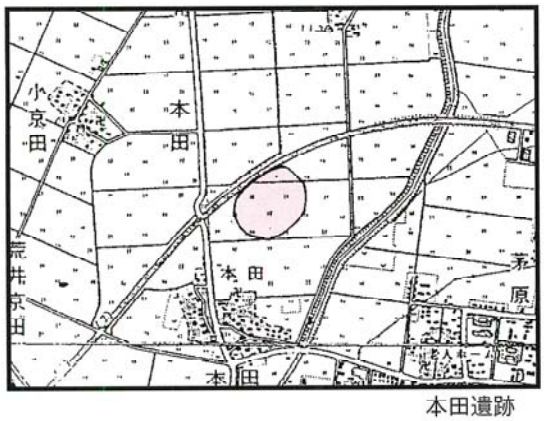
八間遺跡遠景

遺跡地名表　位置図・図版９（国土交通省関係遺跡）



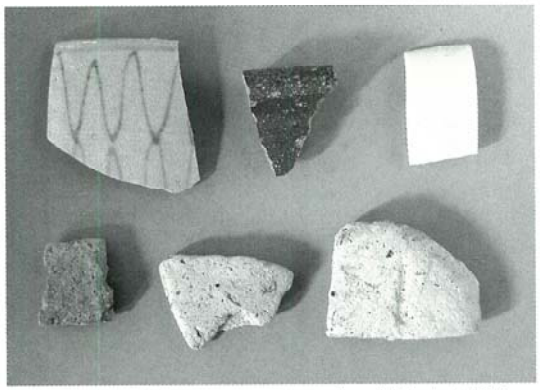
八間遺跡

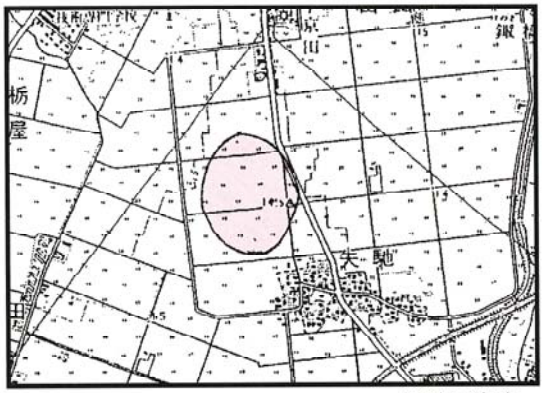
八間遺跡出土遺物



本田遺跡

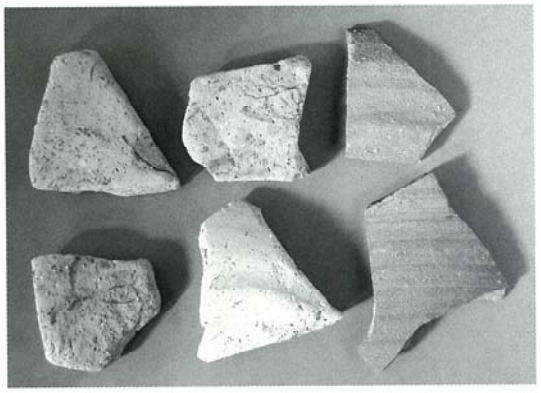
本田遺跡近景


本田遺跡出土遺物



矢馳Ａ遺跡

矢馳Ａ遺跡近景


矢馳Ａ遺跡出土遺物

遺跡地名表　位置図・図版10（国土交通省関係遺跡・道路公団関係遺跡）

2　試掘調査の概要

（1）上の寺遺跡

所　在　地　山形県寒河江市慈恩寺上の寺

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏　山口博之（財団法人山形県埋蔵文化財センター）

調査期日　平成17年７月25日～８月５日（延９日間）

起因事業　農免農道整備事業（寒河江中央地区）

遺跡環境　慈恩寺境内から北東方向へ約１㎞の所に位置し、五郎櫃楯から東に張出す丘陵の緩斜面を利用して計画的に造成されたと考えられる広い平坦面（曲輪群）が認められる。造成の時期は不明であるが、上の寺の地名や土塁状の遺構などから、鎌倉中期の薬師寺やその後の聞持院と云われた慈恩寺に係わる中世寺院が所在した処として注目される。

調　査　区　上の寺遺跡の全体像を明らかにし、遺跡域に残された遺構の配置状況を探る目的から、農道路線以外の通称「寺屋敷」他の２箇所について地権者の了解を得ながら調査区（Ａ～Ｃ区）を設定している。

調査方法　重機を用いて各調査区にトレンチ（Ａ区：Ｔ１～Ｔ７、Ｂ区：Ｔ１～Ｔ２、Ｃ区：Ｔ１～Ｔ３）を設定し、後に人力で面整理・面精査を実施した。

調査面積　Ａ区：112㎡　Ｂ区：40㎡　Ｃ区：68.5㎡　計220.5㎡。

検出された遺構と遺物

Ａ区（寺屋敷地区）

第１トレンチ（Ｔ１）1.3×15m（19.5㎡）

検出遺構：土坑・柱穴・性格不明落込　出土遺物：中世陶器１点

第２トレンチ（Ｔ２）1.2×15m（18㎡）

検出遺構：南北溝１条、東西溝２条　出土遺物：中国元代青磁片（花瓶：龍泉窯14世紀）

第３トレンチ（Ｔ３）1.3×20.5m（26.5㎡）、0.8×７m（5.6㎡）

検出遺構：基壇状盛土（東西７m以上×南北４m以上）　出土遺物：中国元代青磁片

第４トレンチ（Ｔ４）1.6×12m（19.2m）

検出遺構：土坑２基、柱穴４基、溝跡７条（畦状溝跡６条）　出土遺物：近世陶磁器片

第５トレンチ（Ｔ５）0.9×19.5m（17.55㎡）

検出遺構：土坑２基、溝跡２条　出土遺物：近世陶磁器片

第６トレンチ（Ｔ６）１×３m（３㎡）土塁上のトレンチ、遺構・遺物の検出なし

第７トレンチ（Ｔ７）１×３m（３㎡）土塁上のトレンチ、遺構・遺物の検出なし

Ｂ区（寺屋敷地区東側前面の調査区）

第１トレンチ（Ｂ－Ｔ１）1.5×14m（21㎡）

検出遺構：土坑２基、柱穴８基、溝跡１条　出土遺物：近世陶磁器片

第２トレンチ（Ｂ－Ｔ２）1.4×13.7m（19.18㎡）

検出遺構：土坑４基、柱穴５基、溝跡１条　出土遺物：中世陶器片（中世須恵器甕口縁部片１点）、瓦器（風炉）１点（15世紀代）

C区（C区北側の整地層が顕著に認められた調査区）

第1トレンチ（C－T1）1.5×21m（31.5㎡）

検出遺構：土坑1基　出土遺物：近世陶磁器片、中国元代青磁片1点

第2トレンチ（C－T2）1.5×20m（30㎡）

検出遺構：土坑2基、柱穴9基（南北棟の建物跡）、溝跡1条　出土遺物：近世陶磁器片

第3トレンチ（C－T3）1.4×（7－2）m（7㎡）、東西土層断面観察用トレンチ

まとめ

調査は土塁の廻る「寺屋敷」地区を中心として進め、「聞持院」や「薬師寺」、あるいはこれらに係わる「宿」や「坊」関連の遺構検出を目的とした。その結果、A～C区のいずれからも中世に属すると考えられる遺構と遺物が検出され、この地域一帯に中世寺院に関連した広範な遺構の拡がりが確認された。中でもA区第1トレンチから出土した中国元代の青磁花瓶片は、当時の輸入品の中でも特段に優れたものと推察できる点は注目される。類似品を探すと金沢文庫称名寺に伝わる完存品などに行き当たり、当該遺物が格式ある寺院との繋がりの中で寺院の「調度品」としての特殊な性格を持っていたと窺えて興味深い。

一方、A区第3トレンチ南側で検出された「掘り込み地業」を伴うと考えられる「基壇状遺構」も注目された。そこでは、基壇上から確実に掘り込まれる柱穴掘り方が確認でき、本堂に関連する付属の塔や堂などと考えられる建物跡の存在が推測される。

以上のことから、上の寺地区には中世寺院の存在が確実と予測され、加えて一帯には関連する建物が整然と配置されていたと考えられる。また、地元に伝わる断片的な伝承や慈恩寺に残る伽藍記（文献資料）記載の内容にも本遺跡の様相が符合することは見逃せない。今後、寺屋敷に続く北側台地などの曲輪群が調査されれば、寺院本体や関連施設あるいは溝延の地を望む高台に葬られた溝延長老の屋敷跡なども確認できる可能性が強い。

このように、上の寺遺跡は中世（14～15世紀）を主たる時期として営まれた慈恩寺本体に係わる重要な一画を占めていたことは確実であり、さらに近世初期までは継続していたことが出土品などから窺えた。また、伽藍記に見える「薬師寺」や「聞持院」などの施設、本来はこれらに帰属していたはずの薬師如来三尊や十二神将、あるいは虚空蔵菩薩などの仏像群の故地は正にこの上の寺遺跡であったと言える見通しが得られたことは大きな成果と言えるだろう。

（参考文献）

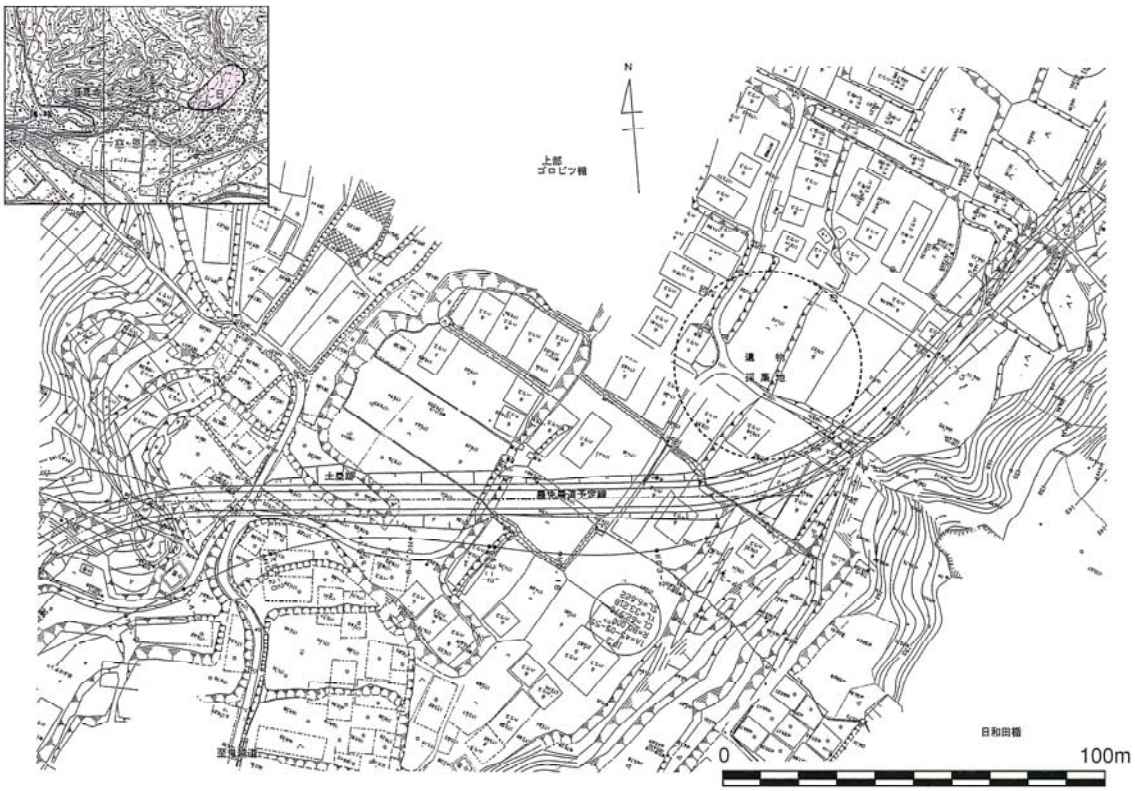
1）寒河江市教育委員会　2004「Ⅲ　慈恩寺地区（五郎櫃楯）調査の概要」寒河江市内遺跡発掘調査報告書（11）

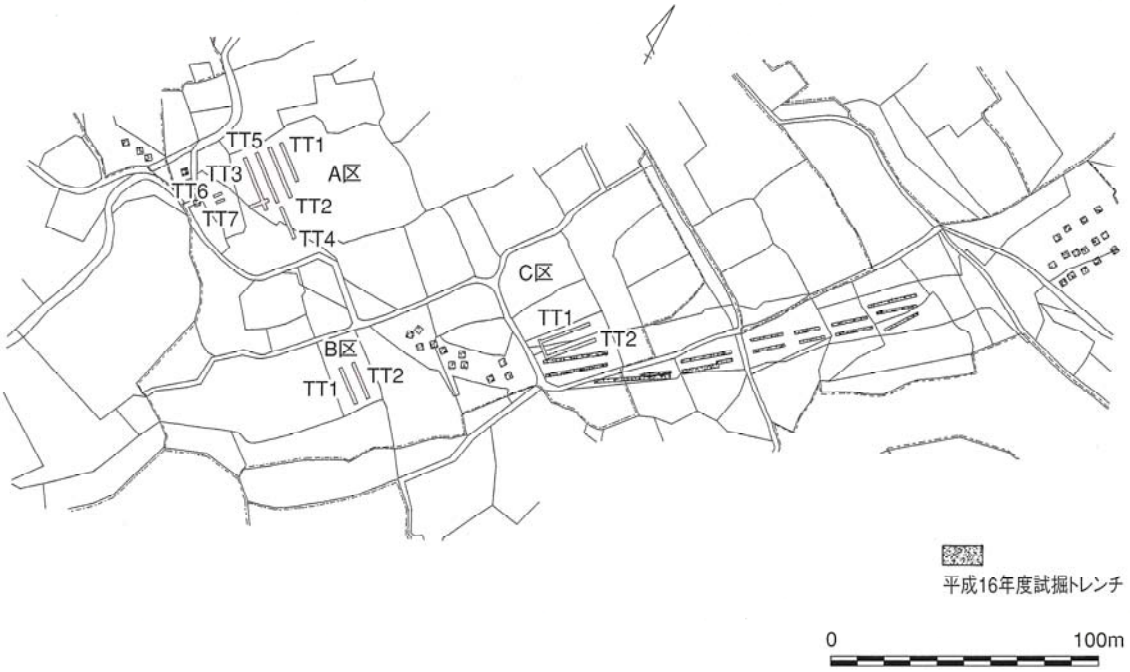
2）寒河江市教育委員会　2005「Ⅳ　慈恩寺上の寺遺跡」寒河江市内遺跡発掘調査報告書（12）

3）寒河江市教育委員会　2006「Ⅲ　慈恩寺台の上地区試掘調査」寒河江市内遺跡発掘調査報告書（13）

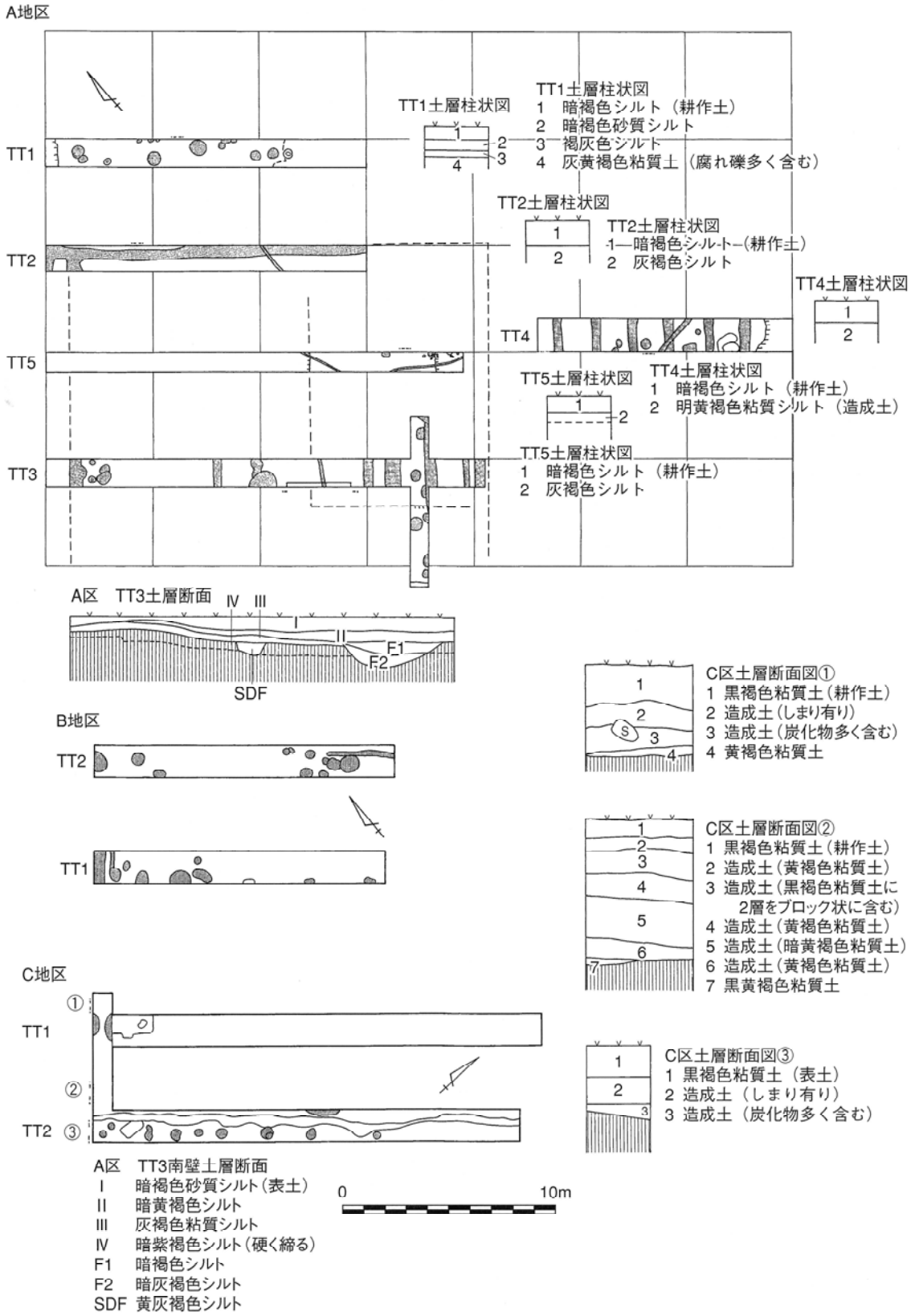
4）阿部酉喜夫監修　1981「慈恩寺年代集記・慈恩寺縁起」

5）阿部酉喜夫監修・解説　1964「慈恩寺一山絵図」





第１図　上の寺遺跡調査図



第２図　上の寺遺跡調査平面・断面略図

A区（寺屋敷）近景（東から）

A区試掘風景

A区調査風景

A区トレンチ調査風景

A区トレンチ調査風景

図版１　上の寺遺跡

A区Ｔ２トレンチ溝跡検出状況（東～）

A区土塁現況（南西～）

A区土塁現況（南東～）

A区土塁上の調査状況（南～）

A区土塁上の調査状況（北東～）

図版２　上の寺遺跡

A区テストピット

A区テストピット

A区Ｔ１トレンチ（東～）

A区Ｔ１トレンチ（西～）

陶器出土状況（Ｔ１II）

青磁出土状況（Ｔ２II）

陶器出土状況（Ｔ３II）

染付出土状況（Ｔ２II）

図版３　上の寺遺跡

A区Ｔ３拡張区　柱穴検出状況

同左　柱穴検出状況

A区Ｔ３拡張区　柱穴検出状況

A区Ｔ３　溝跡検出状況

A区Ｔ２区画溝跡検出状況（西～）

A区Ｔ３拡張区部分（整地層断面）

A区Ｔ３拡張区近影

図版４　上の寺遺跡

B区近景（西～）

B区調査状況（北西～）

B区Ｔ２中世須恵器出土状況

B区柱穴Ｔ１検出状況

C区Ｔ２トレンチ近景（南～）

C区東西トレンチ（東～）

C区整地層南北断面（東～）

C区整地層東西断面（北～）

図版５　上の寺遺跡

A区T２（SD）

A区T３E

C区T１II

B区T２II

図版６　上の寺遺跡

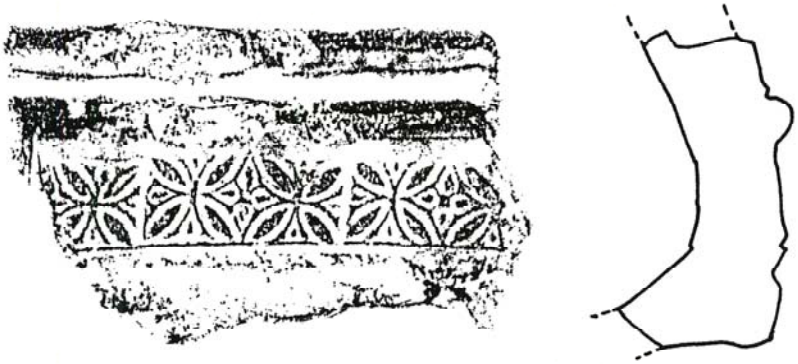
A区T 3 II

A区T 3 II

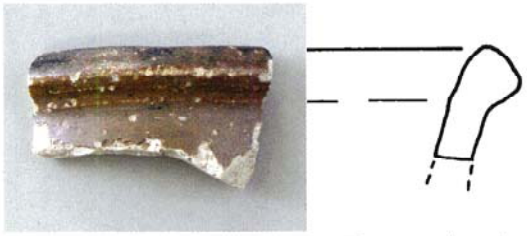
A区T 3 II

B区T 2 II

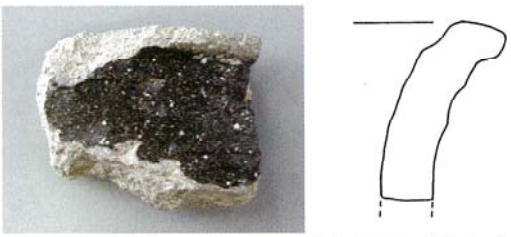
図版7　上の寺遺跡



B区T２II（41mm）



A区T３II（14mm）



B区T２II（42.5mm）

A区T３II（25.5mm）

A区T３II（31mm）

C区T１II（15mm）

A区T2，SD（51mm）

※数値は遺物残存値（中央部）

第３図　上の寺遺跡出土遺物実測図

（２）上野（わの）遺跡（平成16年度登録）

所　在　地　山形県南陽市大字上野字上野

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年12月14日・15日

起因事業　農地環境整備事業（上野地区）

遺跡環境　南陽市街地から北西約1.5kmの台地上に立地する。標高は、234mを測る。地目は、樹園地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ10ヶ所を設定。

試掘方法　重機及び人力で試掘調査を実施。

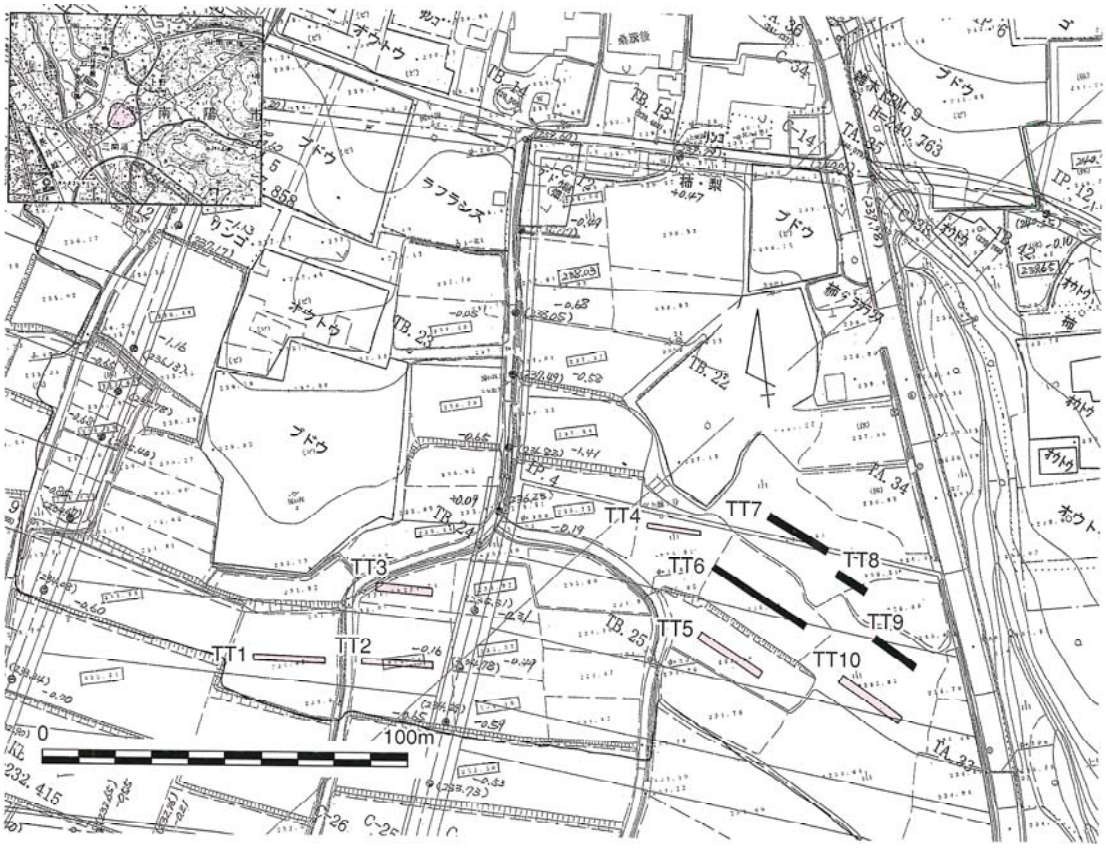
試掘面積　170m²（対象面積約15,000m²）

検出遺構　ＴＴ１～５、ＴＴ10の計６本のトレンチから土坑・柱穴・土色変化を検出。遺構・遺物確認面は、35～40cm。

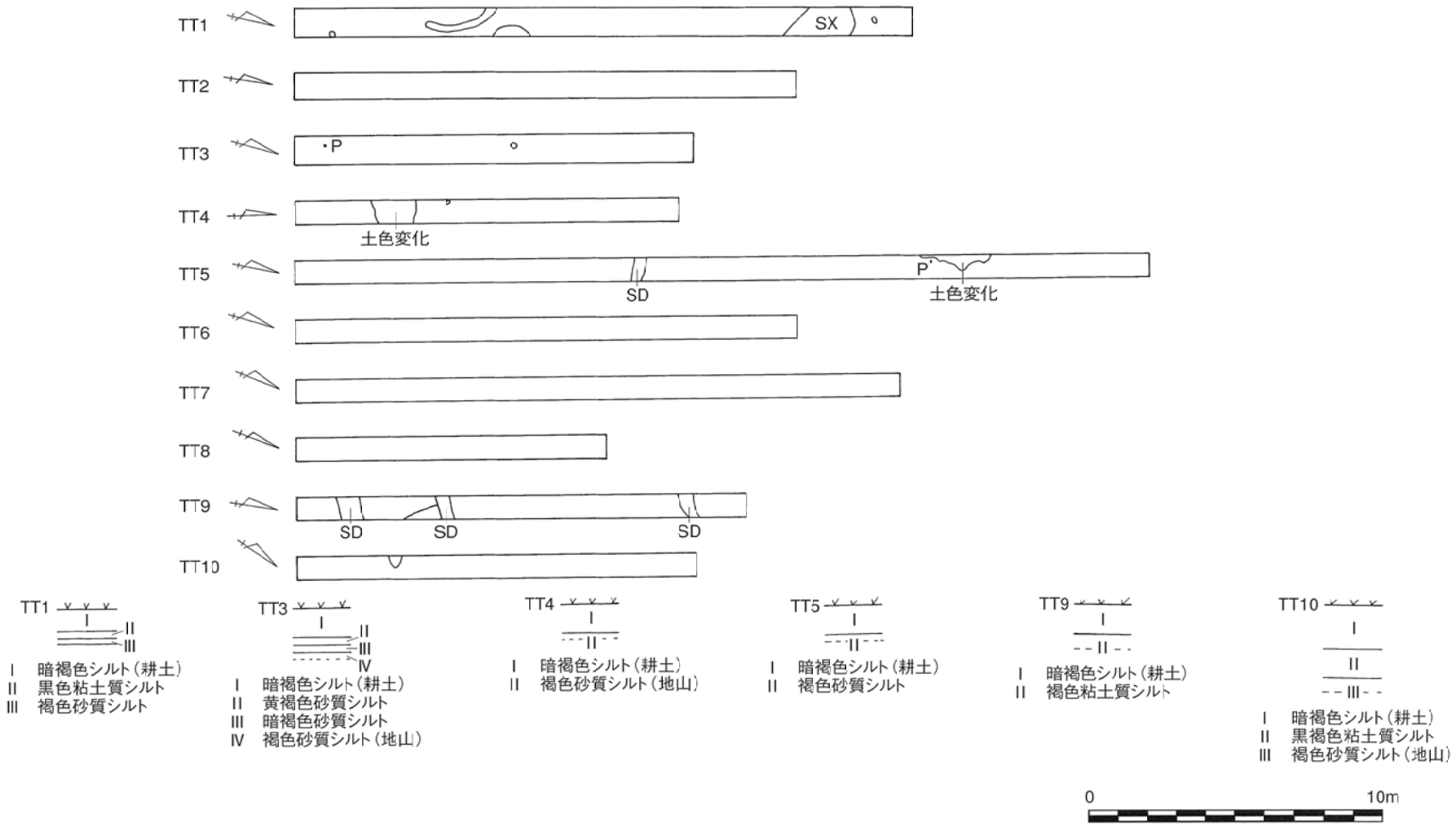
出土遺物　ＴＴ３から白磁片、ＴＴ５から石匙出土。

時　　代　縄文時代・平安・中世

所　　見　設定したトレンチ10本のうち６本から土坑や柱穴・土色変化が検出された。特にＴＴ１～４からは中世の所産と考えられる土坑や柱穴が確認されているが、希薄である。開田の際削平を受けたと考えられる。残る沢の東側を中心とする区域は平成18年度試掘予定。平成18年度山形県埋蔵文化財センター発掘調査実施。



第４図　上野遺跡調査概要図



第５図　上野遺跡調査平面・断面略図

遺跡遠景（北東～）

調査対象区（南東～）

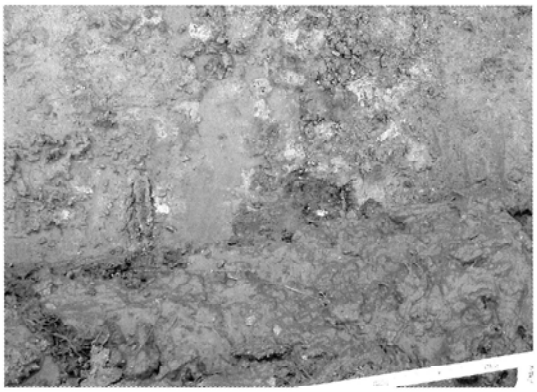
ＴＴ10調査状況

ＴＴ４調査状況

ＴＴ３調査状況

図版８　上野遺跡

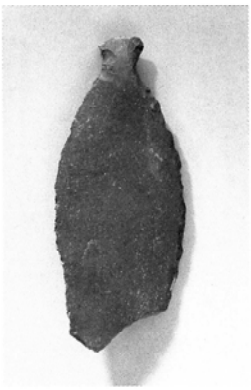
ＴＴ２調査状況



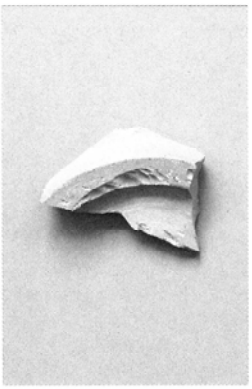
ＴＴ２柱穴検出状況

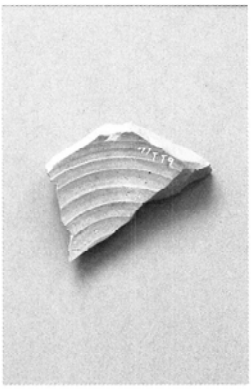
ＴＴ３調査状況

ＴＴ３溝跡検出状況

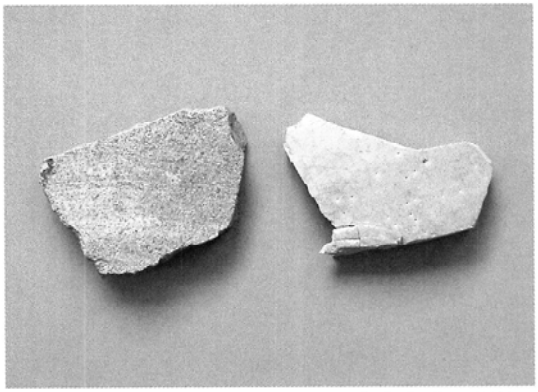


出土石器（石匙）

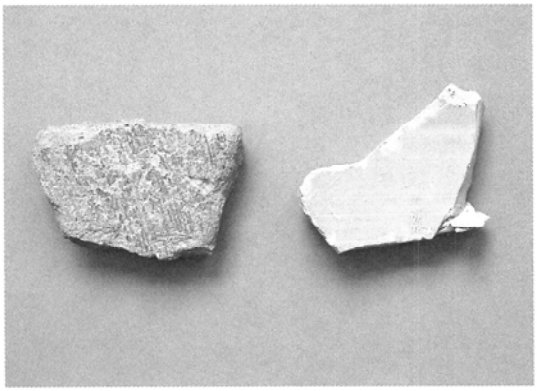




出土陶器（磁器）



出土陶器・磁器



同左裏面

図版９　上野遺跡

（3）北田（きただに）2遺跡（平成17年度登録）

所　在　地　山形県酒田市大字関字北田

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成18年3月8～9日

起因事業　最上川下流沿岸農業水利事業前川第2幹線用水路

遺跡環境　酒田市関地区の北500mに位置する。標高は、10mを測る。地目は、水田である。

試　掘　区　パイプライン埋設予定地内に試掘トレンチ17ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

試掘面積　127m²

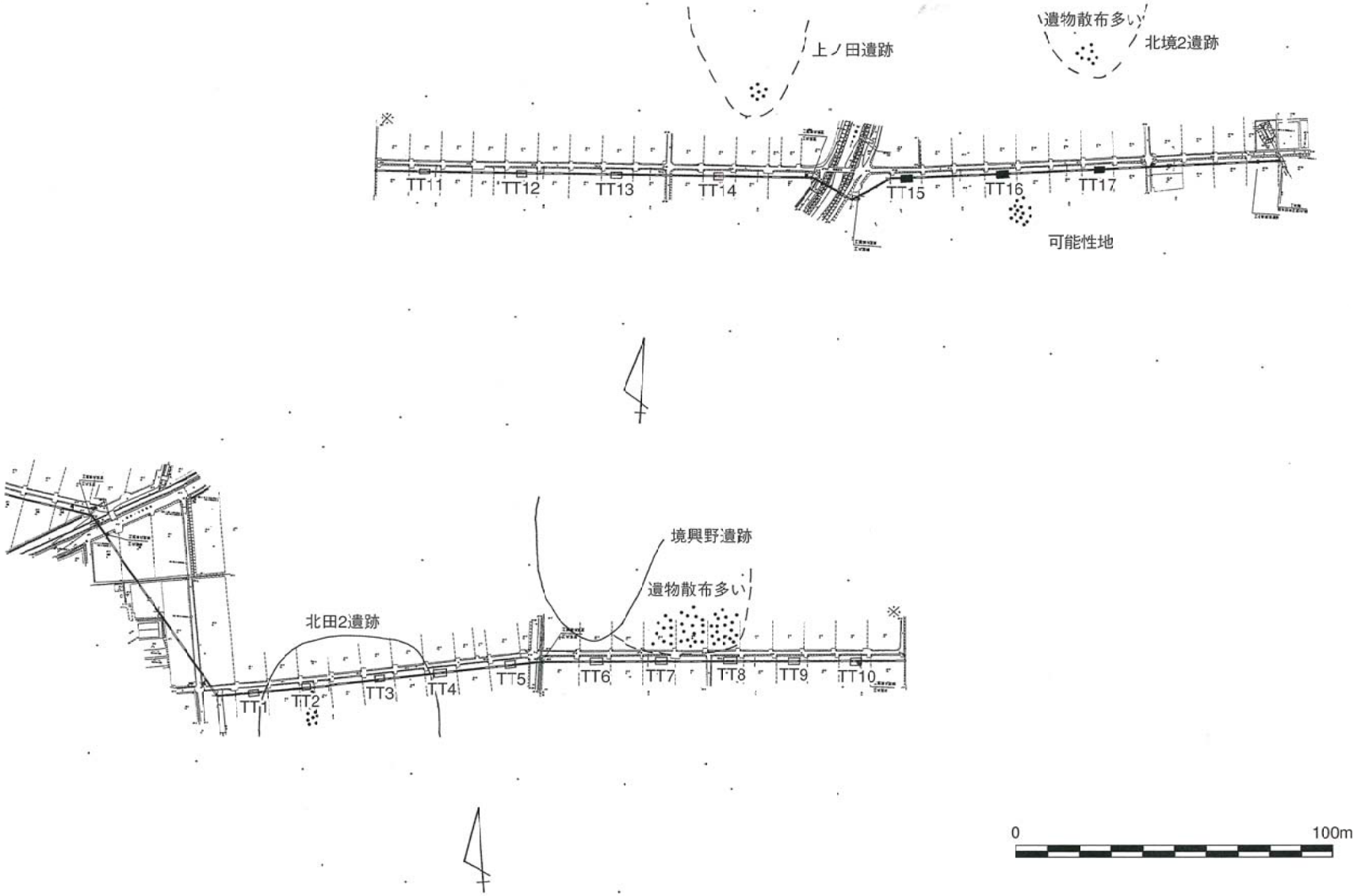
検出遺構　ＴＴ１～ＴＴ14の計14本のトレンチから柱穴・土色変化を検出。遺構・遺物確認面は、－20～50cm。

出土遺物　ＴＴ１～ＴＴ14から須恵器片・土師器片出土。

時　　代　平安時代

所　　見　パイプライン埋設予定地内に設定したトレンチ17本のうち、14本から須恵器片や土師器片が出土した。また、ＴＴ２～ＴＴ３からは柱穴、土色変化が検出された。ＴＴ２及びＴＴ３を中心とする範囲について、新規の埋蔵文化財包蔵地とする。遺跡名は周知の北田遺跡に近接することから、北田２遺跡と呼称する。なお、本事業予定地周辺の水田中からは、広い範囲で遺物が散布するのが確認された。今後の開発の際には、詳細な分布調査が必要である。

第６図　北田２遺跡調査概要図



第７図　北田２遺跡トレンチ配置図

遺跡近景（西〜）

調査風景

遺物出土状況

調査風景

調査風景

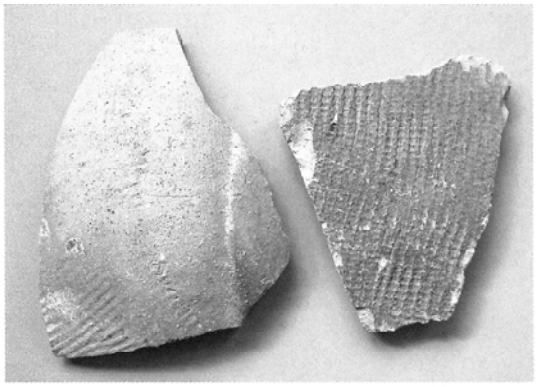
図版10　北田２遺跡

作業風景

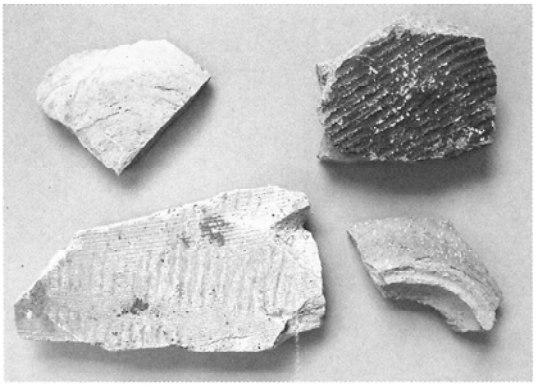
遺構検出状況

作業風景

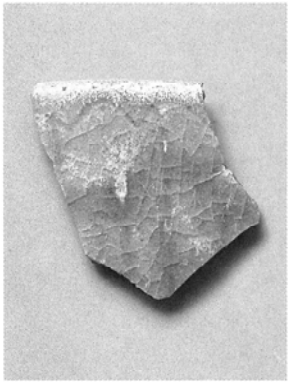
記録作業状況

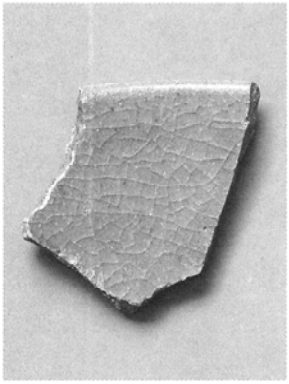


出土・採集遺物（須恵器）



出土・採集遺物（須恵器）





出土・採集遺物（青磁椀）

墨書土器（須恵器坏）

図版11　北田２遺跡

（４）中野的場遺跡（平成17年度登録）

所　在　地　山形県山形市大字中野字的場

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年10月６～７日

起因事業　須川河川改修事業

遺跡環境　横断道酒田線須川橋の南約200m、須川右岸の河岸段丘上に立地する。標高は、96mを測る。地目は、畑地及び荒蕪地である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ３ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

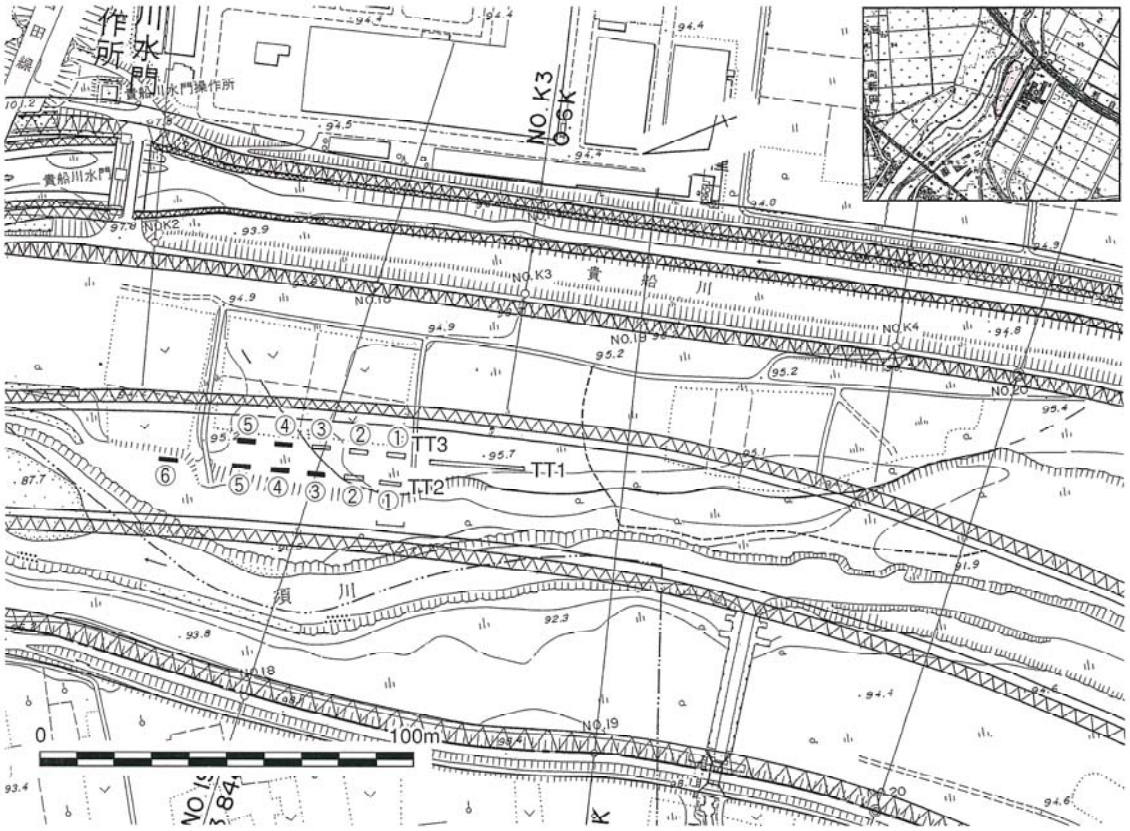
試掘面積　210㎡

検出遺構　ＴＴ１・ＴＴ２－１・２及びＴＴ３－１～３の各トレンチから竪穴住居跡や土坑・柱穴を検出。遺構・遺物確認面は、－70～120cm。

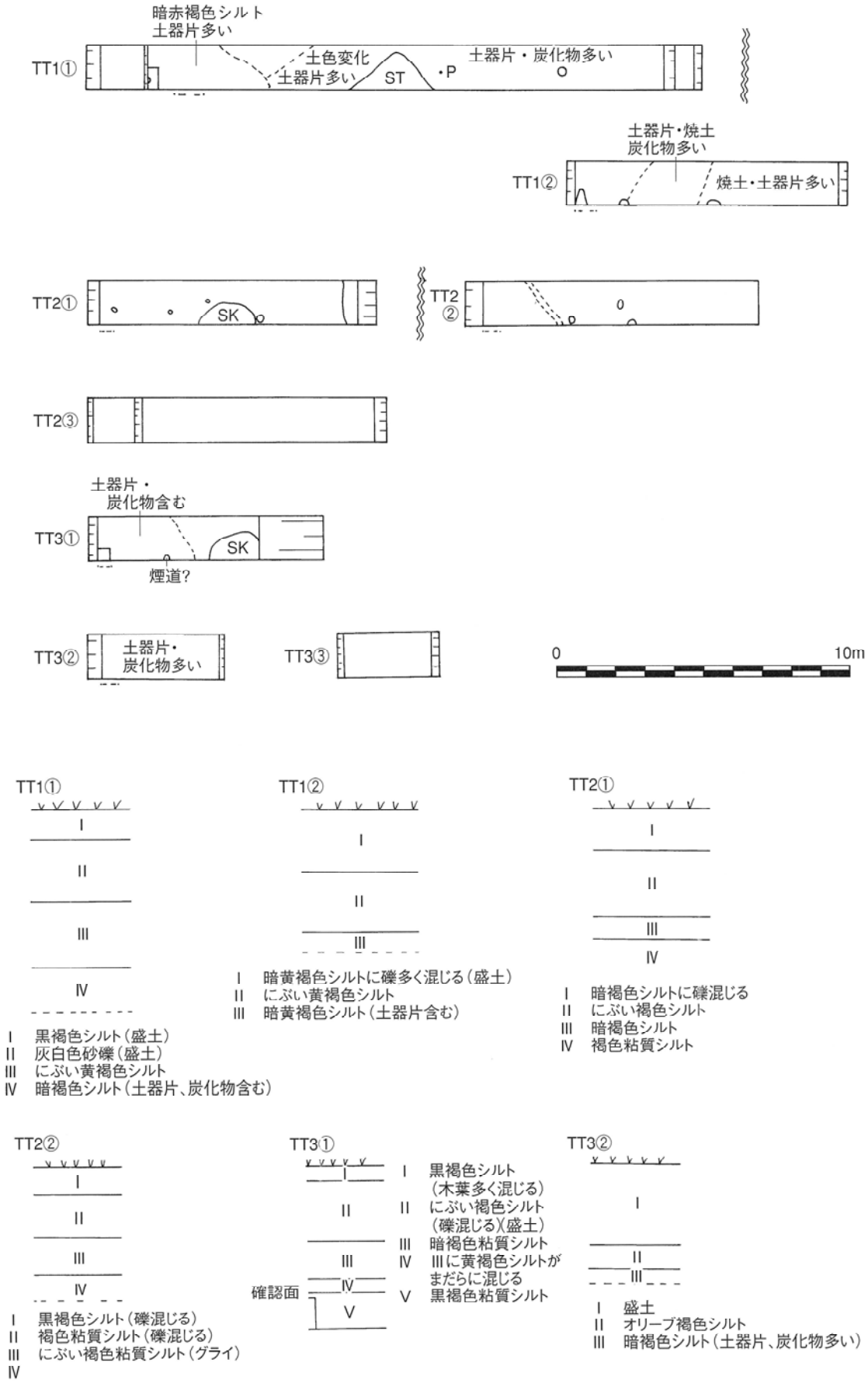
出土遺物　ＴＴ１・ＴＴ２－１・２及びＴＴ３－１～３から須恵器・土師器出土。

時　　代　平安時代

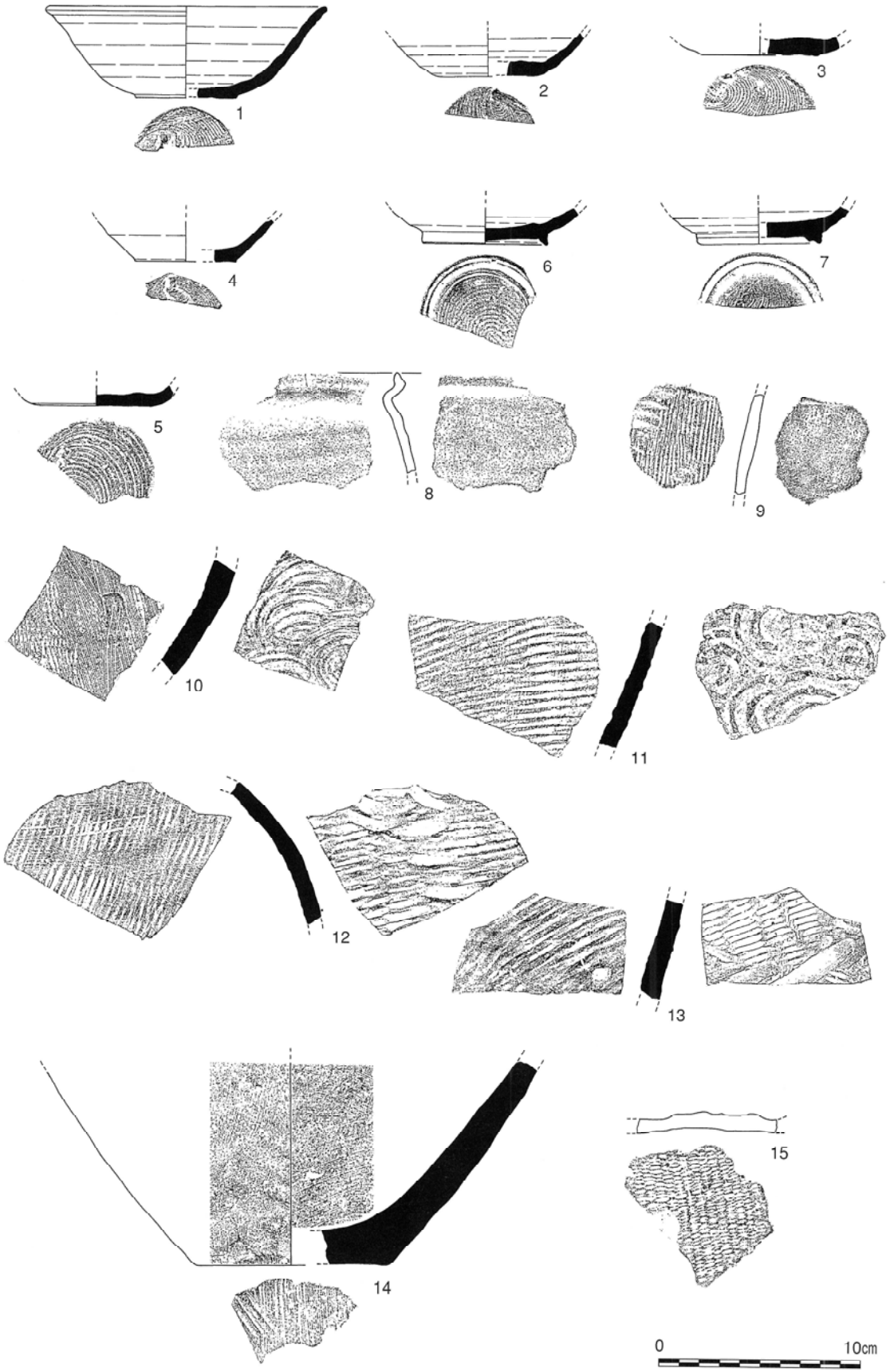
所　　見　掘削予定地内のうち試掘可能範囲内に設定した３ヶ所の試掘トレンチから竪穴住居跡や柱穴、土坑及び土色変化が検出された。特にＴＴ１からは竪穴住居跡が重なり合っているのが確認された。また、各試掘トレンチからは、須恵器・土師器が多く出土した。なお、今回未実施の南側部分については、再度試掘調査が必要である。



第８図　中野的場遺跡調査概要図



第9図　中野的場遺跡調査平面・断面略図



第10図　中野的場遺跡出土遺物実測図

試掘調査状況（南～）

ＴＴ１試掘トレンチ（北～）

図版12　中野的場遺跡

ＴＴ２全景（南～）

ＴＴ１全景（南～）

ＴＴ２全景（北～）

ＴＴ１土層断面

ＴＴ２内検出土壙

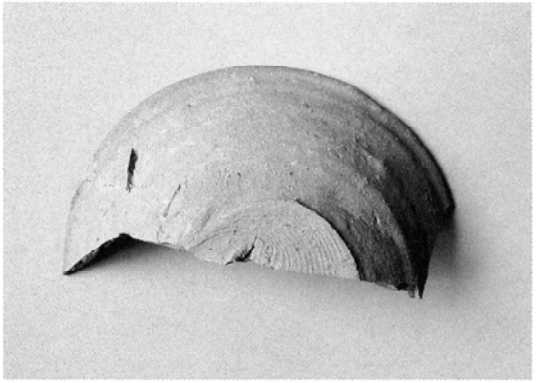
図版13　中野的場遺跡

ＴＴ１遺物出土状況

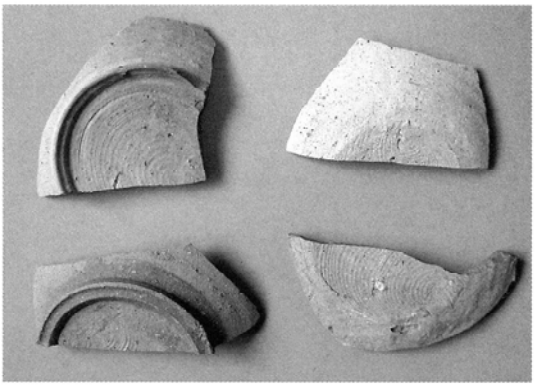
ＴＴ２－１土層断面

ＴＴ２－５近景（南～）

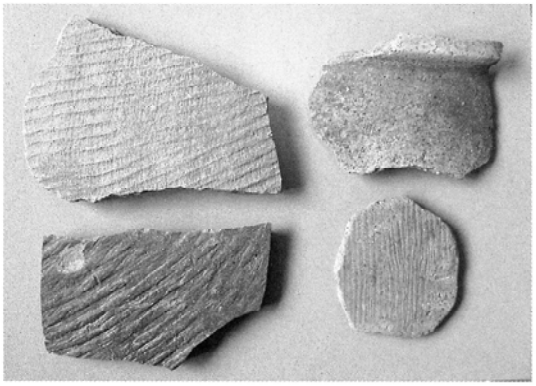
ＴＴ３－６近景（南～）



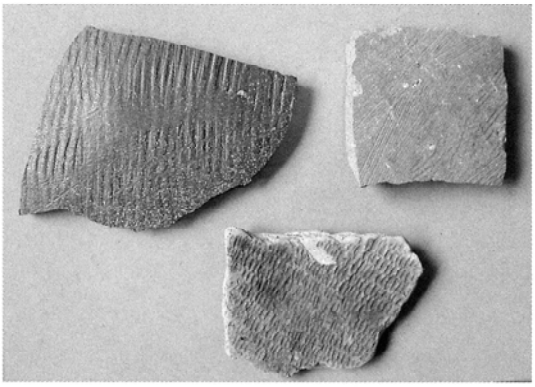
須恵器坏



須恵器坏底部



須恵器・赤焼土器・土師器



須恵器・土師器甕底部

図版14　中野的場遺跡

（5）下叶水（しもかのみず）遺跡

所　在　地　山形県西置賜郡小国町下叶水

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　平成17年９月14日・15日（延２日間）

起因事業　荒川横川ダム建設事業

遺跡環境　飯豊山系から北東方向に流れ出る横川右岸の河岸段丘上に位置し、標高は263ｍ内外、地目は旧宅地や水田、畑地などである。

調　査　区　遺跡の範囲や内容把握を目的として、現況地形などを考慮しながら施工予定範囲内に13本の試掘トレンチを設定した。

調査方法　重機を用いて旧宅地や水田などを対象として試掘トレンチ（ＴＴ１～ＴＴ９）を設定し、人力で面整理・面精査を行って、遺構・遺物の分布状況を把握した。

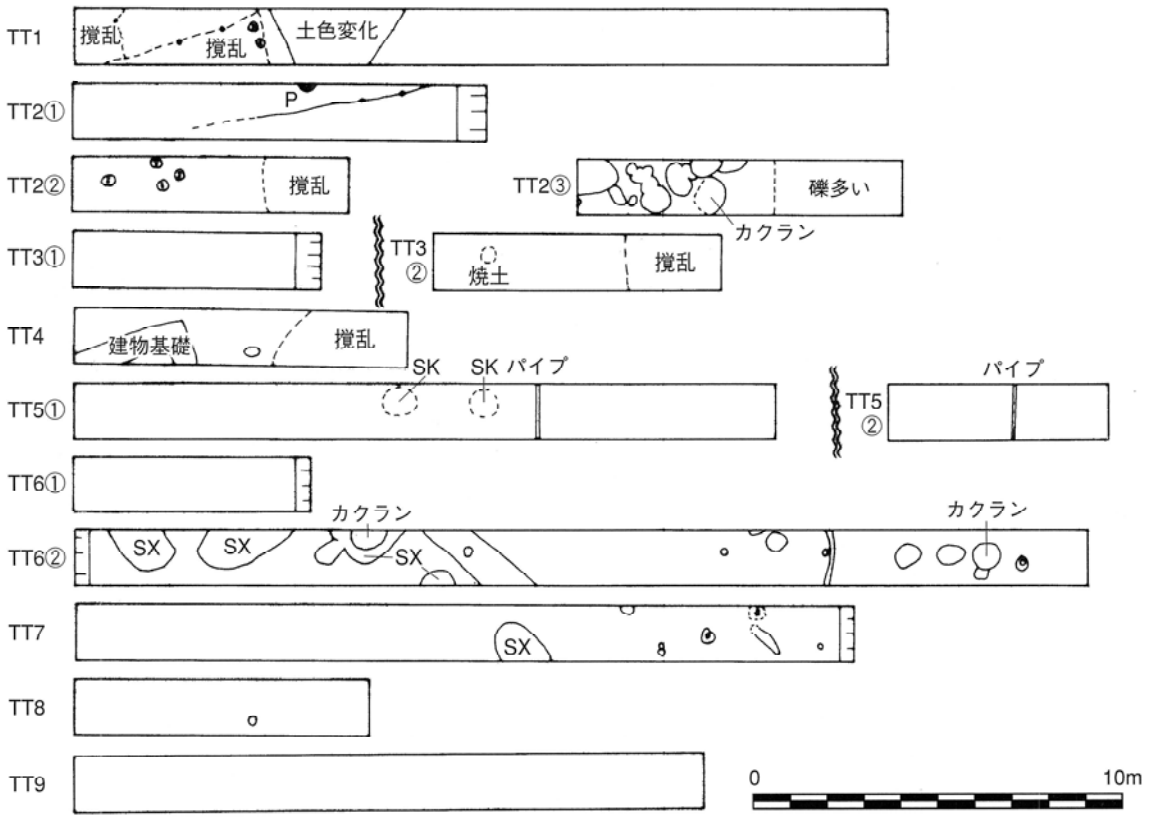
調査面積　２×160ｍ、計320㎡。

検出遺構　土坑、柱穴、遺物包含層など。

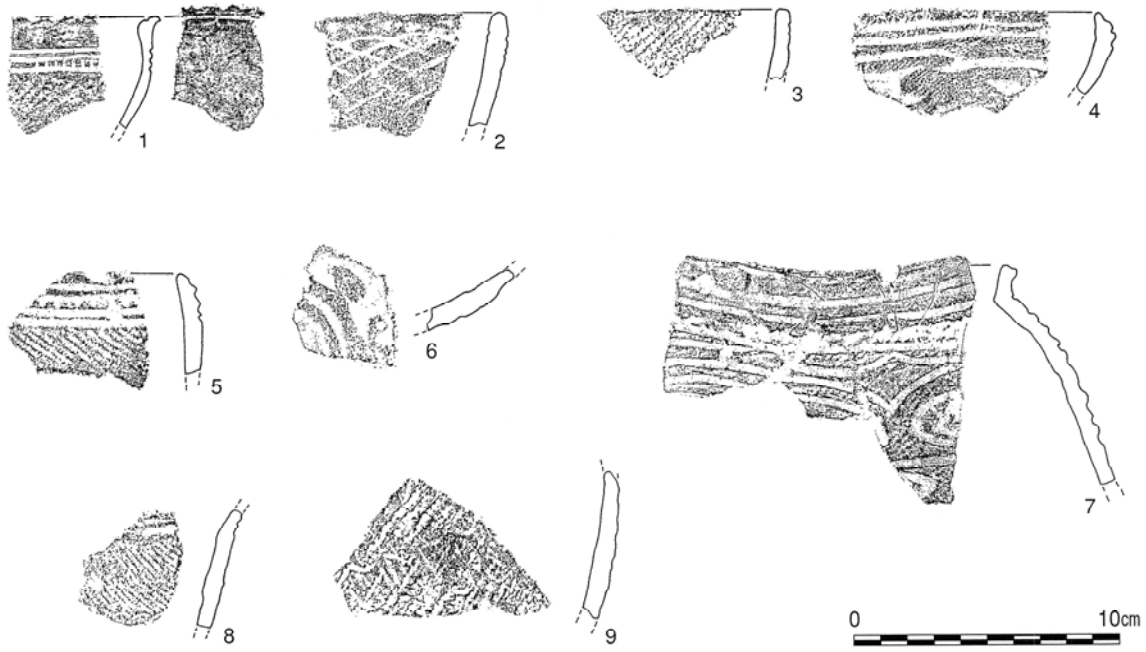
出土遺物　縄文土器（縄文後・晩期）、石器、石核、剥片、礫器、陶器・磁器（中近世）

所　　見　遺跡は南東から北西方向に延びる河岸段丘の縁辺を占地し、南北方向で約300ｍ強、南北方向で約80ｍの拡がりと捉えられる。時期は縄文後晩期が主体で、当該期の土器や石器がまとまって認められた。また、主として下流部側の水田や畑地では中近世の集落に係わると考えられる建物跡などの遺構も検出された。

第11図　下叶水遺跡調査概要図



第12図　下叶水遺跡調査平面・断面略図



第13図　下叶水遺跡出土遺物実測図

遺跡全景（南から）

遺跡近景（東から）

図版15　下叶水遺跡

試掘状況（東から）

試掘トレンチ（東から）

検出遺構（柱穴）

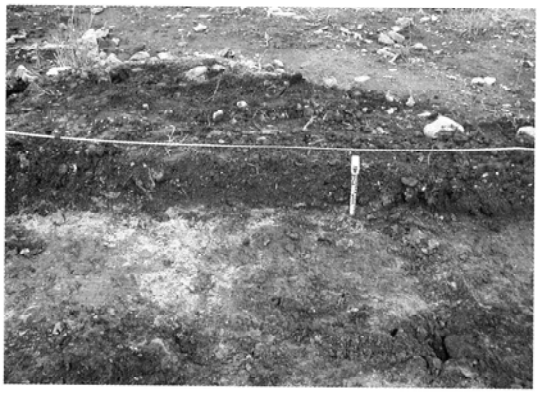
試掘状況（中世地区）

同左試掘状況（西から）

図版16　下叶水遺跡

中世区検出遺構（土坑）

中世区検出遺構（柱穴）



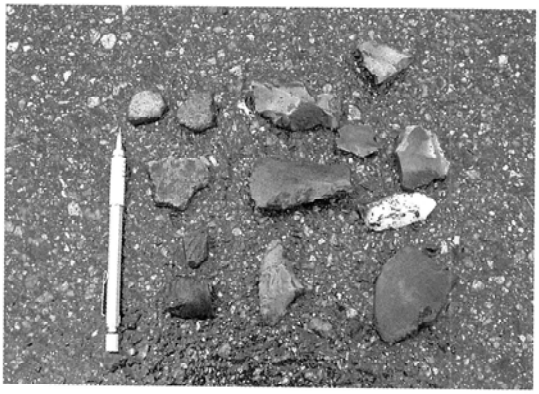
土層断面

土層断面

試掘トレンチ

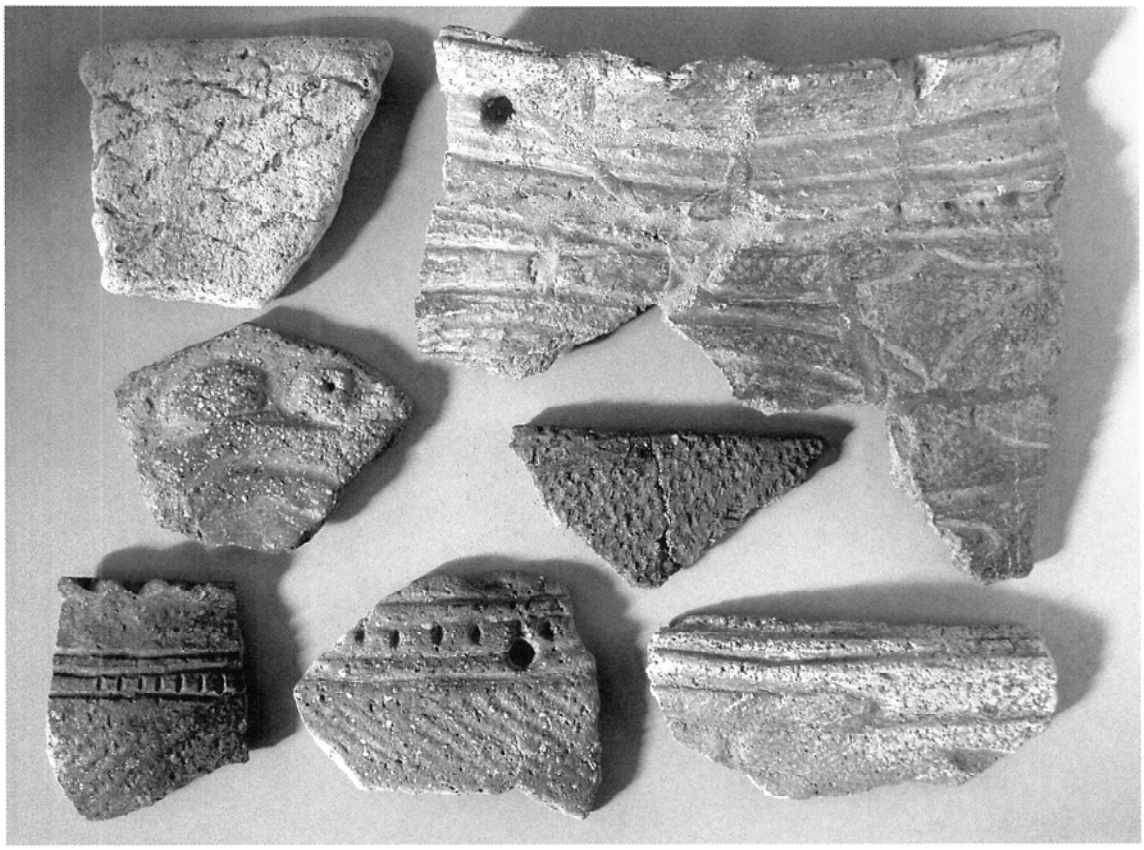
試掘トレンチ

試掘トレンチ

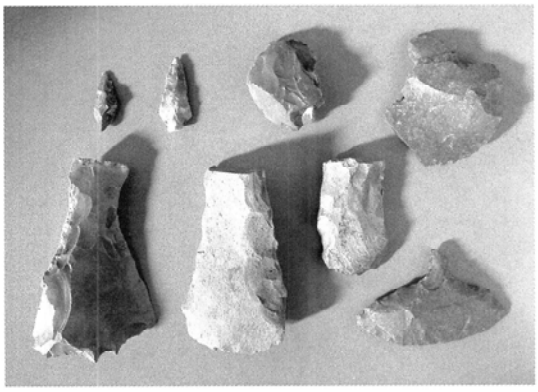


採集遺物（石器類）

図版17　下叶水遺跡

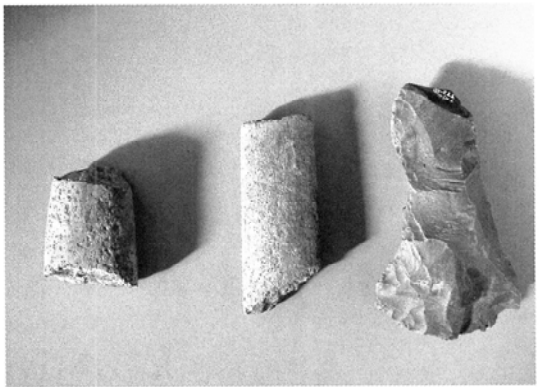


出土縄文土器



出土石器

出土石器



出土石器

出土陶器

図版18　下叶水遺跡

（６）加藤屋敷遺跡（平成17年度登録）

所　在　地　山形県南陽市大字川樋字加藤屋敷、他

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年９月20～22日

起因事業　一般国道13号上山バイパス改築事業

遺跡環境　赤湯の市街地北西約６㎞、射撃場東の小扇状地扇央部に立地する。標高は、285mを測る。地目は、畑地・水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ７ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

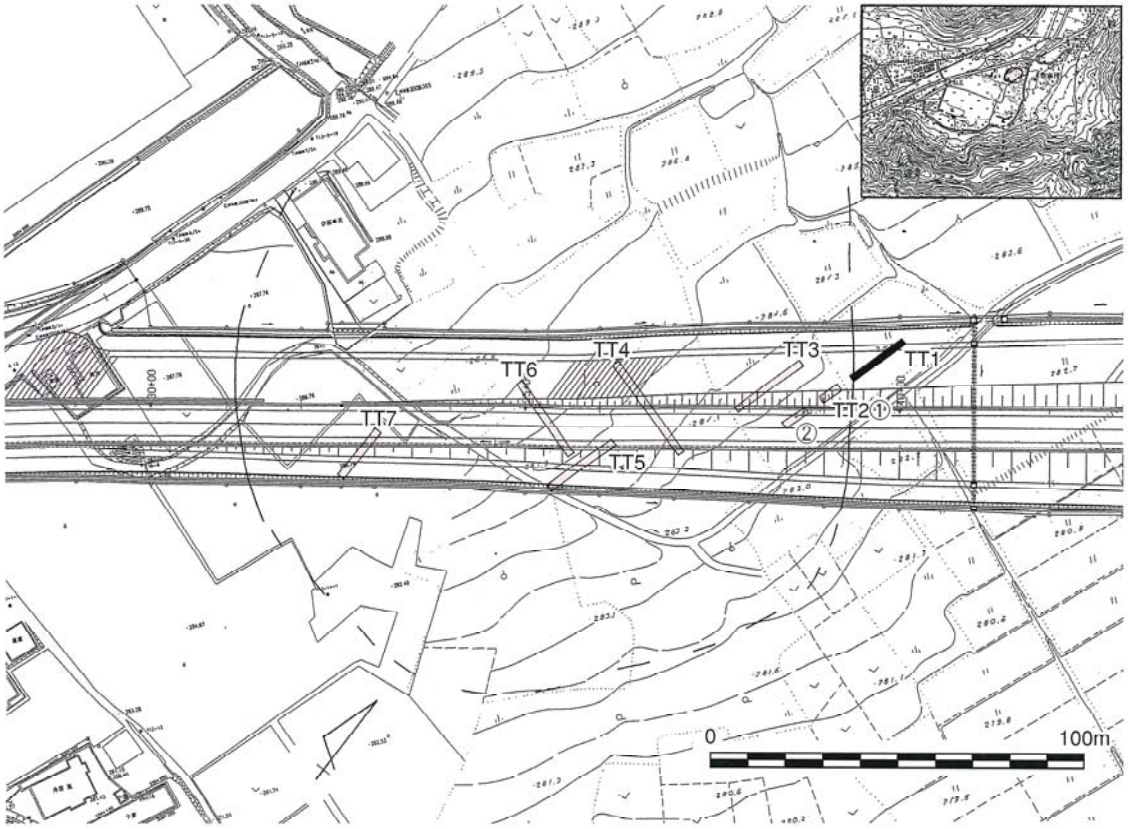
試掘面積　216m²

検出遺構　ＴＴ２～ＴＴ７の計６本のトレンチから溝跡や柱穴を検出。遺構・遺物確認面は、－５～70cm。

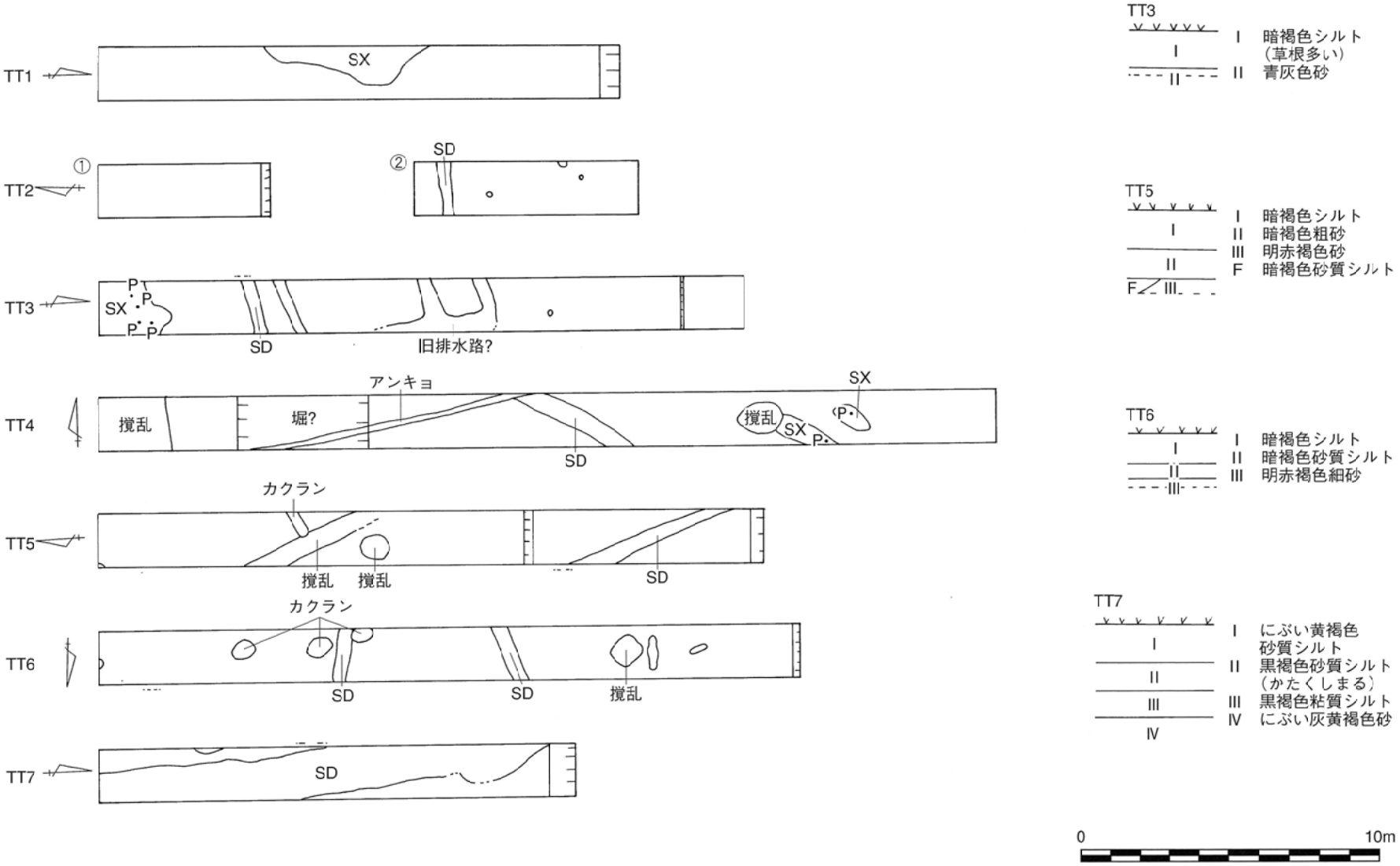
出土遺物　ＴＴ２～ＴＴ７から須恵器・土師器出土。

時　　代　平安時代

所　　見　設定した試掘トレンチ７本のうち６本から溝跡や柱穴、堀跡及び土色変化が検出された。ＴＴ４付近では表土が土取りのため剥ぎ取られており、まとまった遺物の散布が確認された。遺構・遺物の集中地点はＴＴ２～４付近と考えられる。平成18年度山形県埋蔵文化財センター発掘調査実施。



第14図　加藤屋敷遺跡調査概要図



第15図　加藤屋敷遺跡調査平面・断面略図

遺跡遠景（北西～）

ＴＴ７トレンチ全景（北～）

図版19　加藤屋敷遺跡

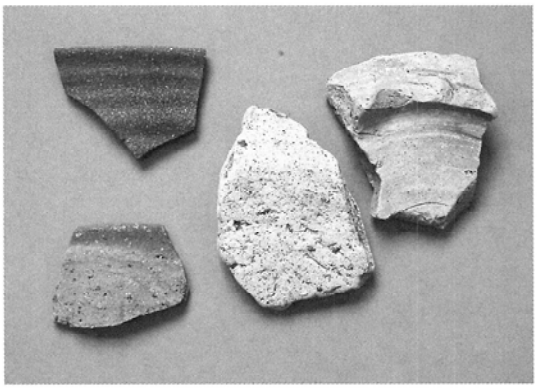
ＴＴ７トレンチ全景

ＴＴ１トレンチ全景

ＴＴ７トレンチ土層断面

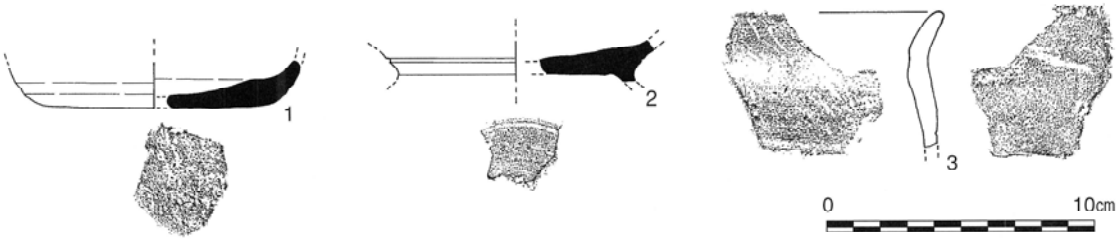
遺物検出状況

遺物出土状況



出土遺物（須恵器）

図版20　加藤屋敷遺跡



第16図　加藤屋敷遺跡出土遺物実測図

（７）檜原遺跡（平成８年度登録）

所　在　地　山形県南陽市大字西落合字檜原

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年４月14～15日・６月21～22日

起因事業　一般国道113号赤湯バイパス改築事業

遺跡環境　宮内の市街地南西約２㎞、上無川の自然堤防上に立地する。標高は、222ｍを測る。地目は、樹園地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ16ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

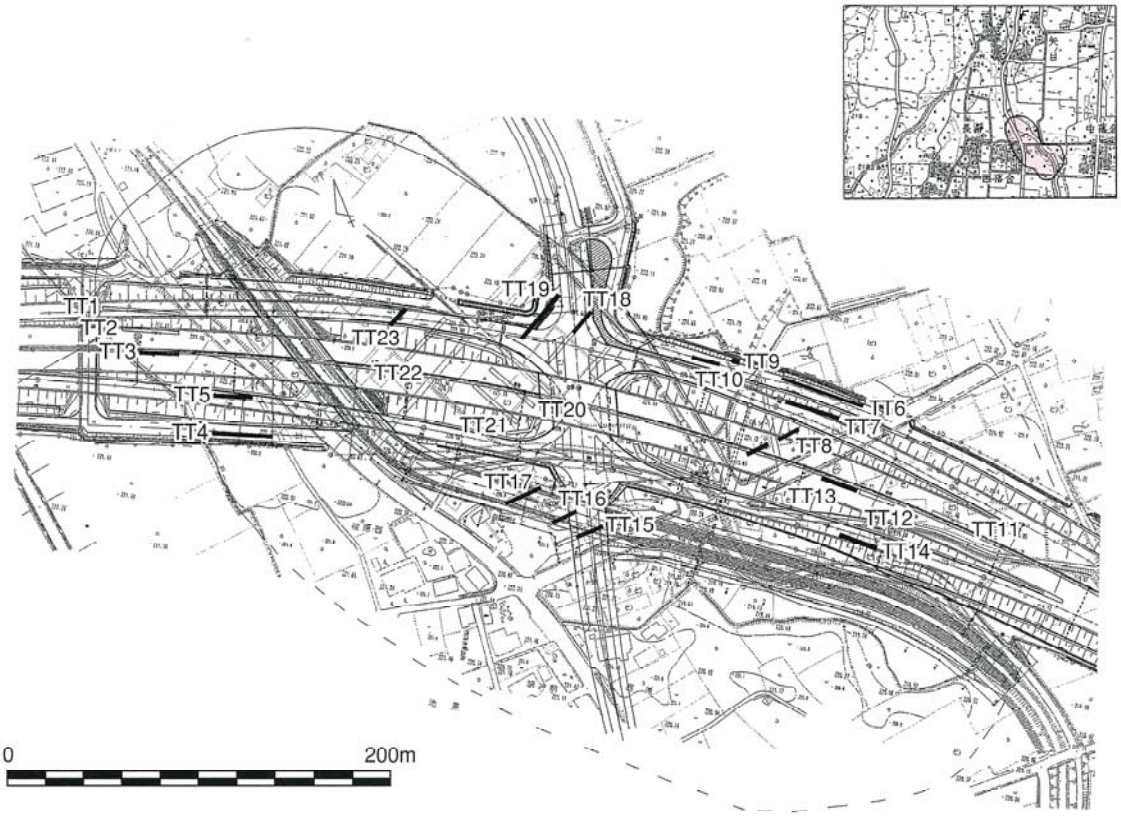
試掘面積　581㎡

検出遺構　ＴＴ１・２・３Ｂ・４の計４本のトレンチから竪穴状遺構や溝・柱穴を検出。遺構・遺物確認面は、15～40㎝。

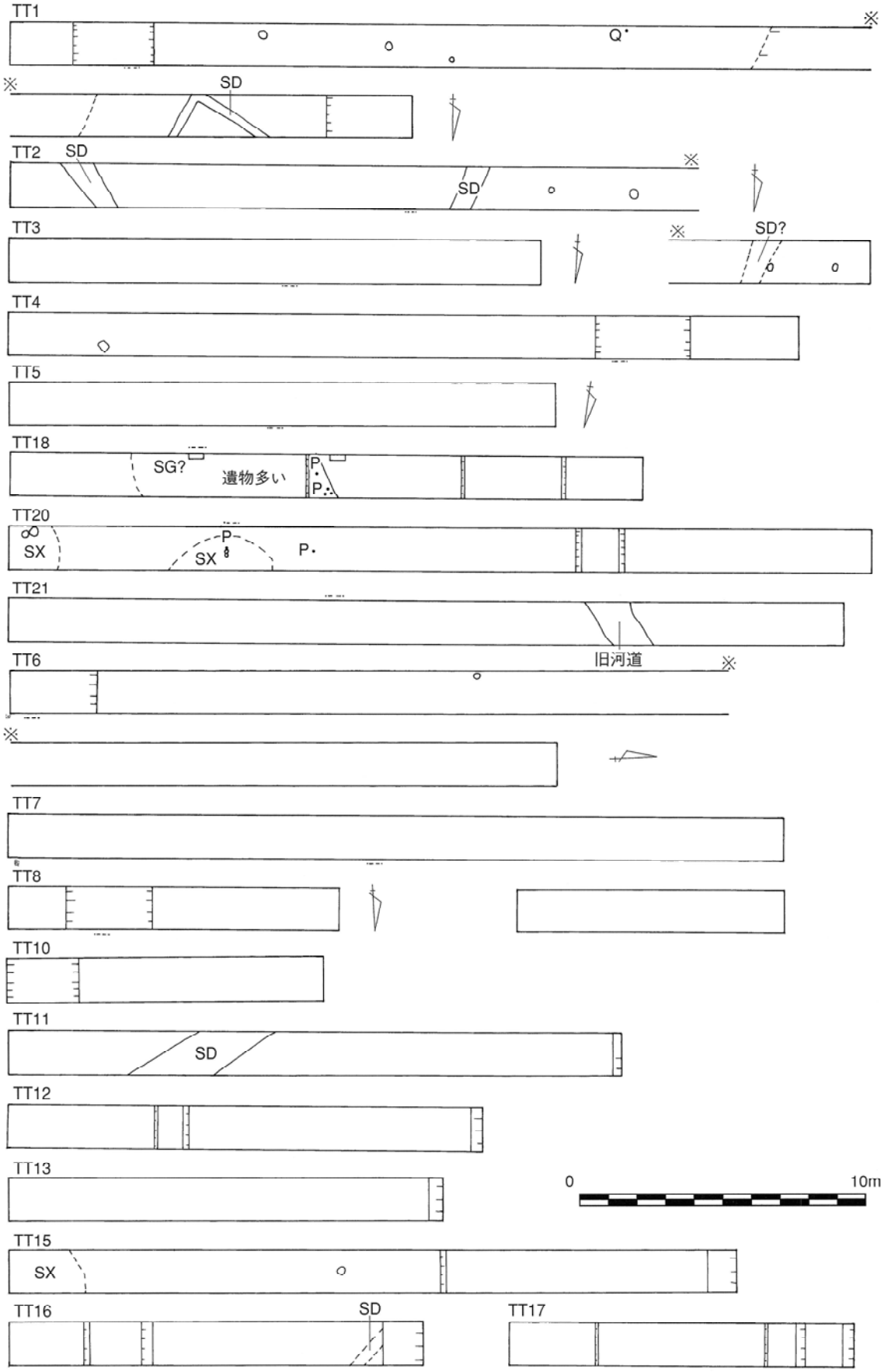
出土遺物　ＴＴ１・２から須恵器・土師器出土、ＴＴ４から縄文土器片出土。

時　　代　縄文時代・平安時代

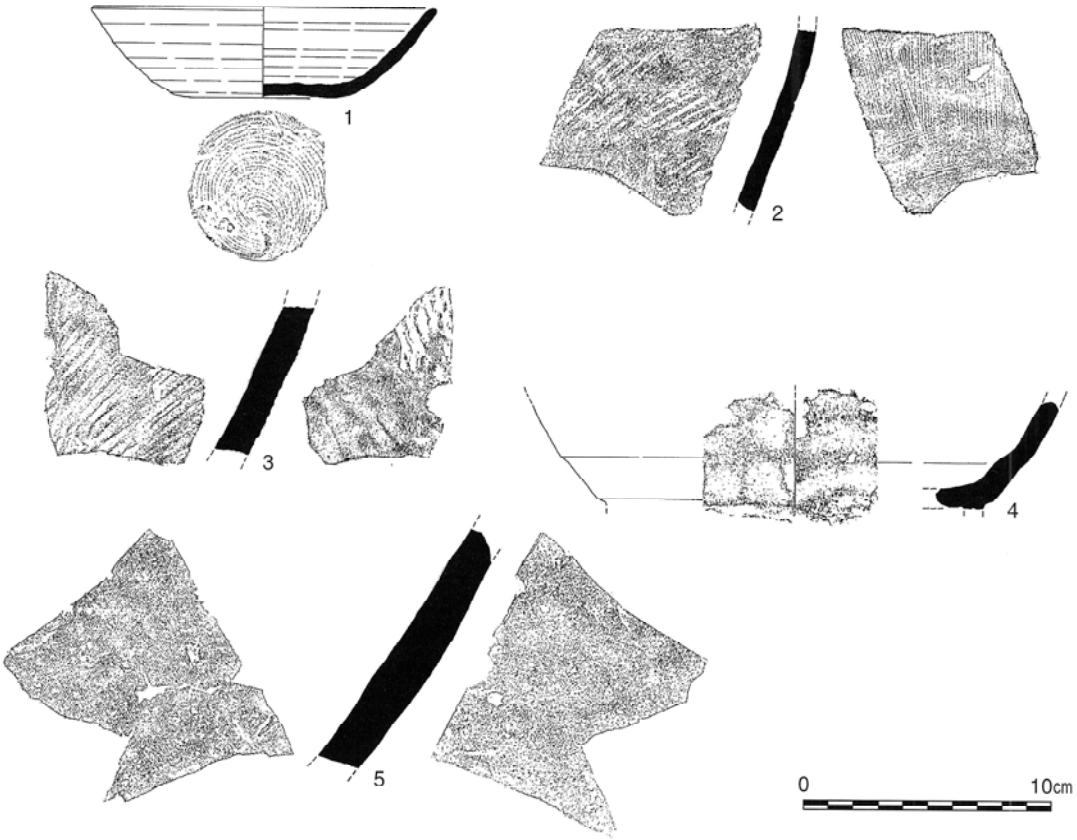
所　　見　トレンチ16本のうち５本から溝跡や柱穴、河川跡及び土色変化が検出された。ＴＴ１・２から土器片・砥石とともに直角に曲がる溝跡や柱穴が、ＴＴ11・ＴＴ13～15からは土色変化が確認され土器片が出土した。平成18年度山形県埋蔵文化財センター発掘調査実施。



第17図　檜原遺跡調査概要図



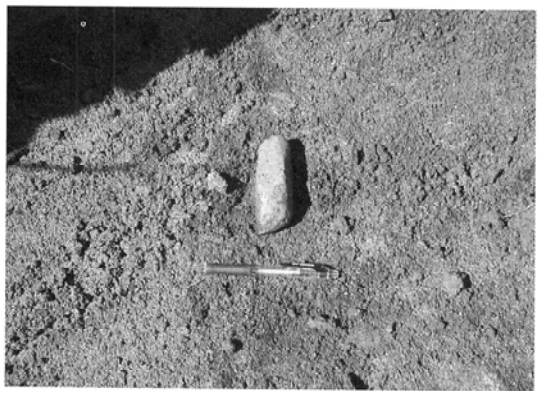
第18図　檜原遺跡調査平面図



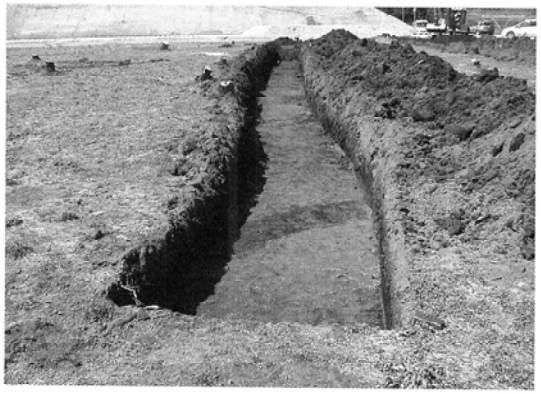
第19図　檜原遺跡出土遺物実測図

ＴＴ１全景（東南～）

ＴＴ１土層断面

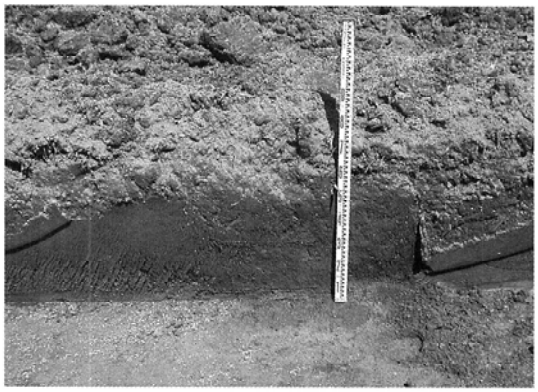


ＴＴ１砥石出土状況



ＴＴ２全景（東南～）

図版21　檜原遺跡



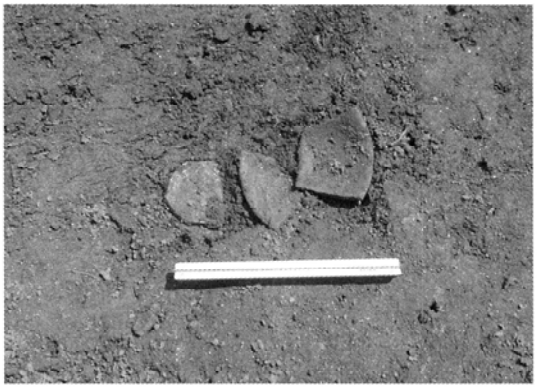
ＴＴ２土層断面

檜原遺跡全景（北西～）

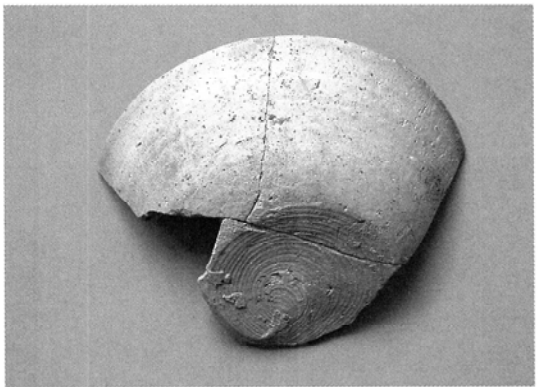
ＴＴ６全景

工場裏ＴＴ３トレンチ

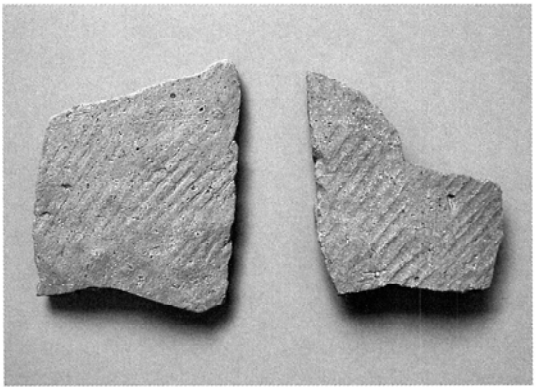
工場裏ＴＴ２全景



工場裏ＴＴ３遺物出土状況



出土須恵器坏



出土須恵器甕

図版22　檜原遺跡

（８）天王（てんのう）遺跡（平成８年度登録）

所　在　地　山形県南陽市大字漆山字天王、字塚原二

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年11月24～25日

起因事業　一般国道113号赤湯バイパス改築事業

遺跡環境　南陽市砂塚地区の北東300mの自然堤防上に立地する。標高は、222mを測る。地目は、樹園地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ10ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

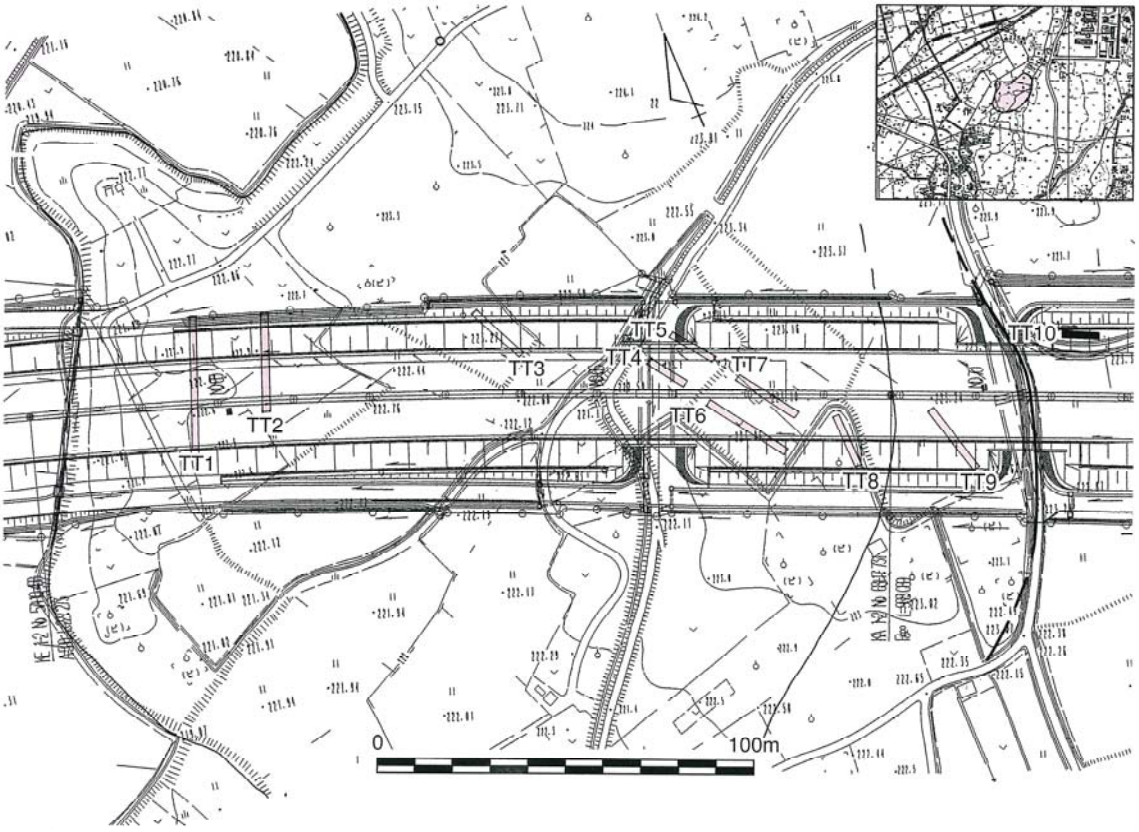
試掘面積　291m²

検出遺構　ＴＴ１～ＴＴ９の計９本のトレンチから溝跡・柱穴・土色変化を検出。遺構・遺物確認面は、－25～60cm。

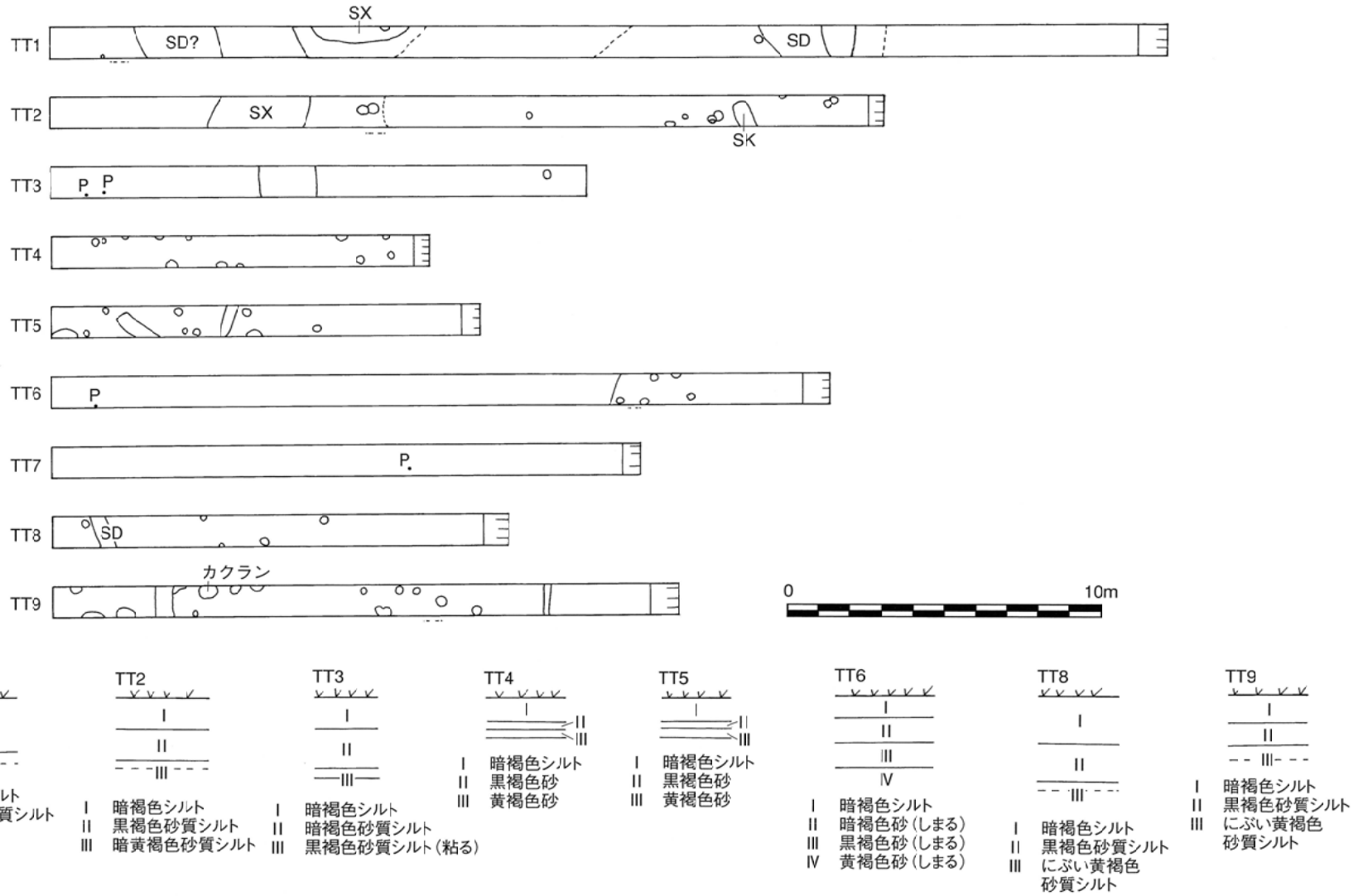
出土遺物　ＴＴ１～ＴＴ９から須恵器・土師器、中世陶器出土。

時　　代　平安時代・中世

所　　見　トレンチ10本のうち９本から溝跡や柱穴、土色変化が検出された。ＴＴ１・２からはやや幅の広い溝跡や柱穴が検出され、須恵器・土師器が出土した。ＴＴ４～９からは溝跡や柱穴が検出され、中世陶器片が出土した。平成18年度山形県埋蔵文化財センター発掘調査実施。



第20図　天王遺跡調査概要図



第21図　天王遺跡調査平面・断面略図

遺跡近景（東南～）

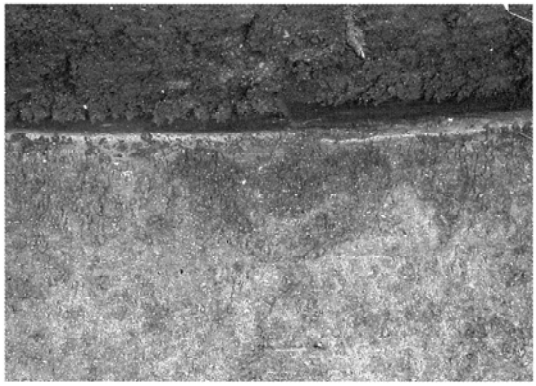
ＴＴ１検出遺構

ＴＴ２検出遺構

ＴＴ２検出土壙

ＴＴ４柱穴と根石

図版23　天王遺跡



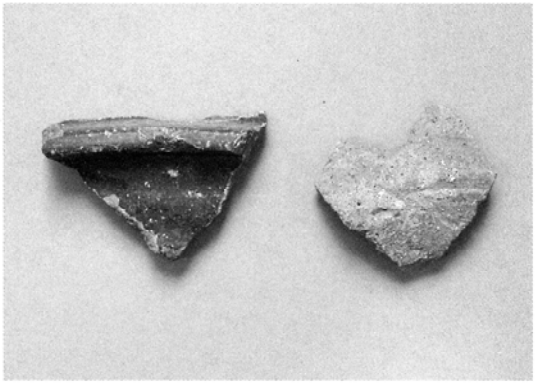
検出遺構（柱穴）

検出遺構（土壙）

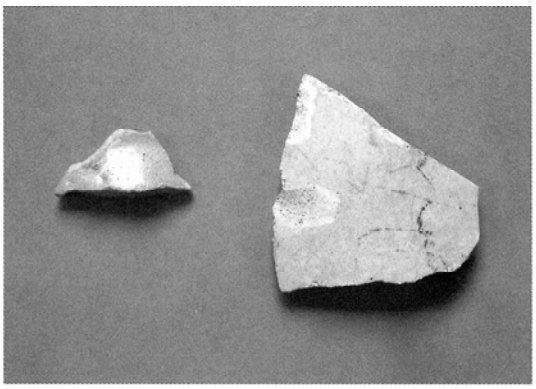
検出遺構（柱穴・溝跡）

出土遺物（中世陶器）

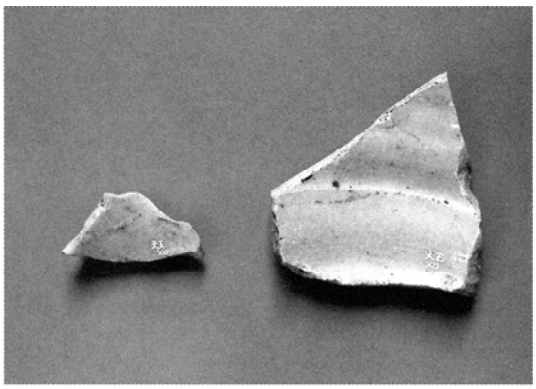
出土遺物（石器）



出土遺物（陶器・須恵器）



出土遺物（青磁・白磁）



出土遺物（同左裏面）

図版24　天王遺跡

（９）上大作裏（かみおおざくうら）遺跡（平成８年度登録）

所　在　地　山形県南陽市大字砂塚字上大作裏

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年11月24～25日

起因事業　一般国道113号赤湯バイパス改築事業

遺跡環境　南陽市砂塚地区の北300mの自然堤防上に立地する。標高は、220mを測る。地目は、樹園地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ３ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

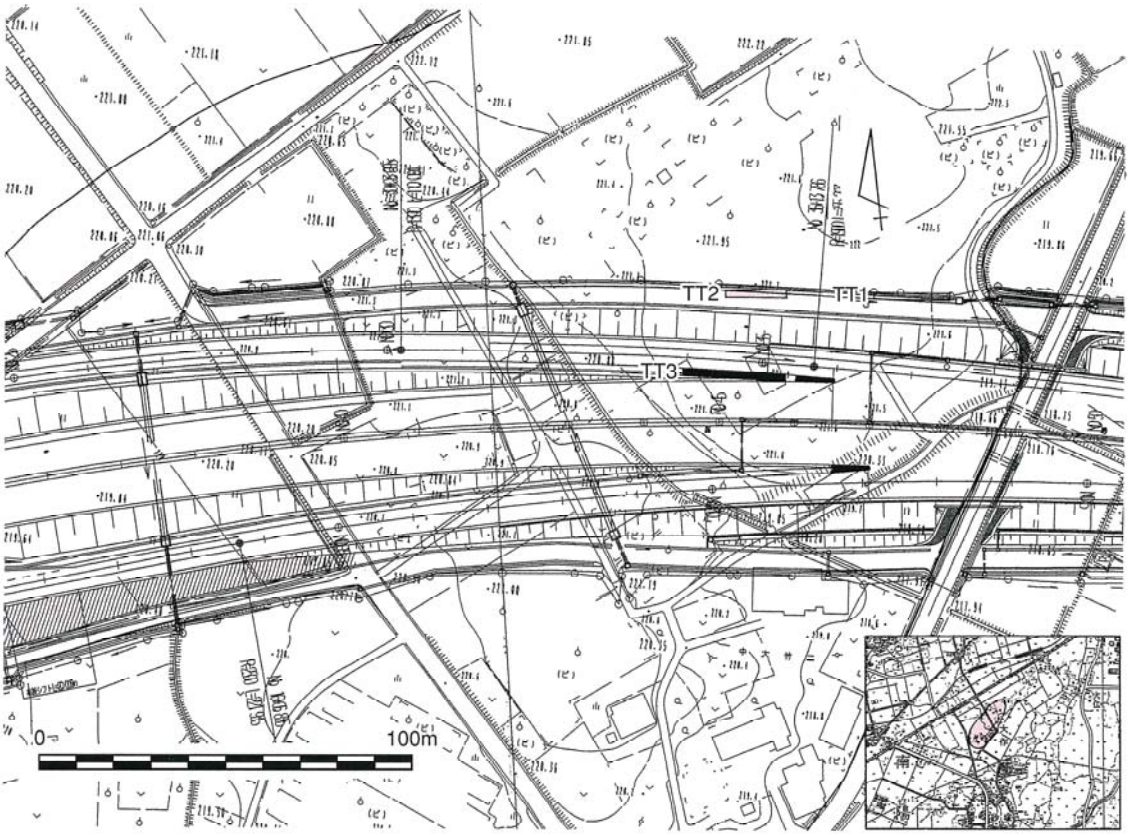
試掘面積　93㎡

検出遺構　ＴＴ１～ＴＴ２の計２本のトレンチから柱穴を検出。遺構・遺物確認面は、－60～80cm。

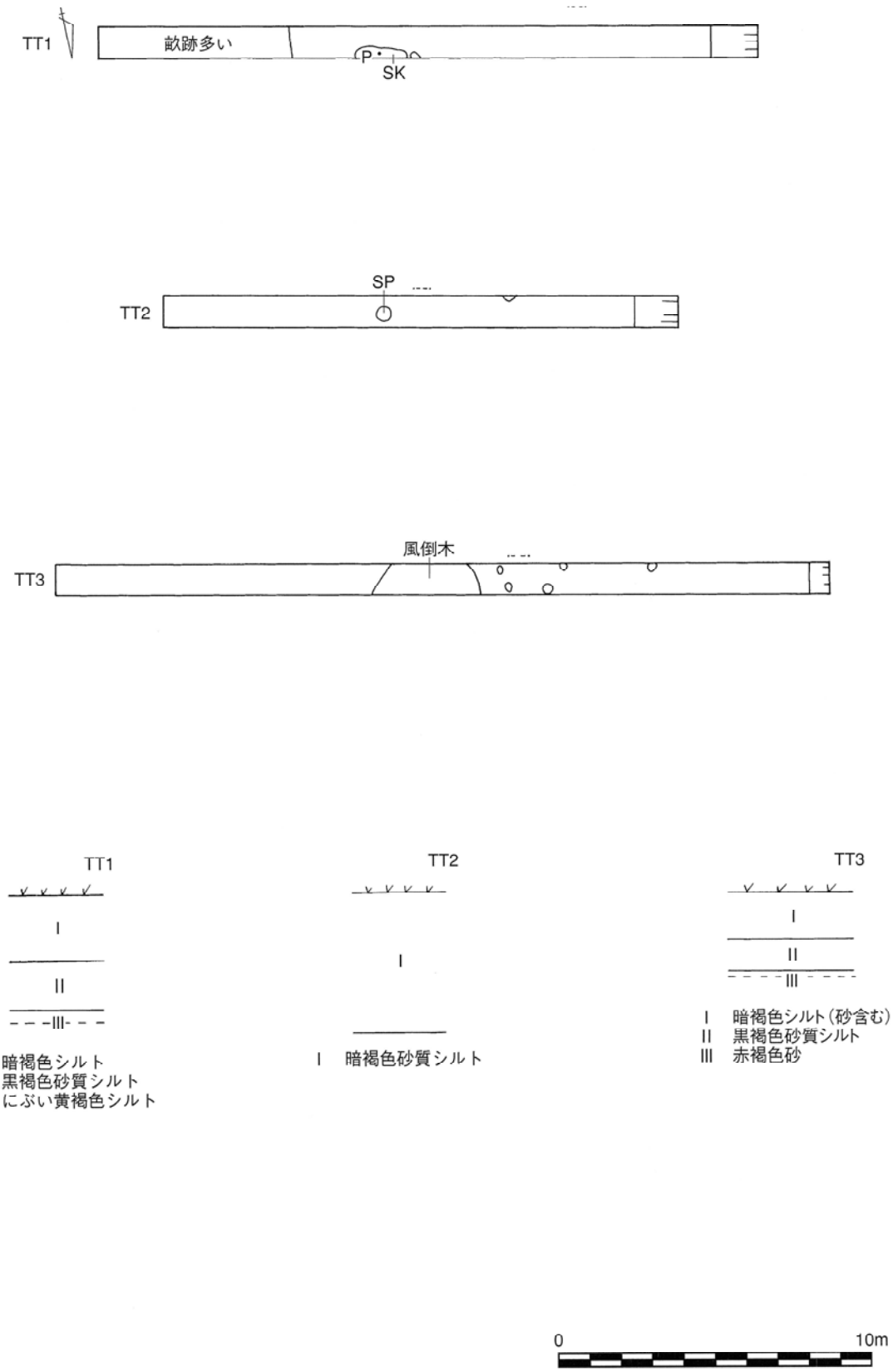
出土遺物　ＴＴ１～ＴＴ９から須恵器・土師器、中世陶器出土。

時　　代　縄文時代・平安時代

所　　見　試掘可能範囲内に設定したトレンチ３本のうち、２本から柱穴・陥穴と考えられる土坑が検出された。特に、ＴＴ１からは陥穴と考えられる土坑や柱穴が検出され、北側に隣接する畑からは須恵器片・土師器片が容易に採取できる。残る遺跡範囲について、試掘調査が必要である。平成18年度山形県埋蔵文化財センター発掘調査実施。



第22図　上大作裏遺跡調査概要図



第23図　上大作裏遺跡調査平面・断面略図

遺跡近景（東～）

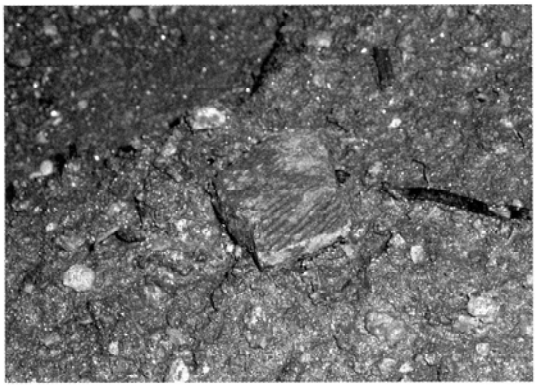
調査状況（東～）

ＴＴ１検出遺構（東～）

ＴＴ１全景（東～）

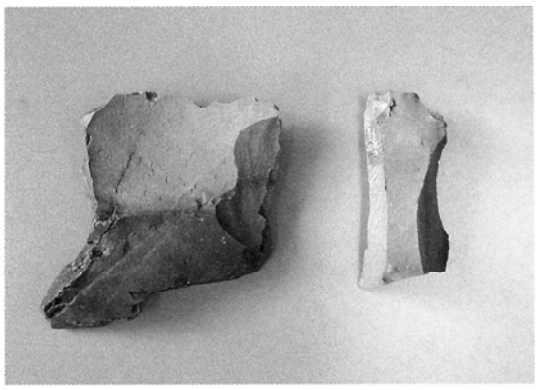
ＴＴ３全景（東～）

図版25　上大作裏遺跡

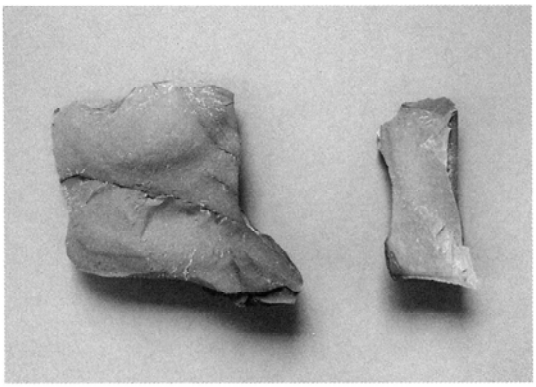


北側畑地散布状況

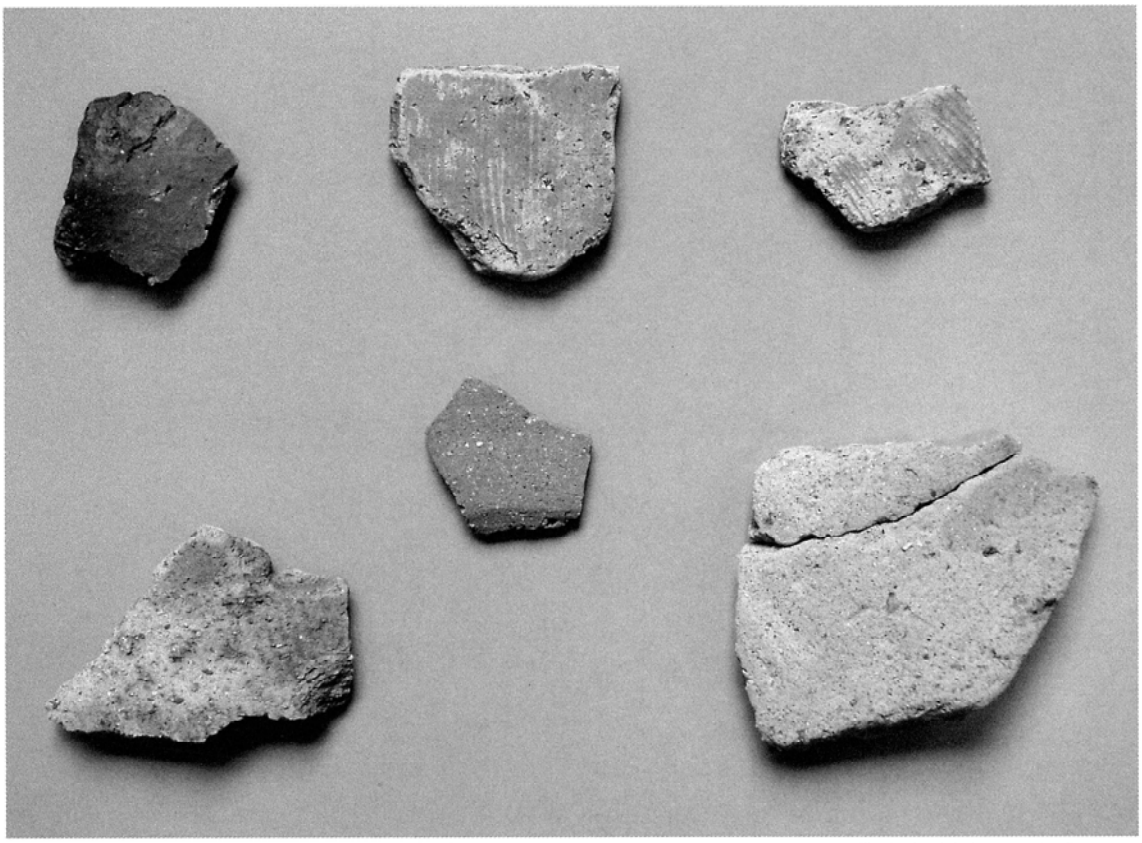
北側畑地散布状況



出土石器剥片（表面）



出土石器剥片（裏面）



出土・採集遺物（土師器・須恵器）

図版26　上大作裏遺跡

(10) **岩崎遺跡**（平成17年度新規登録）

所　在　地　山形県鶴岡市大字下清水字岩崎

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　平成17年６月16日

起因事業　日本海沿岸東北自動車道（温海～鶴岡間）

遺跡環境　下清水集落の西北に位置し、東西方向に延びる自然堤防上に立地する。標高は14～15m内外で、地目は水田である。

調　査　区　高速道路施工範囲内に南北方向のトレンチ６本を入れて調査を行った。

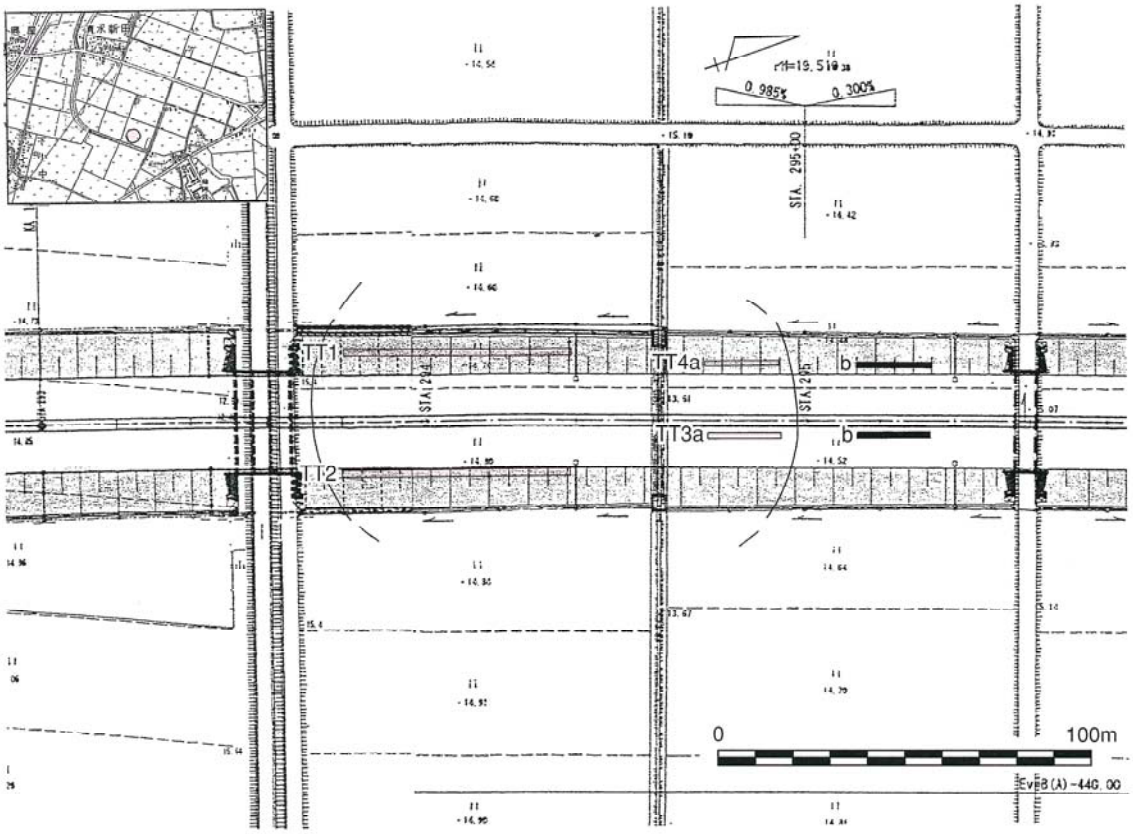
調査方法　重機を用いて水田域の表土を除去し、後に人力で面整理・面精査を実施した。

調査面積　２×152.5m、計305m²。

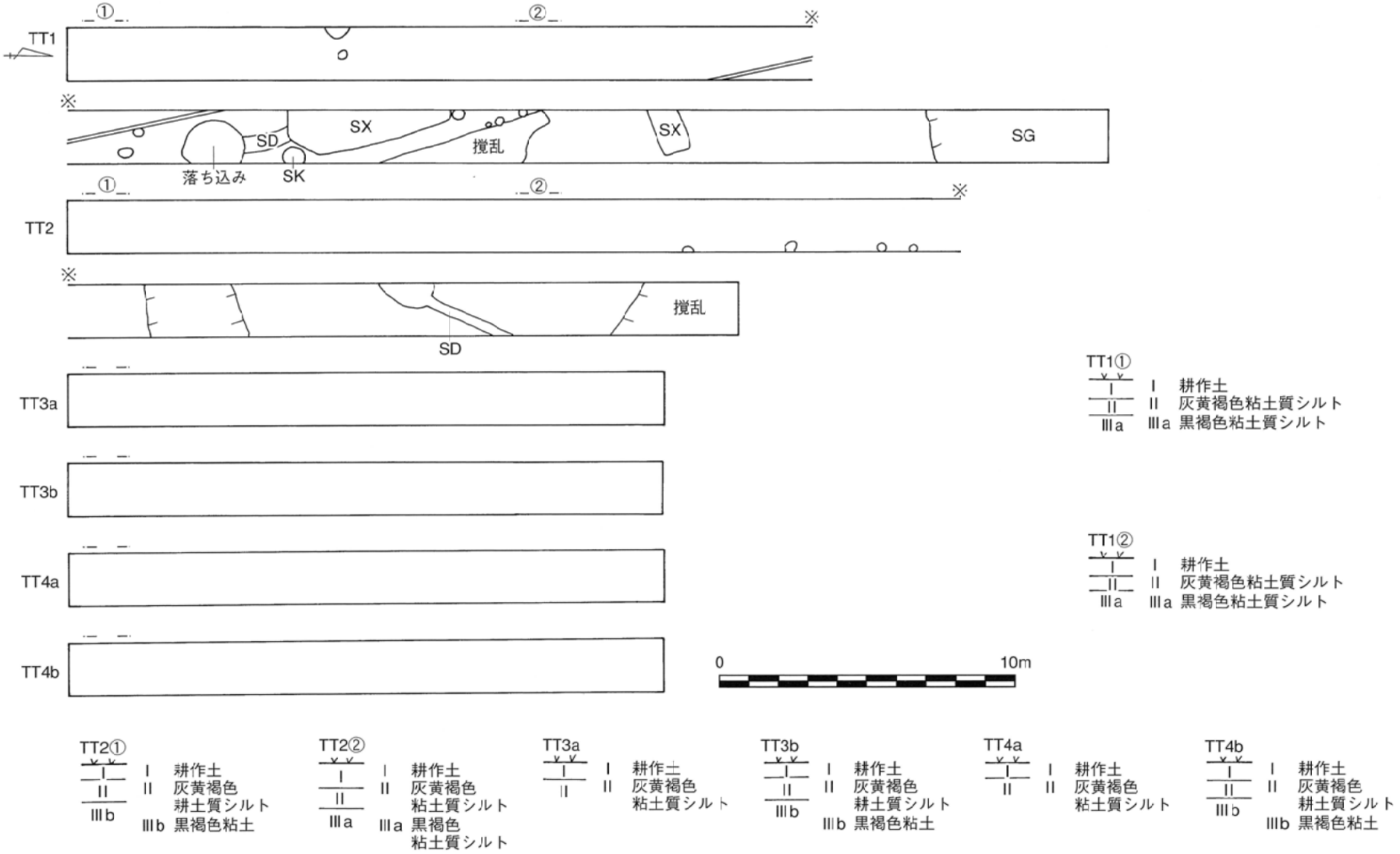
検出遺構　土坑、柱穴、溝跡、河川跡。

出土遺物　土器（古墳時代土師器、奈良・平安時代）。

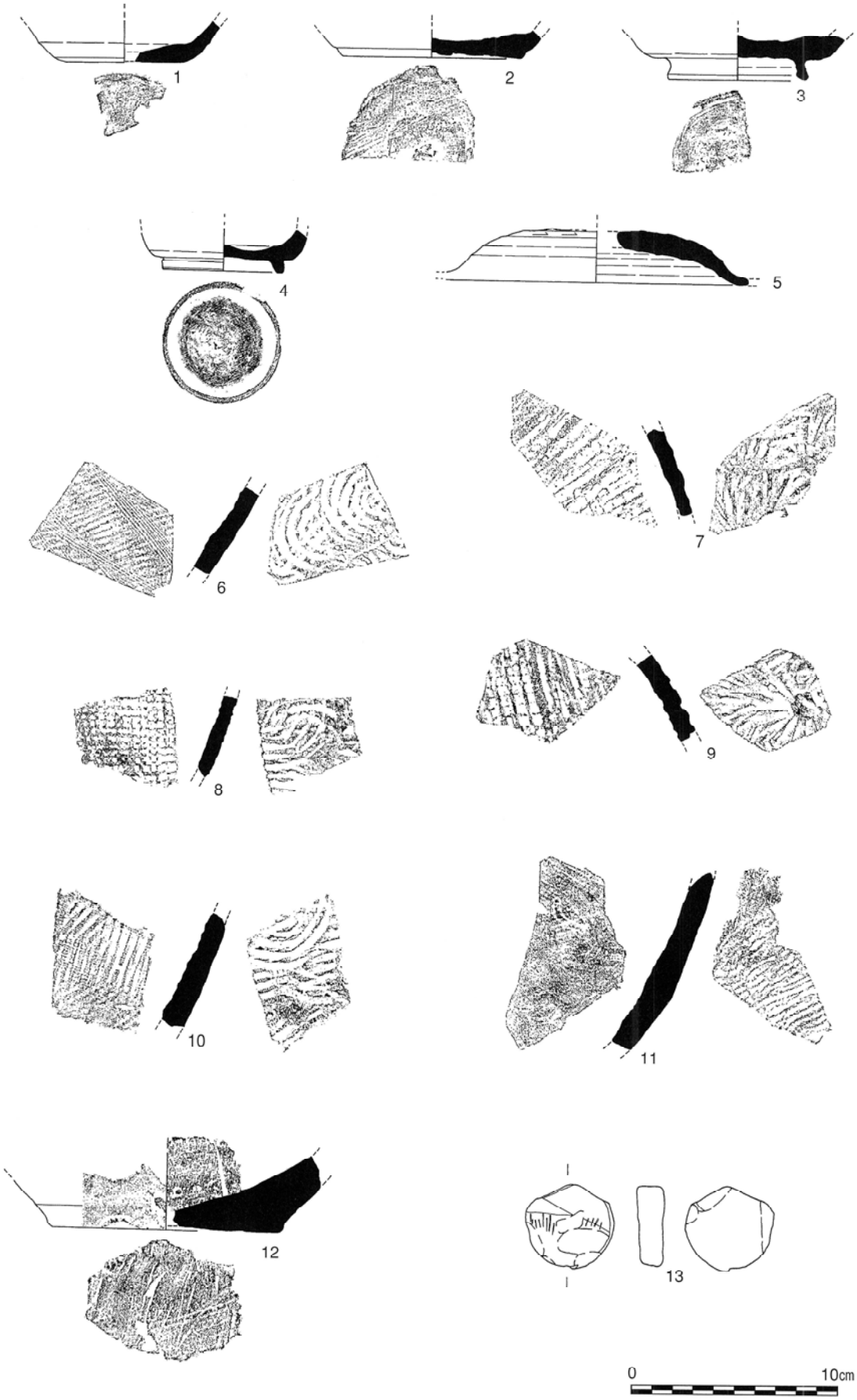
所　　見　遺跡は、現状では明確でないが東西に延びる自然堤防上に立地しており、その状況を遺構・遺物の分布に認めることができる。この自然堤防は田川地区から北西に流れ出る大山川に起因すると考えられる。遺跡の時期は出土遺物（古墳時代前期、奈良・平安期の土器）から、奈良平安時代が主体と窺われる。検出遺構は、Ｔ１で土坑３基・柱穴７基、溝跡２条、河川跡１基、Ｔ２で柱穴４基、溝跡１条、河川跡１条などであった。出土遺物は、古代の須恵器、赤焼土器類が中心であり、耕作土下のⅡ層中で検出された。



第24図　岩崎遺跡調査概要図



第25図　岩崎遺跡調査平面・断面略図



第26図　岩崎遺跡出土遺物実測図

調査状況（南から）

調査状況（東から）

図版27　岩崎遺跡

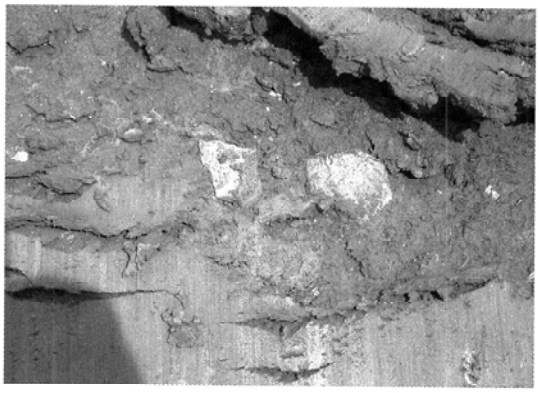
検出遺構（溝跡）

検出遺構（柱穴と遺物）

検出遺構（柱穴と柱根）

検出遺構（柱穴）

検出遺構（溝跡）



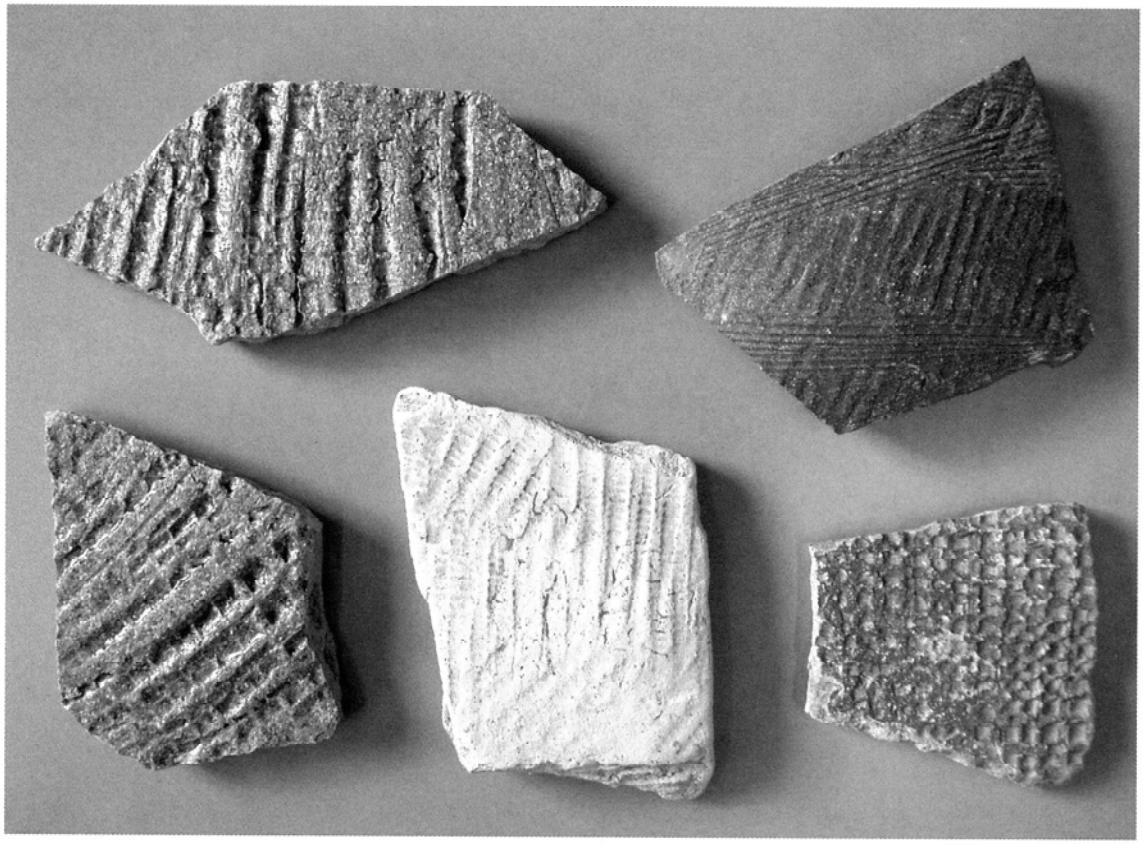
遺物出土状況

遺物出土状況

出土遺物（須恵器・あかやき土器）

図版28　岩崎遺跡

出土須恵器（坏・高台付坏）



須恵器（甕・壺類）

図版29　岩崎遺跡

（11）南田（みなみだ）遺跡（平成17年度新規登録）

所　在　地　山形県鶴岡市大字清水新田字南田

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　平成17年６月16日

起因事業　日本海沿岸東北自動車道（温海～鶴岡間）

遺跡環境　清水新田集落の東側に位置し、周知の清水新田遺跡の南東に隣接している。遺跡立地は自然堤防上と考えられるが、調査対象域の東端には泥炭層の拡がりが認められることから、調査域は自然堤防と後背湿地との境界付近に位置していると判断できる。

調　査　区　高速道路施工範囲内に南北方向のトレンチ７本（Ｔ１ａ，Ｔ１ｂ，Ｔ１ｃ，T2，T3，T4，Ｔ５）を入れて調査を行った。

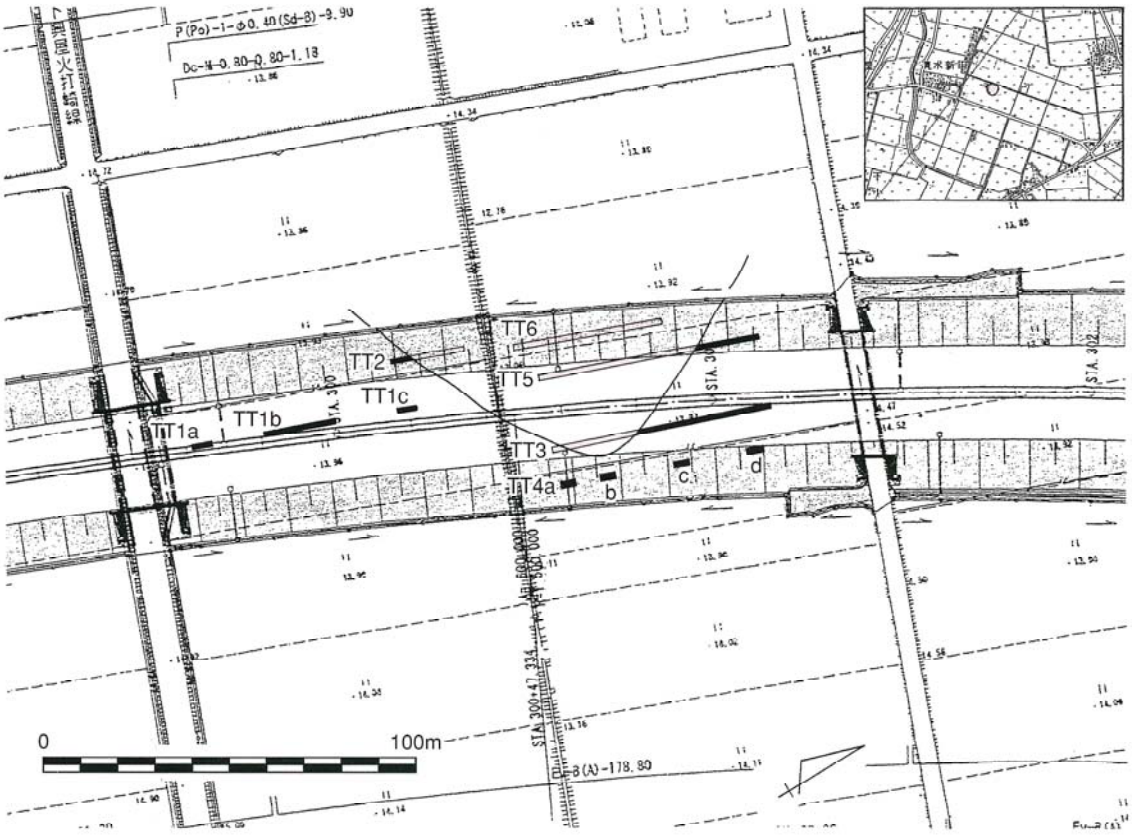
調査方法　重機を用いて旧水田域の表土を除去し、後に人力で面整理・面精査を実施した。

調査面積　２×186m、計372m²。

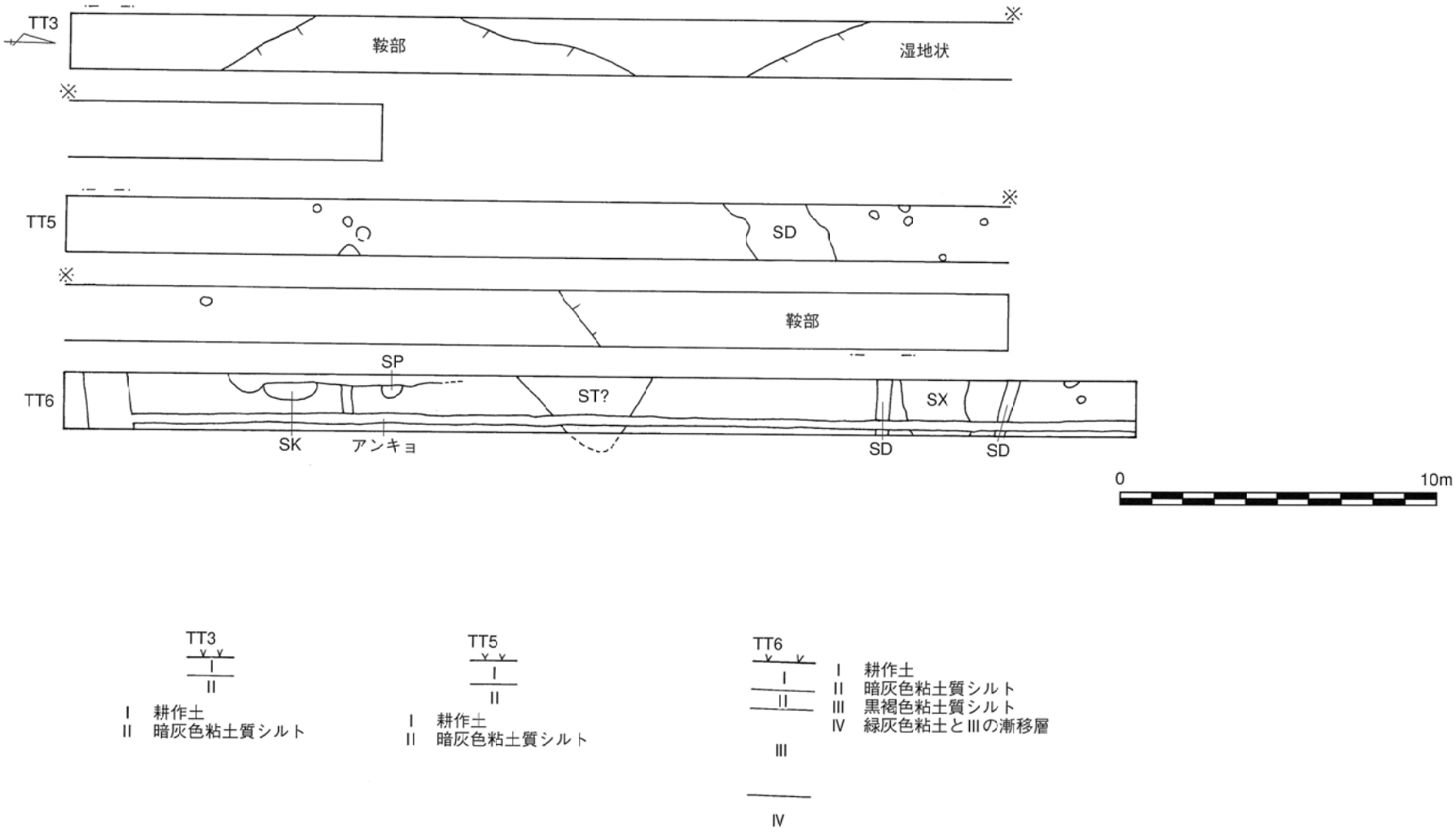
検出遺構　柱穴７基、土坑１基、溝跡１条（Ｔ５）。

出土遺物　古墳時代土師器、奈良・平安時代土器。

所　　見　Ｔ１、Ｔ３トレンチの大方は低湿地性の泥炭層が見られ、遺跡外と捉えられる。一方、Ｔ５、Ｔ６トレンチでは遺構・遺物共に検出され、当該域が遺跡の東端部に当たっていると推測できた。これらのことから、本遺跡の中心はＴ６周辺から西側にあることが予想され、道路工事に係る部分の大半は本集落の東縁部に当たると考えられる。



第27図　南田遺跡調査概要図



第28図　南田遺跡調査平面・断面略図

遺跡近景（南から）

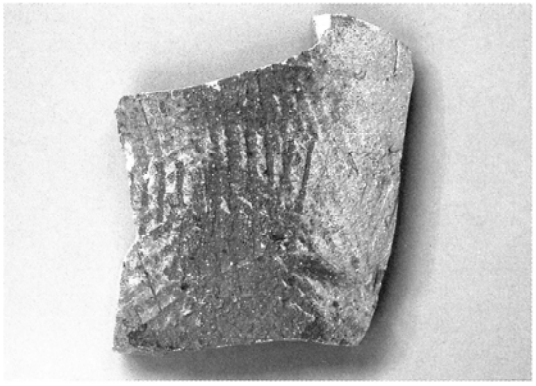
調査トレンチ（ＴＴ１）

調査風景

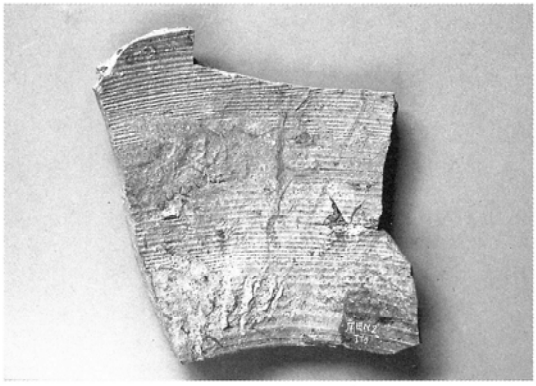
検出遺構（柱穴）

遺物出土状況

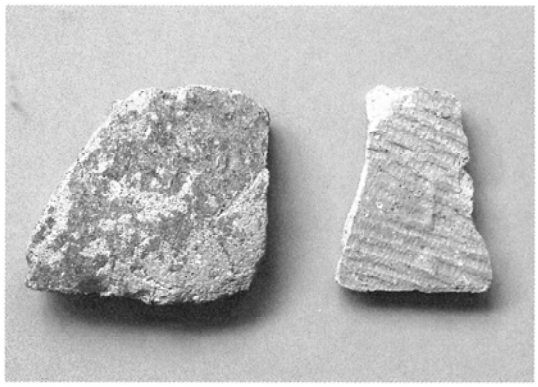
図版30　南田遺跡



出土須恵器（甕）

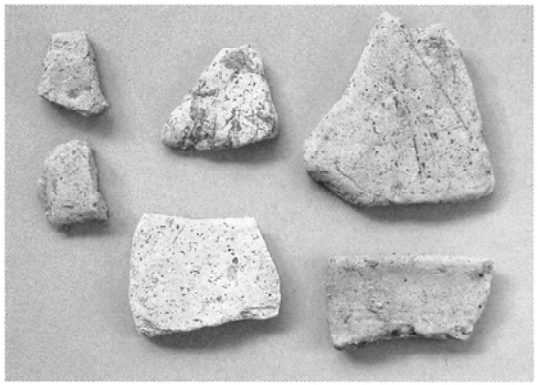


同左（内面）

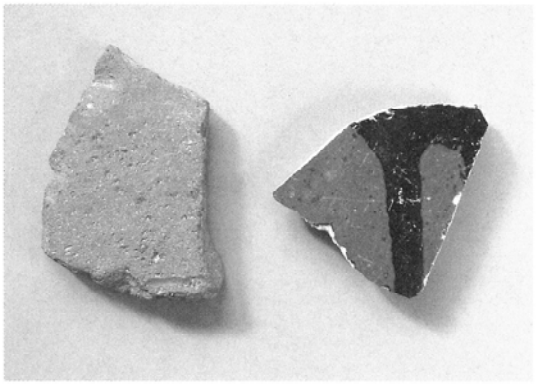


出土須恵器（壺・甕）

出土瓦器（火鉢）

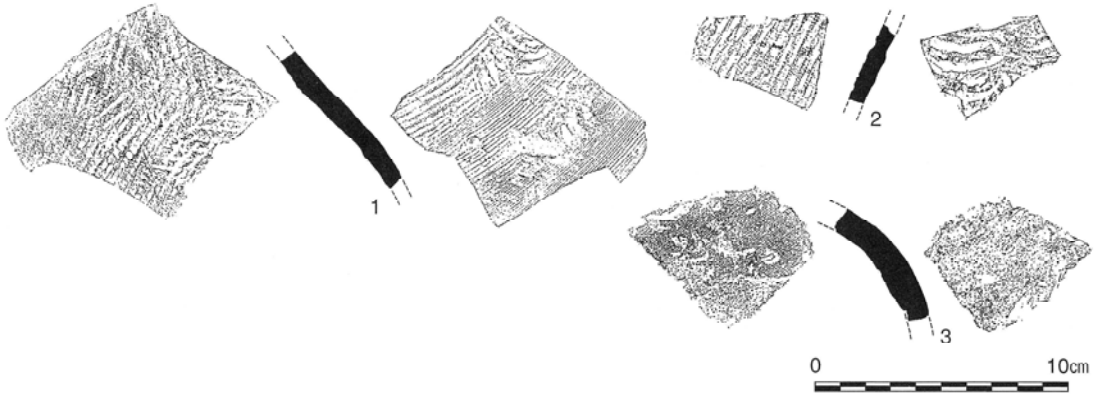


出土赤焼土器



出土陶器

図版31　南田遺跡



第29図　南田遺跡出土遺物実測図

(12) 川内袋遺跡（かわうちぶくろ）

所　在　地　山形県鶴岡市大字五十川字川内袋

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏　高桑　登（財団法人山形県埋蔵文化財センター）

調査期日　平成17年12月１日

起因事業　日本海沿岸東北自動車道（鶴岡温海間）

遺跡環境　出羽山地から日本海へ注ぐ五十川右岸の丘陵上に位置する縄文時代前期後葉の集落跡で、昭和58年に行われた山裾部分の開田工事により、多量の土器・石器が発見されて注目された。この採集品は地元の五十川小学校に保管されて今日に伝わっている。

調　査　区　南側に張出す台地上の平坦地部分を対象として、19年度以降に予定される施工範囲内に調査区を設定した。試掘坑は13箇所で、いずれも人力で掘り下げを行った。

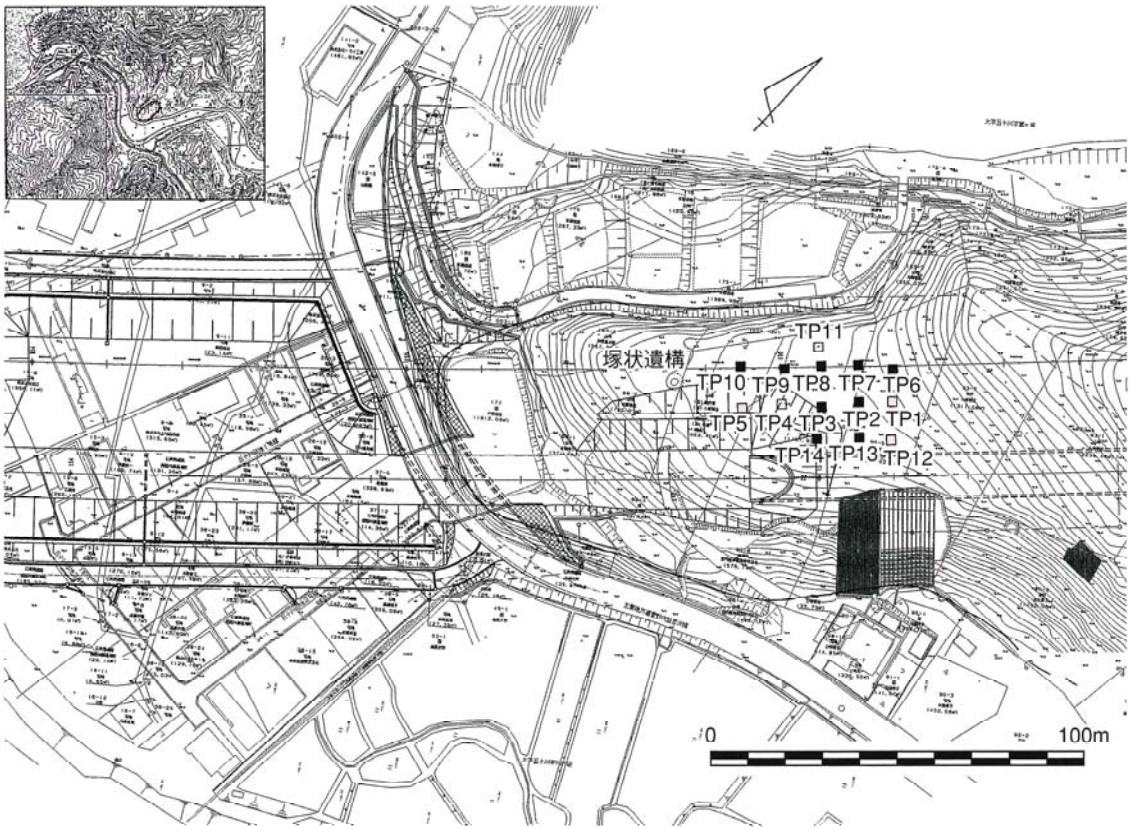
調査方法　分布Ｂ調査（試掘調査）。

調査面積　１×１ｍの試掘坑13箇所、計13㎡。

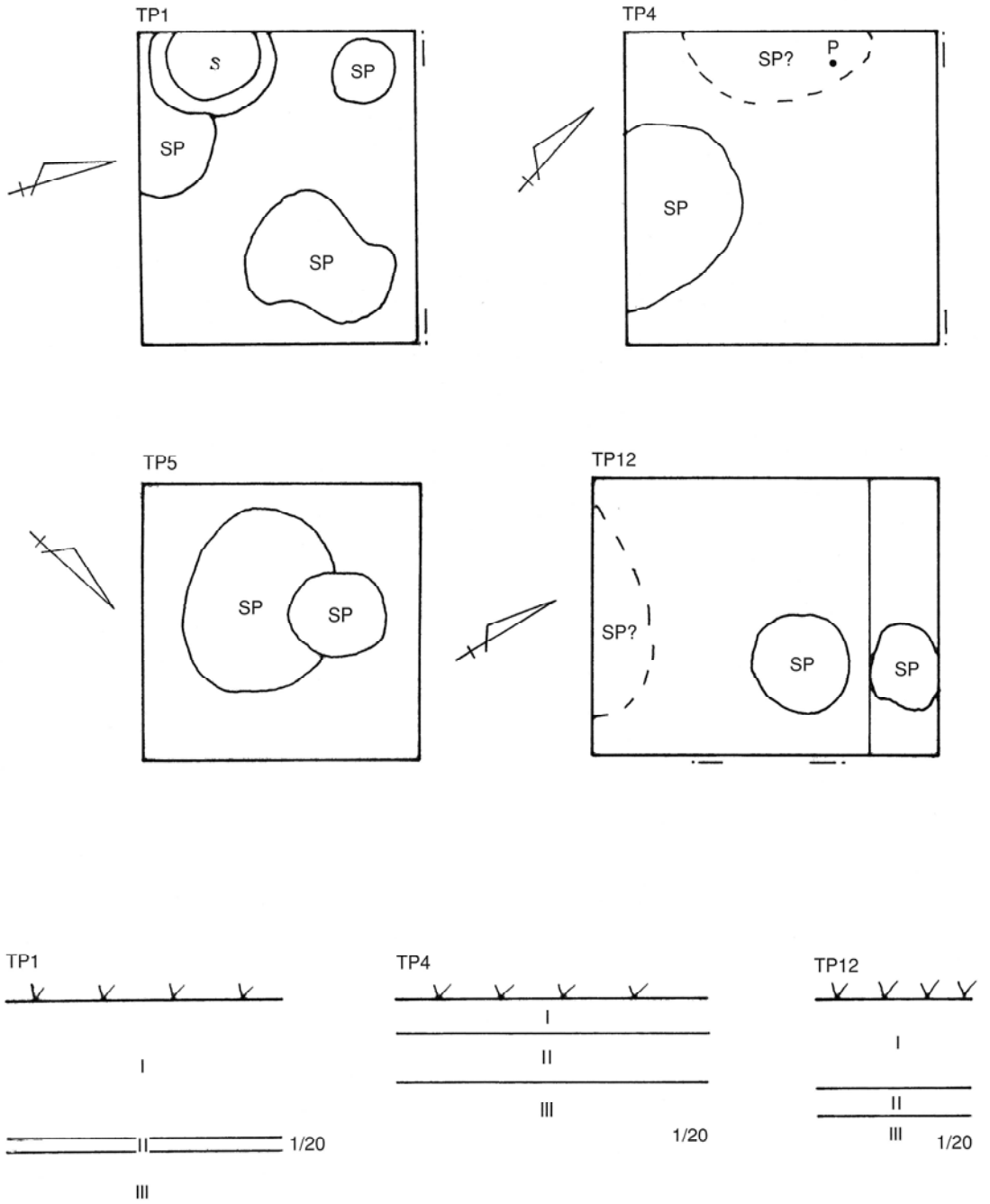
検出遺構　土坑、柱穴（ＴＰ１、４、５、12）。遺物（ＴＰ12）

出土遺物　縄文土器（縄文前期・中期）。石器

所　　見　遺跡は、南北に延びる尾根筋を占地し、開田された水田部分に集落の主体があったと考えられる。時期は縄文前期後葉頃と考えられる。今回対象とした水田より上部の緩斜面でも柱穴などの遺構が認められ、遺跡の拡がりが認められた。出土遺物は、ＴＰ12から縄文土器片２点、ＴＰ５から磨石１点などであった。



第30図　川内袋遺跡調査概要図



第31図　川内袋遺跡調査平面・断面略図

遺跡遠景（南から）

遺跡近景

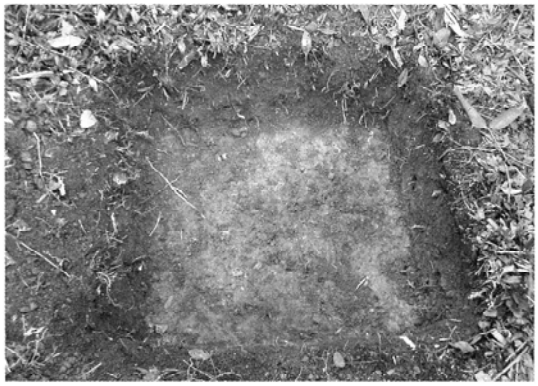
図版32　川内袋遺跡

ＴＰ１試掘坑

ＴＰ２試掘坑

ＴＰ３試掘坑

ＴＰ５試掘坑



ＴＰ８試掘坑

ＴＰ10試掘坑

ＴＰ12試掘坑

ＴＰ13試掘坑

図版33　川内袋遺跡

五十川小学校所蔵縄文土器

五十川小学校所蔵縄文土器

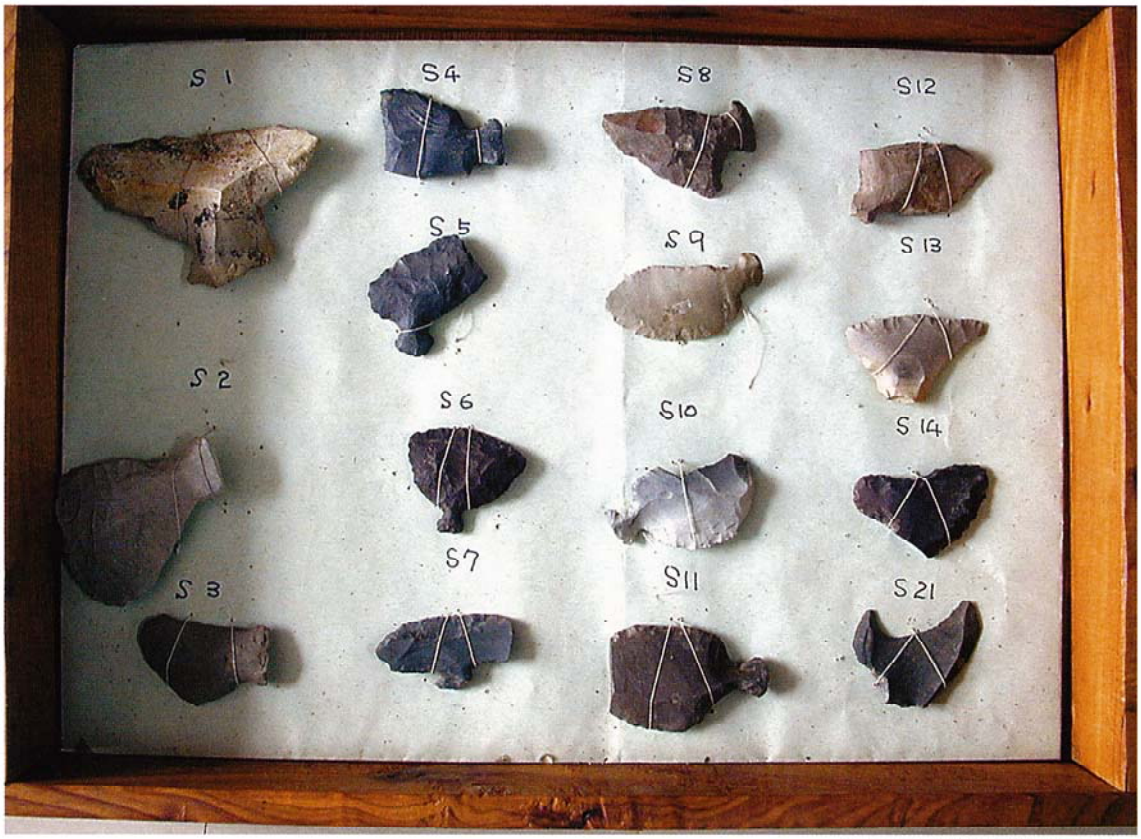
五十川小学校所蔵縄文土器

五十川小学校所蔵縄文土器

五十川小学校所蔵縄文石器

図版34　川内袋遺跡

五十川小学校所蔵縄文石器



五十川小学校所蔵縄文石器

図版35　川内袋遺跡

(13) **堤屋敷遺跡**（平成16年度登録）

所　在　地　山形県米沢市万世町桑山字堤屋敷

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏　須賀井新人（山形県埋蔵文化財センター）

調査期日　試掘調査　平成17年11月15日～17日

起因事業　東北中央自動車道相馬尾花沢線（福島県境～米沢間）建設事業

遺跡環境　米沢市街地から南東約５㎞の河岸段丘上に立地する。標高は、270mを測る。地目は、山林・宅地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ４ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

試掘面積　97㎡

検出遺構　なし

出土遺物　なし

時　　代　縄文時代・中世

所　　見　平成16年に試掘調査未実施部分のうち、平成17年度までに用地買収が終了して試掘可能となった区域について実施した。ＴＴ１・２は本線及び減速車線部分にあたる水田に、ＴＴ３・４は減速車線ループ部にあたる山麓部に設定した。いずれのトレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。その結果、ＴＴ３・４のループ部分にあたる山麓部上部周辺は遺跡範囲に含まれず、ＴＴ１・２周辺は開田の際削平されたと判断される。試掘調査未実施の範囲について、用地取得後に試掘調査が必要である。

(14) **下屋敷遺跡**（平成17年度登録）

所　在　地　山形県米沢市万世町桑山字下屋敷

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏　須賀井新人（山形県埋蔵文化財センター）

調査期日　試掘調査　平成17年11月15日～17日

起因事業　東北中央自動車道相馬尾花沢線（福島県境～米沢間）建設事業

遺跡環境　米沢市街地から南東約５㎞の河岸段丘上に立地する。標高は、270mを測る。地目は、宅地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ５ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

試掘面積　90㎡

検出遺構　ＴＴ７から土坑、柱穴を検出。遺構・遺物確認面は－40～45㎝。

出土遺物　ＴＴ７から縄文土器片出土。

時　　代　縄文時代・中世

所　　見　米沢インターチェンジ予定地内の可能性地３とした範囲のうち、平成15年に試掘調査未実施部分で、堤屋敷遺跡の西側の平成17年度に試掘可能となった区域について実施した。設定した５本のトレンチのうち、ＴＴ７から縄文時代の土坑及び柱穴が検出さ

れ、縄文土器片が出土した。平成15年度調査時のＴＴ４の範囲を含む範囲が埋蔵文化財包蔵地と考えられる。

(15) 山ノ下遺跡（平成17年度登録）

所　在　地　山形県米沢市万世町桑山字山ノ下

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏　須賀井新人（山形県埋蔵文化財センター）

調査期日　試掘調査　平成17年11月15日～17日

起因事業　東北中央自動車道相馬尾花沢線（福島県境～米沢間）建設事業

遺跡環境　米沢市街地から南東約５㎞の河岸段丘上に立地する。標高は、270mを測る。地目は、宅地・畑地及び水田である。

試　掘　区　事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ４ヶ所を設定。

試掘方法　重機＋人力で試掘調査を実施。

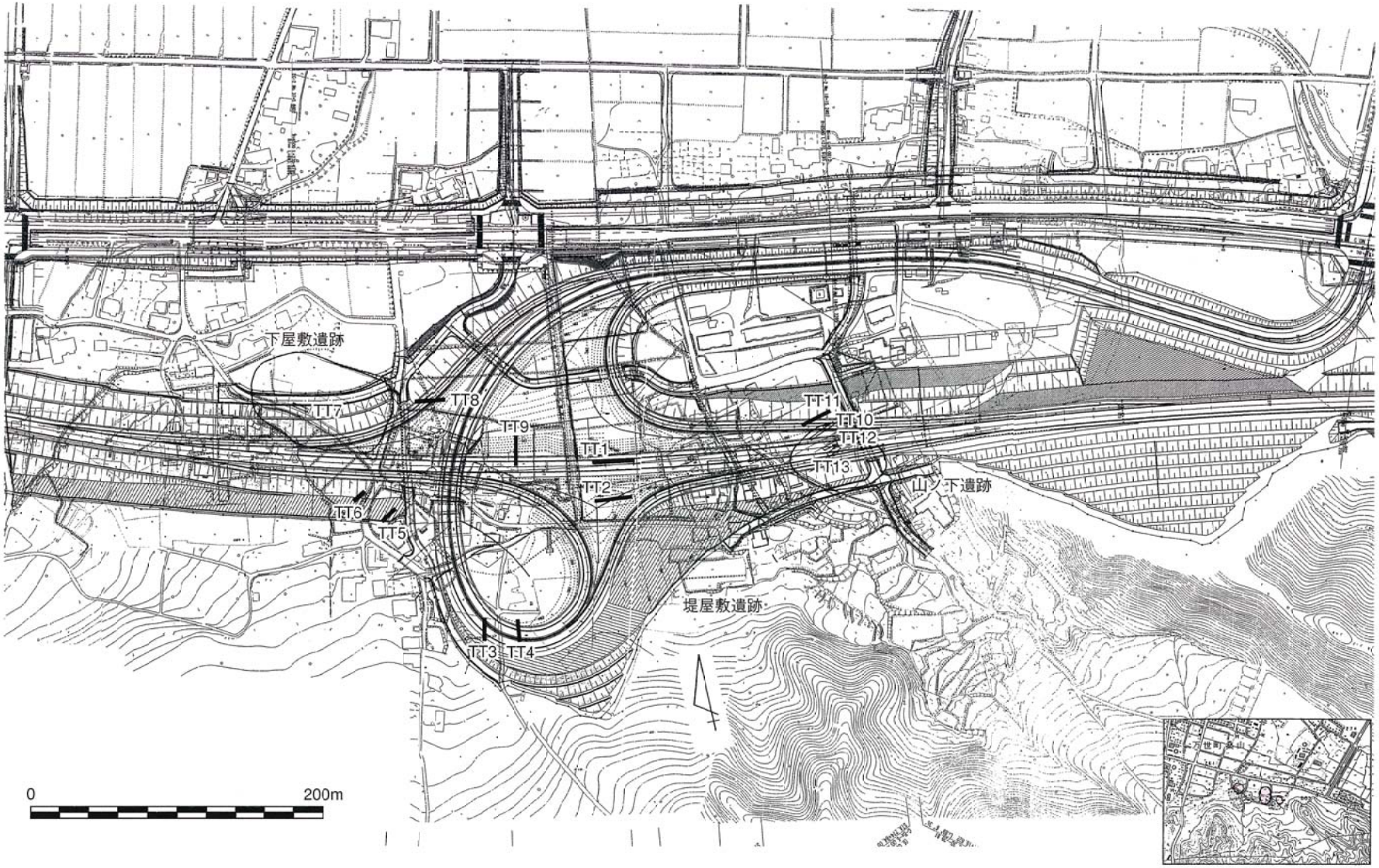
試掘面積　100㎡

検出遺構　ＴＴ11～13から土坑、柱穴、溝跡を検出した。遺構の確認面は－40～60㎝。

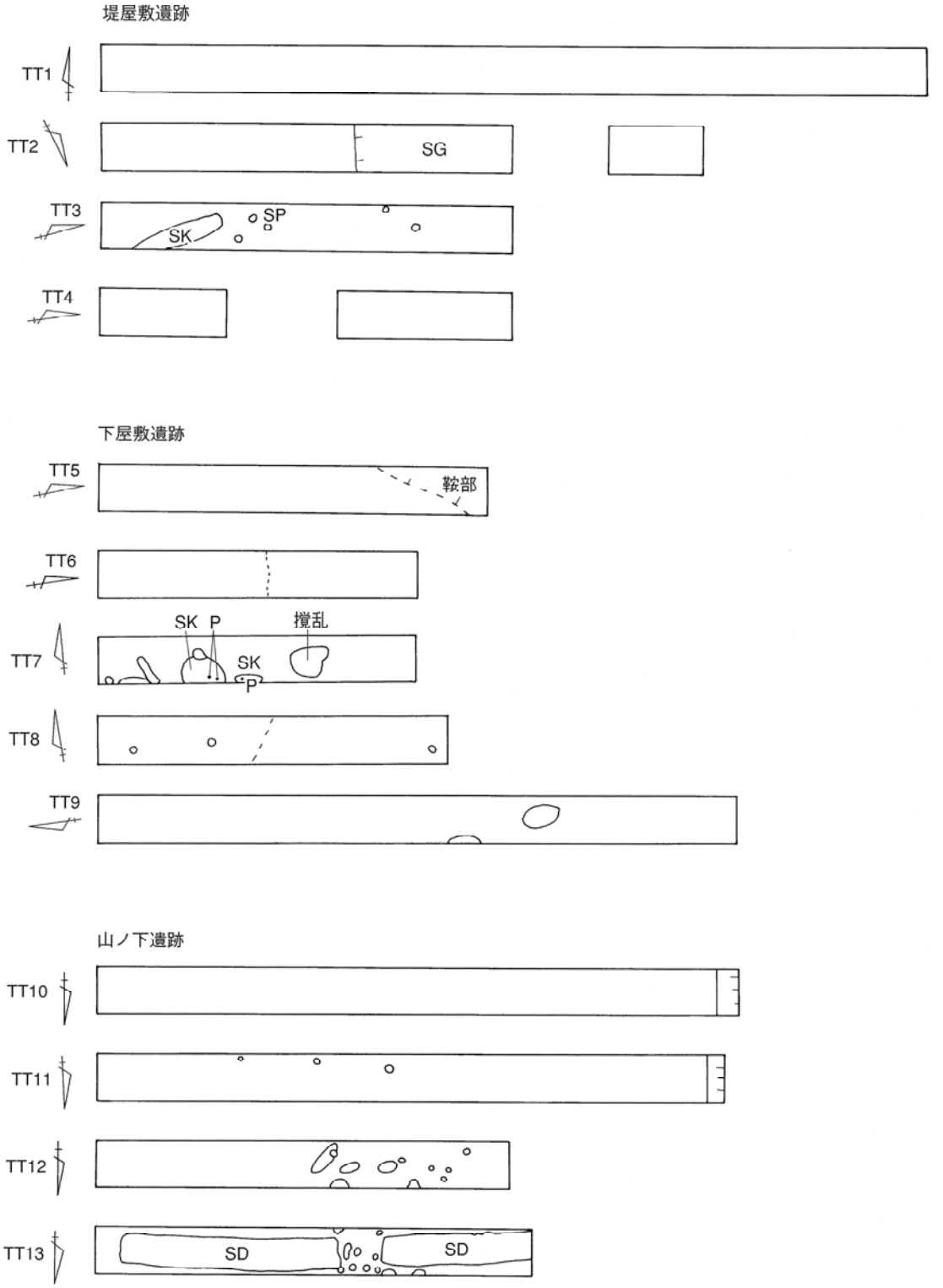
出土遺物　ＴＴ11～13から縄文土器片出土。

時　　代　縄文時代

所　　見　米沢インターチェンジ予定地内の可能性地３とした範囲のうち、平成15年に試掘調査未実施部分で、平成17年度に試掘可能となった区域について実施した。設定した４本のトレンチのうち、ＴＴ11～ＴＴ13の３本から縄文時代の土坑及び柱穴・溝跡が検出され、縄文土器片が出土した。平成15年度調査時のＴＴ１の周辺を含む範囲が埋蔵文化財包蔵地と考えられる。



第32図　米沢ＩＣ関係遺跡調査概要図



第33図　米沢ＩＣ関係遺跡調査平面・断面略図

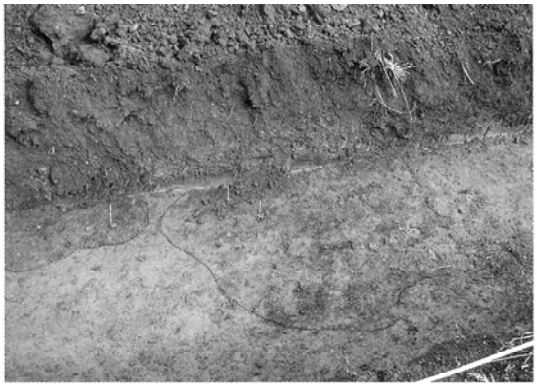
堤屋敷ＴＴ４調査状況

下屋敷遺跡近景（北西～）

下屋敷ＴＴ５調査状況

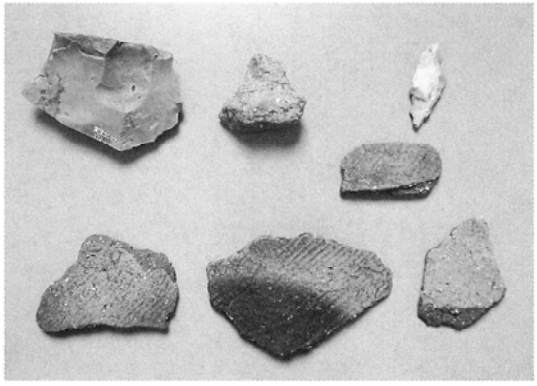
下屋敷ＴＴ６調査状況

下屋敷ＴＴ７トレンチ



下屋敷ＴＴ７検出遺構

下屋敷ＴＴ７検出遺構



堤屋敷・下屋敷遺跡出土遺物

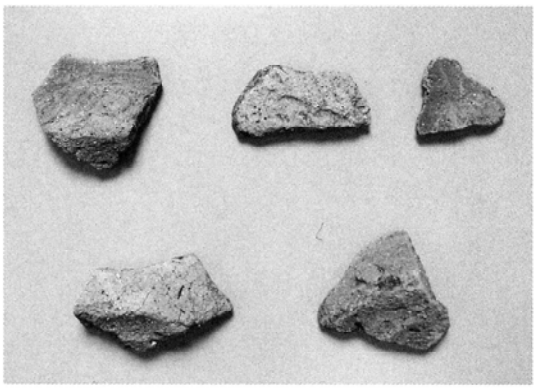
図版36　米沢ＩＣ関係遺跡

山ノ下遺跡調査状況（南東～）

山ノ下遺跡ＴＴ13調査状況

山ノ下遺跡ＴＴ11調査状況

山ノ下遺跡ＴＴ12検出遺構



山ノ下遺跡出土遺物

図版37　米沢ＩＣ関係遺跡

Ⅲ　記録保存調査・立会い調査の概要

（1）高畑城（A－70）・大在家遺跡（A－71）

所　在　地　山形県高畠町大字高畠字荒小路・字東町他、大字高畠字大在家他、

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　立会調査　平成17年11月18日、12月２日・８日・16日

起因事業　旧県立高畠高等学校校舎解体工事

遺跡環境　高畠町の中心市街地から南東約１㎞に立地する。標高は、225mを測る。地目は、宅地・畑地・水田及び学校敷地である。

調査方法　重機＋人力で立会調査を実施。

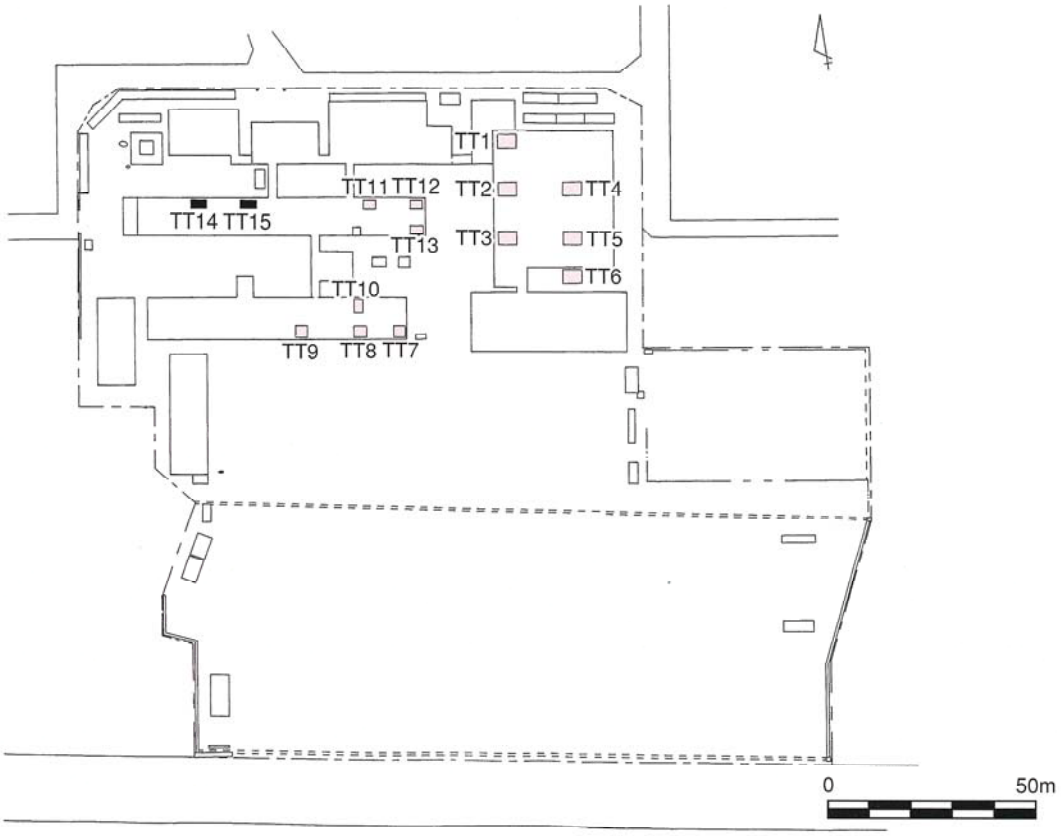
調査面積　2,300㎡

検出遺構　体育館・特別教室棟・本校舎棟の跡地から、古代および中近世の柱穴を検出。遺構・遺物確認面は、－80㎝。

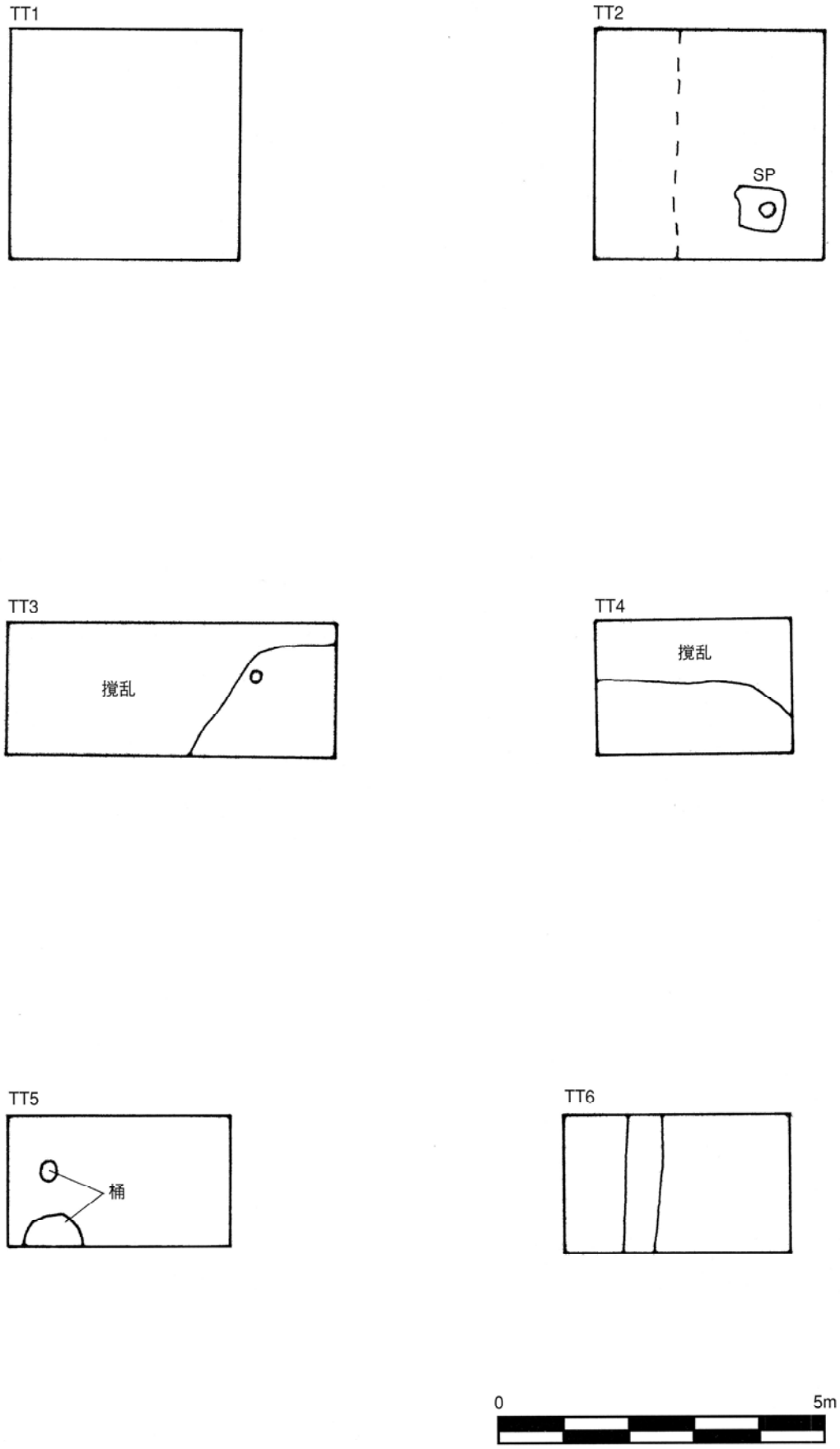
出土遺物　須恵器片・土師器片、近世近代陶器片出土。

時　　代　飛鳥時代・奈良時代・平安時代・近世

所　　見　旧高畠高校校舎解体工事に伴う基礎撤去工事の立会調査を実施した。体育館・特別教室棟及び本校舎棟では、建物基礎周辺部の約－80㎝付近で古代の柱穴や近世屋敷跡の痕跡が確認された。その結果、基礎布掘り部分については、校舎建設の際破壊されたものの、他の範囲についてはおおむね良好に遺構が遺存していることが判明した。



第34図　大在家遺跡・高畑城調査概要図



第35図　大在家遺跡・高畑城調査平面図

調査対象地遠景（南～）

旧高畠高等学校正門

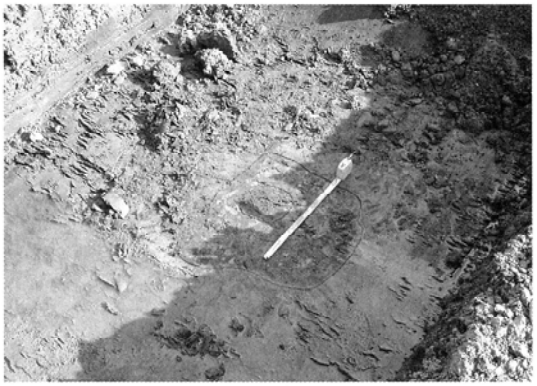
旧高畠高校教室棟解体状況

解体材撤去状況

旧高畠高校体育館解体状況

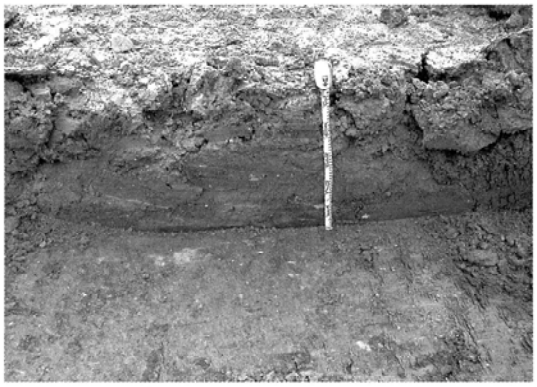
図版38　大在家遺跡・高畑城

土層断面と柱穴



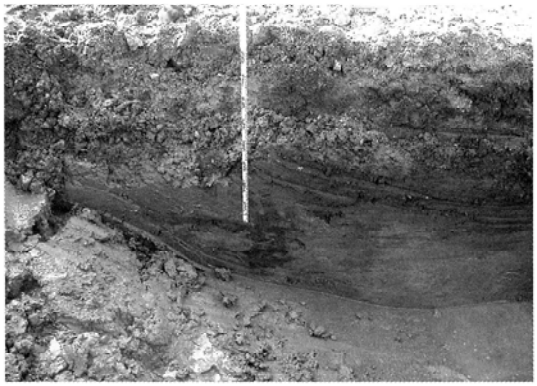
柱穴検出状況

体育館部分の土層断面



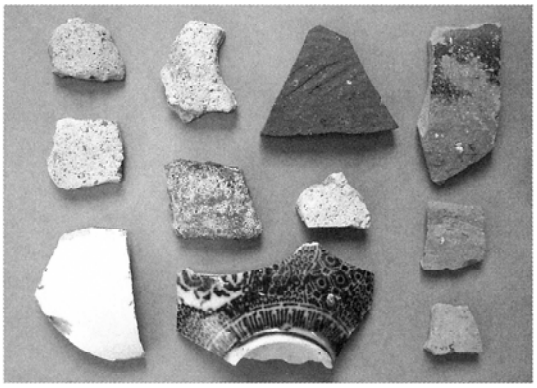
土層断面と柱穴

遺構確認状況（溝跡）



土層断面と柱痕跡

北側倉庫跡部分



出土遺物

図版39　大在家遺跡・高畑城

（2）上ノ山遺跡（平成４年度登録）

所　在　地　山形県朝日町大字玉ノ井字上ノ山他

調　査　員　高橋　敏

調査期日　試掘調査　平成17年４月12日、６月８日

起因事業　一般国道287号改良

遺跡環境　最上川左岸明鏡橋の東側で、最上川と大谷川の合流点の河岸段丘上に立地する。標高は、134ｍを測る。地目は、宅地・畑地・荒蕪地である。

調査方法　重機＋人力で立会調査を実施。

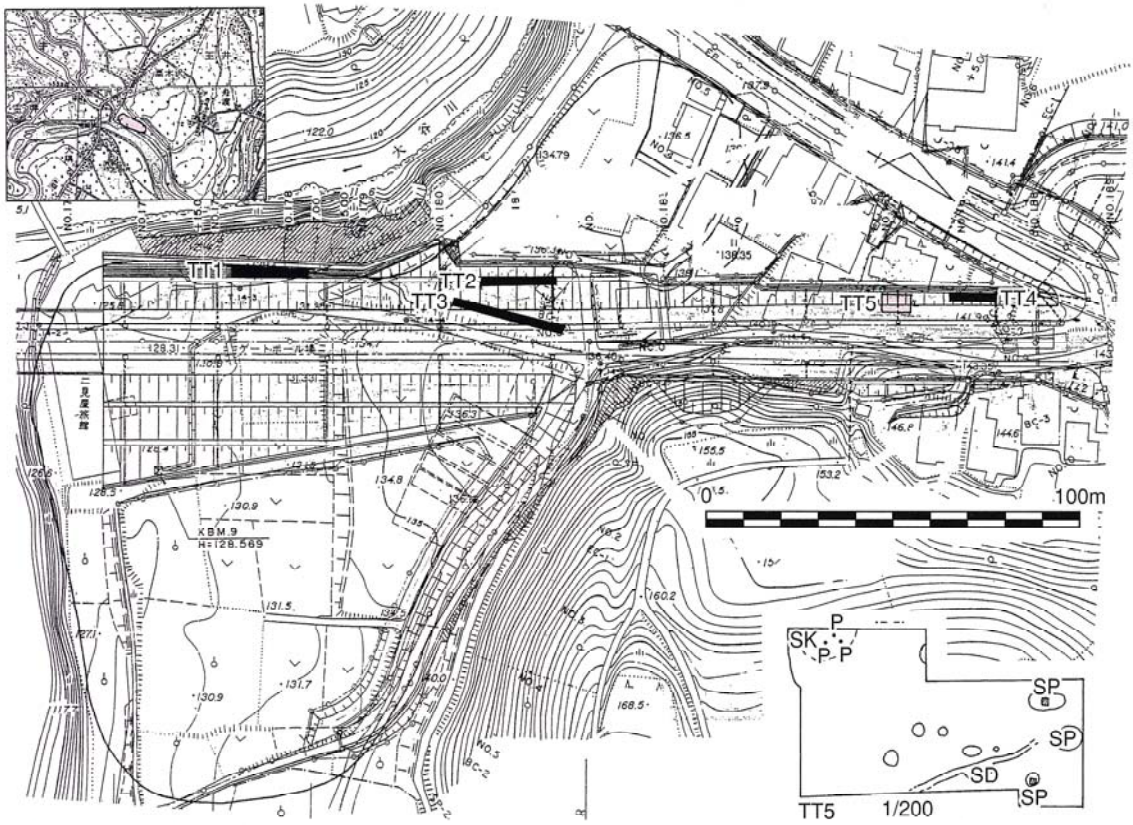
調査面積　150㎡（対象面積3,000㎡）

検出遺構　ＴＴ５から柱穴・土坑・溝跡を検出した。遺物確認面は、－120㎝。

出土遺物　近世・近代陶器片出土。

時　　代　近世・近代

所　　見　ＴＴ５から柱穴９基と溝跡１条、土坑１基を検出した。柱穴のうち２基から角材の柱根が出土した。また、土坑からは近世近代陶磁器片が出土した。地元の方によれば、当該地は旧二見屋下流にあった船着場（荷揚げ場）から続く街道に面していた。かつて最上川舟運が盛んだったころは「茶屋」と呼ばれた家が存在し、昭和40年代まで茅葺の二階家があったということである。検出した遺構・遺物は近世からの「茶屋」に由来すると考えられる。

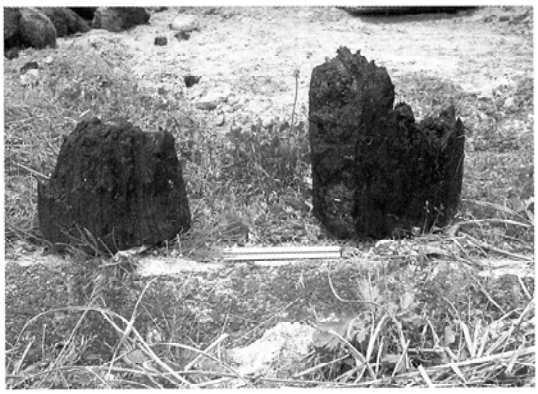


第36図　上ノ山遺跡調査概要図

遺跡遠景（北～）

工事立会状況（北～）

柱穴検出状況



検出柱根

調査区全景

図版40　上ノ山遺跡

（3）高館（高楯山）

所　在　地　山形県鶴岡市大字大山字城山

調　査　員　阿部明彦　高橋　敏

調査期日　平成17年９月１日

起因事業　東北管区警察無線中継所建設工事

遺跡環境　尾浦城の背後に聳える標高273mの高館山の山頂には幾本かのテレビ塔が立ち並び、庄内平野を彩る一つの景観を形成している。テレビ塔ができる前の地形は明らかでないが、枡形虎口や帯曲輪、腰曲輪群が大山から加茂港へと通じる旧岩倉越の街道へ向かって造成された様子が理解される。

調　査　区　中継塔の設置される施工範囲内を調査区とした。

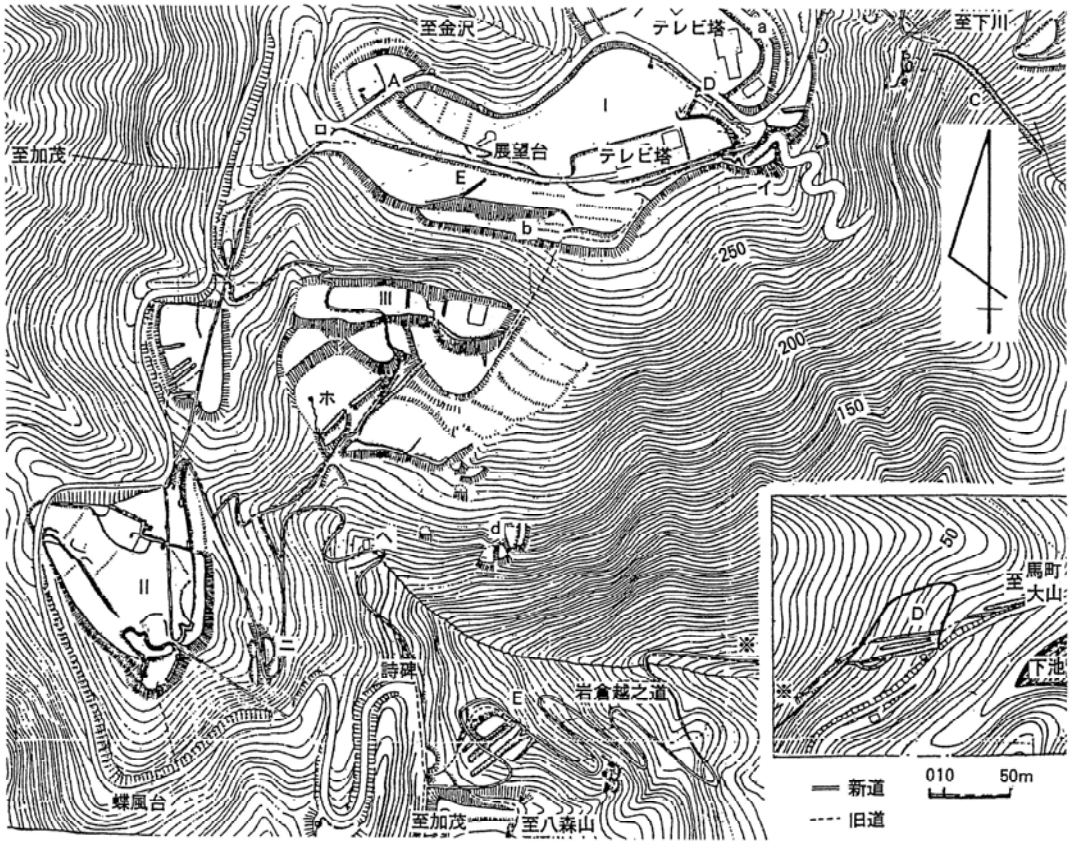
調査方法　重機を用いて対象域の表土を除去し、後に人力で面整理・面精査を実施した。

調査面積　東西５×南北４ｍ、計20㎡。

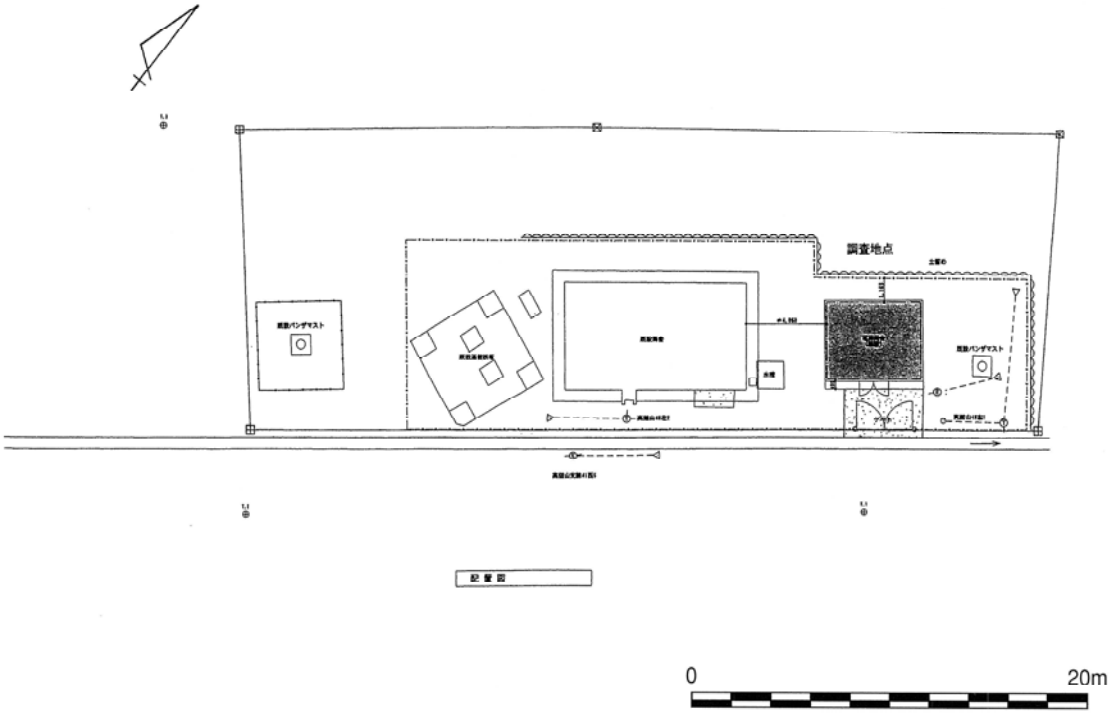
検出遺構　なし。

出土遺物　なし。

所　　見　館跡は、山頂部のテレビ塔群や展望塔付近などを除けば、比較的良好に残っていると考えられる。今回の立会箇所は、既存の施設内に新たな電源局舎を建設するというものであったことから、過去の造成の様子や撹乱の状況が窺われ、楯跡に関連するような遺構や遺物の検出は見られなかった。



第37図　高館概要図



第38図　高館調査概要図

遺跡近景（南東～）

調査状況

掘削状況

調査地全景

図版41　高館

表－3　掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）

No.	遺　跡　名	図　幅　名	No.	遺　跡　名	図　幅　名
1	光明寺跡	天童	37	加藤屋敷	羽前中山
2	可能性地1・2	海谷	38	岩谷堂2	羽前中山
3	長者原	舟形	39	檜原	羽前小松・赤湯
4	稲葉	舟形	40	上大作裏	羽前小松・赤湯
5	新田裏	舟形	41	天王	羽前小松・赤湯
6	神明神社	舟形	42	中野的場	山形北部
7	原田	舟形	43	去手呂古墳群	山形北部
8	オクミ館	大沢	44	南口A	余目
9	中川原C	新庄	45	八間	藤島・余目
10	上野	赤湯	46	本田	湯野浜・鶴岡
11	上の寺	寒河江・左沢	47	下叶水	叶水・小国東部
12	柳川館・青柳	貫見	48	堤屋敷	米沢東部
13	蟹沢熊野堂・郡山	谷地・楯岡	49	山ノ下	米沢東部
14	上の山	宮宿・左沢	50	下屋敷	米沢東部
15	菅原館	羽前小松	51	矢馳A	鶴岡
16	小菅館ノ在家	米沢北部	52	川内袋	山五十川・温海・三瀬
17	飛鳥	余目	53	岩崎	鶴岡
18	上矢馳	鶴岡	54	南田	鶴岡
19	市布d	米沢	55	柴燈林2	吹浦
20	市布e	米沢	56	柴燈林3	吹浦
21	大洞	米沢	57	柴燈林4	吹浦
22	七郎ヶ沢	米沢東部	58	柴燈林5	吹浦
23	戸根林B・C	長井	59	荒川	吹浦
24	可能性地	海谷	60	七曲道ノ下	吹浦
25	堅苔沢館	三瀬	61	牛渡1	吹浦
26	栗館	鶴岡	62	牛渡2	吹浦
27	米沢城	米沢	63	物見峠C	吹浦
28	高畑城・大在家	糠野目	64	塩ノ沢西	富並
29	谷柏	山形南部	65	水口	富並
30	可能性地24	山形南部	66	平林	富並
31	中林古墳群	山形南部	67	真木	太郎
32	北田2	羽後観音寺	68	街道西下	米沢
33	高館	湯野浜	69	城北	山形北部
34	可能性地	山形北部・山形南部	70	鉄砲町一丁目	山形南部
35	可能性地2	新庄	71	梅野木前1	山形北部
36	中山城	羽前中山			

Ⅳ　まとめ

平成17年度の遺跡詳細分布調査は、平成18年度以降に予定されている開発事業に先行して、遺跡の所在・範囲等を明らかにし、開発との調整を図ることを目的として実施した。また、記録保存のための小規模な発掘調査と立会調査も行った。

1　調査遺跡数

調査遺跡数69遺跡（表面踏査・試掘調査・発掘調査・立会調査　新規発見遺跡含む）その他に調査遺跡数には含めないが、登録遺跡外で遺跡の有無を確認するために試掘調査を実施したもの（調査の結果、遺跡とはならないもの）や、表面踏査により各種開発事業予定地で抽出した遺跡可能性地（今後の試掘調査等で遺跡となるかを判断するもの）などについても調査を実施した。

2　新規発見遺跡、範囲の訂正、遺跡登録抹消

今年度の新規発見遺跡数　25遺跡

範囲の訂正、名称の変更等の措置が講ぜられた遺跡数　11遺跡

以下にその一覧を掲げて調査のまとめとする。

（1）県教育委員会が発見し登録した遺跡

	（遺跡名）	（所在地）	（種別）	（時期）
1	上矢馳遺跡	鶴岡市矢馳字上矢馳	集落	平安時代
2	北田２遺跡	酒田市大字関字北田	集落	平安時代
3	加藤屋敷遺跡	南陽市大字川樋字加藤屋敷	集落	平安時代
4	岩谷堂２遺跡	南陽市大字川樋字平石	散布地	平安時代
5	中野的場遺跡	山形市大字中野字的場	集落	平安時代
6	八間遺跡	庄内町大字払田字八間	散布地	平安時代
7	山ノ下遺跡	米沢市万世町桑山字山ノ下	集落	縄文時代
8	下屋敷遺跡	米沢市万世町桑山字下屋敷	集落	縄文時代
9	岩崎遺跡	鶴岡市大字下清水字岩崎	集落	平安時代
10	南田遺跡	鶴岡市大字清水新田字南田	集落	平安時代
11	北境２遺跡	酒田市大字北沢字北境	散布地	平安時代

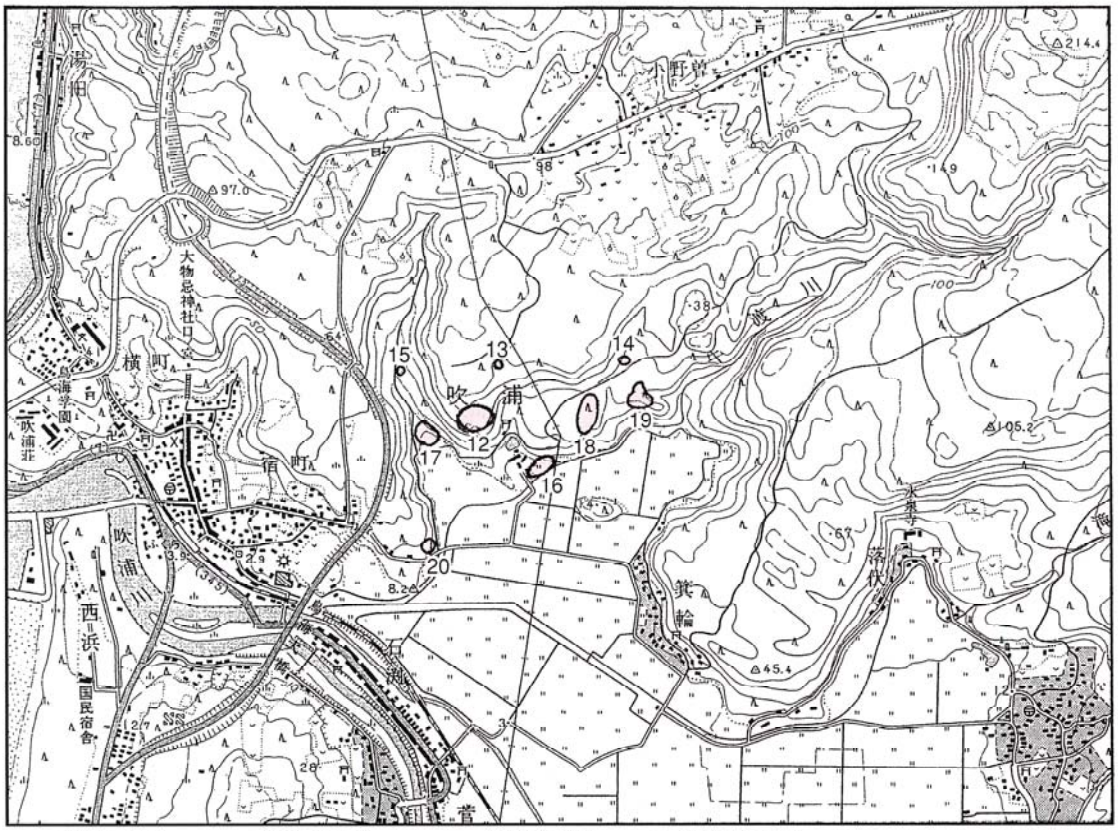
（2）国等の機関、市町村教育委員会からの通知、地権者からの届出で登録した遺跡

12	柴燈林（さいとばやし）２遺跡	遊佐町大字吹浦字宿町	散布地	縄文時代
13	柴燈林（さいとばやし）３遺跡	遊佐市大字吹浦字柴燈林	散布地	縄文時代
14	柴燈林（さいとばやし）４遺跡	遊佐市大字吹浦字宿町	散布地	縄文時代

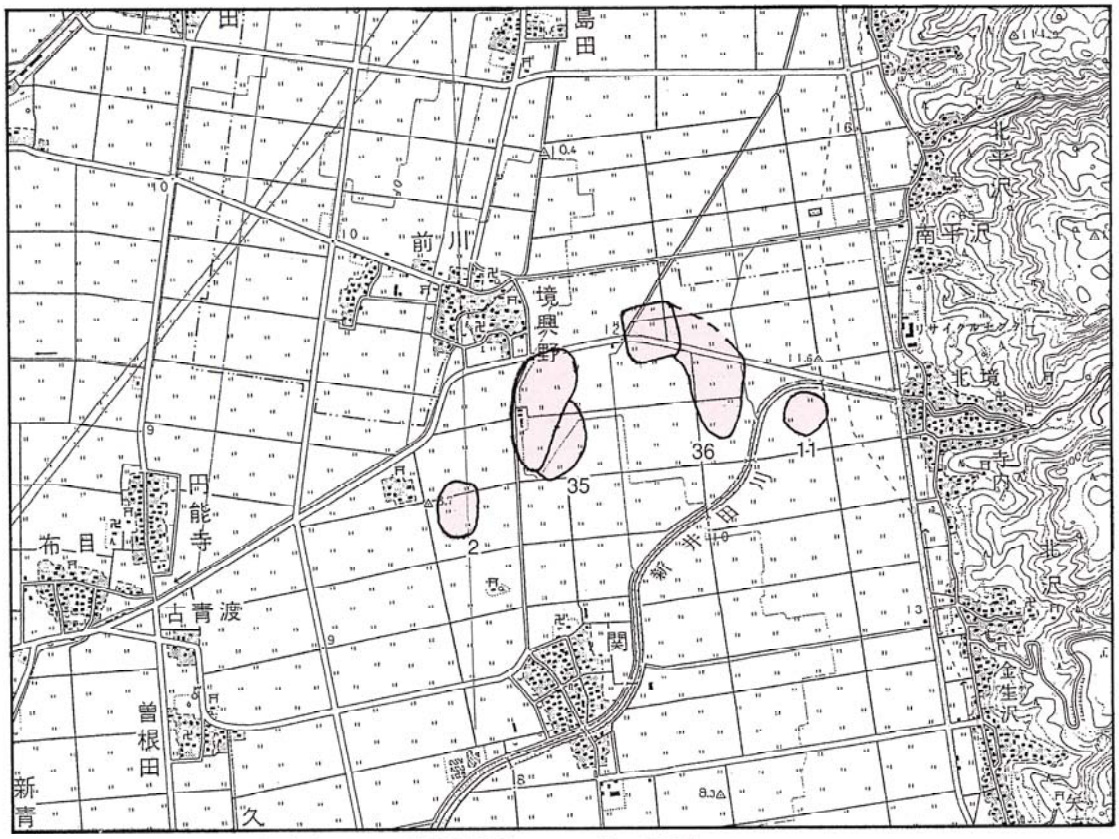
15	柴燈林（さいとばやし）5遺跡	遊佐市大字吹浦字柴燈林	散布地	弥生時代
16	荒川遺跡	遊佐町大字吹浦字荒川	集落跡	縄文時代
17	七曲道ノ上遺跡	遊佐町大字吹浦字七曲道ノ上	散布地	縄文時代
18	牛渡1遺跡	遊佐町大字吹浦字宿町	集落跡	縄文時代
19	牛渡2遺跡	遊佐町大字吹浦字一本木	散布地	縄文時代
20	物見峠C遺跡	遊佐町大字吹浦字物見峠	散布地	縄文時代
21	水口遺跡	大石田町大字横山字水口	集落跡	平安時代
22	真木遺跡	朝日町大字松程	散布地	旧石器時代
23	街道西下遺跡	米沢市中田町	集落跡	中・近世
24	城北遺跡	山形市城北町二丁目	集落跡	平安時代・近世
25	鉄砲町一丁目遺跡	山形市鉄砲町一丁目	集落跡	奈良・平安時代

（3）範囲等の修正を必要とする遺跡、登録を抹消した遺跡

	（遺跡名）	（変更内容）	（変更を必要とする文献名）
26	中山城跡	範囲の修正	平成17年3月『分布調査報告書（31）』
27	檜原遺跡	範囲の修正	平成9年3月『分布調査報告書（24）』
28	去手呂古墳群	範囲の修正	平成15年3月『山形県遺跡地図ＣＤＲＯＭ』
29	下叶水遺跡	範囲の修正	平成9年3月『分布調査報告書（24）』
30	堤屋敷遺跡	範囲の修正	平成18年3月『分布調査報告書（32）』
31	矢馳A遺跡	範囲の修正	平成12年3月『分布調査報告書（26）』
32	川内袋遺跡	範囲・名称の修正	平成12年3月『分布調査報告書（26）』
33	梅野木前1遺跡	範囲の修正	平成17年3月『分布調査報告書（31）』
34	塩ノ沢西遺跡	範囲の修正	平成15年3月『山形県遺跡地図ＣＤＲＯＭ』
35	境興野遺跡	範囲の修正	平成15年3月『山形県遺跡地図ＣＤＲＯＭ』
36	上ノ田遺跡	範囲の修正	平成15年3月『山形県遺跡地図ＣＤＲＯＭ』

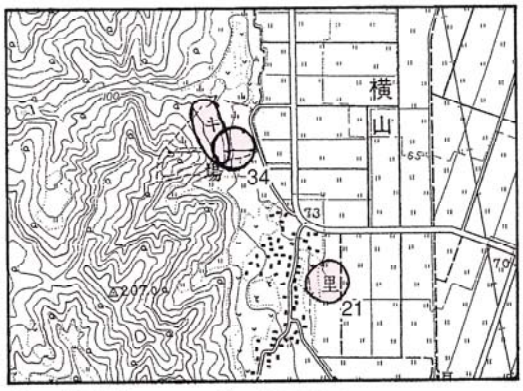


12　柴燈林2遺跡　　13　柴燈林3遺跡　　14　柴燈林4遺跡　　15　柴燈林5遺跡
16　荒川遺跡　　17　七曲道ノ上遺跡　　18　牛渡1遺跡　　19　牛渡2遺跡　　20　物見峠C遺跡

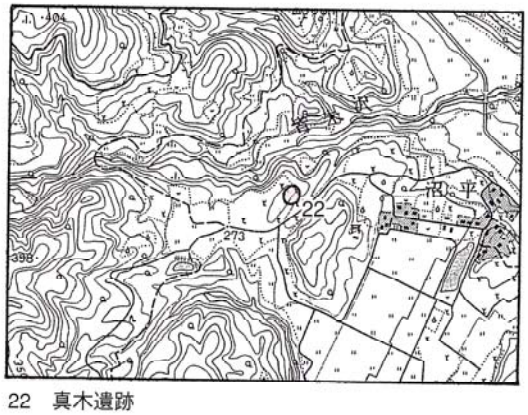


2　北田2遺跡　　11　北境2遺跡　　35　境興野遺跡　　36　上ノ田遺跡

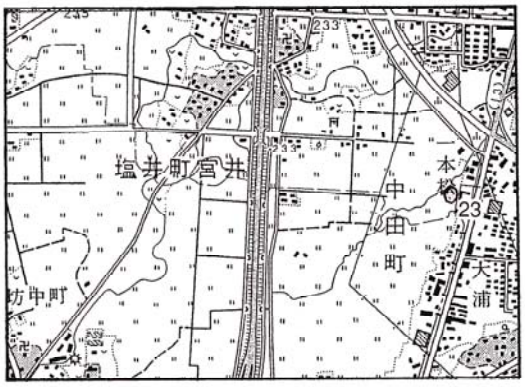
第39図　新規登録遺跡位置図（1）



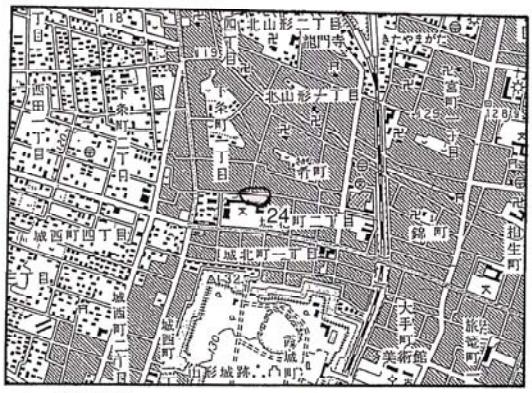
21　水口遺跡　　34　塩ノ沢西遺跡



22　真木遺跡



23　街道西下遺跡



24　城北遺跡

25　鉄砲町一丁目遺跡

33　梅野木前1遺跡

第40図　新規登録遺跡位置図（2）

山形県埋蔵文化財調査報告書第207集

分布調査報告書（33）

平成17年度以降農林土木事業他関係遺跡
国土交通省事業関係遺跡
農林水産省関係遺跡
法務省関係遺跡
東北中央自動車道関係遺跡
日本海沿岸東北自動車道関係遺跡

平成19年3月25日　印　刷
平成19年3月28日　発　行
発　行　　山形県教育委員会
印　刷　　山形印刷株式会社